

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 指定可燃物 エポキシ樹脂貯槽 (328V68) ST-15-写 01	防護対象	・指定可燃物 (エポキシ樹脂) エポキシ樹脂貯槽 (328V68) 密封構造	
		設置場所 の状況	・地上2階 試薬調整室 (G210) 天井: コンクリート 壁: コンクリート 床: コンクリート 照明: 有り	
		人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 ST-15-写 02①	火災感知設備	・上部付近に煙感知器有り 廃溶媒処理技術開発施設 (ST) 制御室 (G201) の 受信機、分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信 機及び分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の 受信機において感知可能	
		消火設備	・消火器 : 約 5 m ・屋内消火栓: 約 20 m	
		壁	 壁 ST-15-写 02②	 天井 ST-15-写 02③
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 煙感知器 ST-15-写 03	 受信機 (G201) ST-07-写 04		
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器: G210) ST-15-写 05	 屋内消火栓 (A214) ST-12-写 06		

図 22 (15/16) 廃溶媒処理技術開発施設 (ST) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

		火災防護上の特徴		
防護対象 の設置状況	 <p>少量未満危険物 硬化剤貯槽 (328V69) ST-16-写 01</p>	防護対象	<ul style="list-style-type: none"> 少量未満危険物 (硬化剤) 硬化剤貯槽 (328V69) 密封構造 	
		設置場所 の状況	<ul style="list-style-type: none"> 地上 2 階 試薬調整室 (G210) 天井 : コンクリート 壁 : コンクリート 床 : コンクリート 照明 : 有り 	
		人の立入	<ul style="list-style-type: none"> 有り 	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	<ul style="list-style-type: none"> 無し 	
防護対象の 周囲の状況	 <p>周囲 ST-16-写 02①</p>	火災感知設備	<ul style="list-style-type: none"> 上部付近に煙感知器有り 廃溶媒処理技術開発施設 (ST) 制御室 (G201) の受信機、分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信機において感知可能 	
		消火設備	<ul style="list-style-type: none"> 消火器 : 約 10 m 屋内消火栓 : 約 24 m 	
		壁	 <p>天井 ST-16-写 02③</p>	 <p>床 ST-16-写 02④</p>
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 <p>煙感知器 ST-16-写 03</p>	 <p>受信機 (G201) ST-07-写 04</p>		
設置場所の 消火方法 の状況	 <p>消火器 (ABC 消火器 : G210) ST-15-写 05</p>	 <p>屋内消火栓 (A214) ST-12-写 06</p>		

図 22 (16/16) 廃溶媒処理技術開発施設 (ST) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

23.焼却施設(IF)

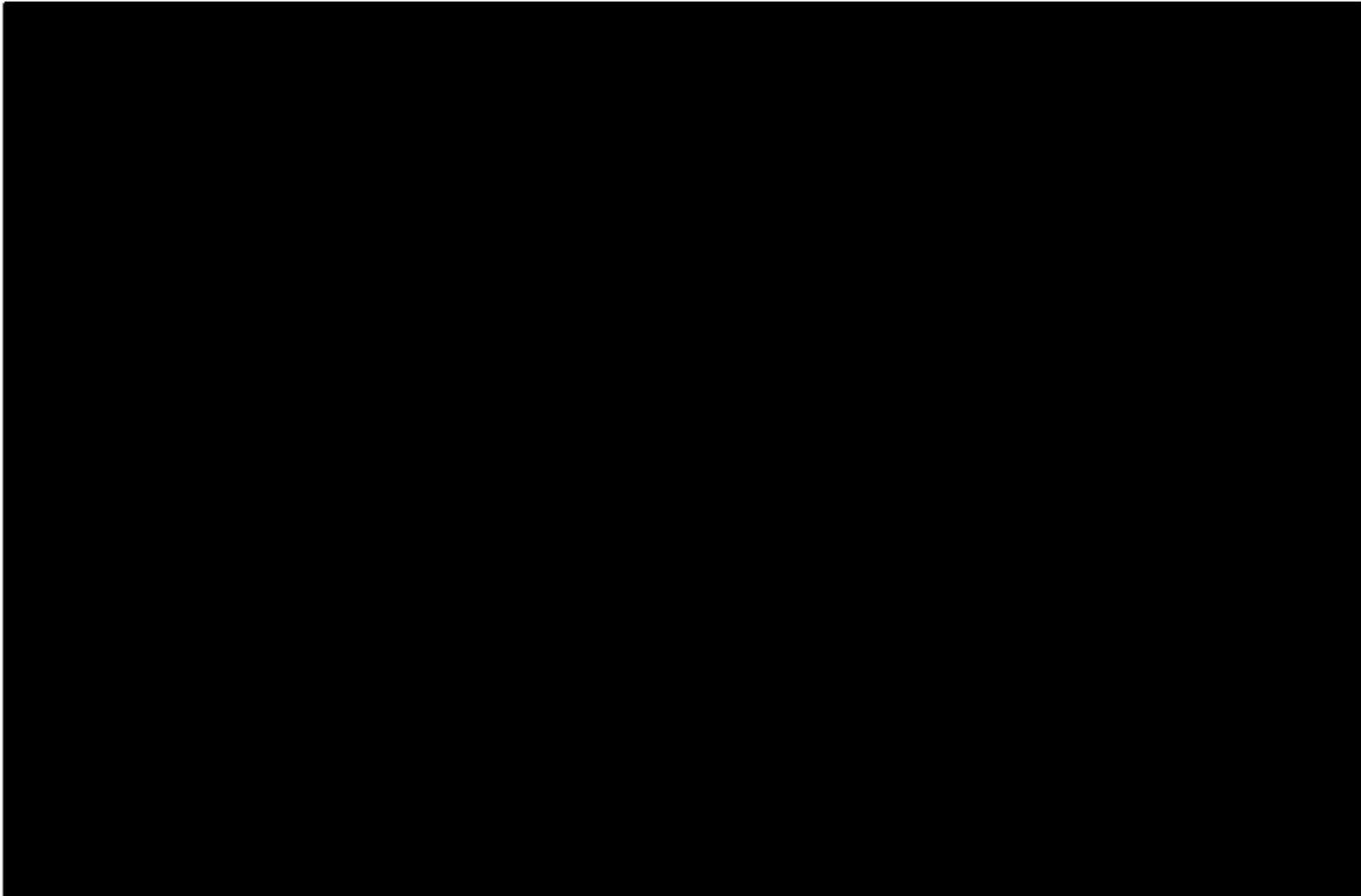
表 23 焼却施設 (IF) プラントウォークダウン結果まとめ (1/2)

No	階層	防護対象 ^注	防護対象の設置場所	防護対象の設置場所の状況		設置場所の火災感知の方法の状況		設置場所の消火方法の状況					備考	
				設置状況	周囲の状況	感知器 (基数)	受信機 (設置部屋)	最寄りの消火器 (部屋/距離 m)		最寄りの屋内消火栓 (部屋/距離 m)		その他の消火設備 (部屋/距離 m)		
01	B1F	一時貯蔵ラック (342M151,M152)	A001	IF-01-写 01	IF-01-写 02	IF-01-写 03 (煙感知器:2基)	IF-01-写 04 (G310)	IF-01-写 05 (A001)	約 15 m	IF-01-写 06 (A002)	約 20 m	IF-01-写 07 (水噴霧消火設備 操作盤:A002, 水 噴霧消火設備制御 弁:A004)	—	
02	B1F	仕掛品 (置場)	A003	IF-02-写 01	IF-02-写 02	IF-02-写 03 (煙感知器:2基)	同上	IF-02-写 05 (A003)	約 3 m	同上	約 8 m	IF-02-写 07 (水噴霧消火設備 操作盤:A004) IF-01-写 07 (水噴霧消火設備 制御弁:A004)	—	
03	B1F	回収ドデカン貯槽 (342V21)	A005	IF-03-写 01	IF-03-写 02	IF-03-写 03 (煙感知器:5基, 温 度上限警報装置: 342TA*21.2)	IF-01-写 04 (煙感知器:G310) IF-03-写 04 (温度上限警報装 置:G310)	IF-03-写 05 (ABC 消火器:A005, 車載式消火器:A005)	約 12 m 約 3 m	同上	約 15 m	IF-02-写 07 (水噴霧消火設備 操作盤:A004) IF-03-写 07 (水噴霧消火設備 制御弁:A005, 炭酸ガス消火設備 操作盤:A005)	—	・回収ドデカン(TBP), オ クチル酸カルシウム
04	B1F	仕掛品 (置場)	A005	IF-04-写 01	IF-04-写 02	IF-04-写 03 (煙感知器:5基)	IF-01-写 04 (G310)	IF-03-写 05 (ABC 消火器:A005)	約 3 m	同上	約 18 m	IF-02-写 07 (水噴霧消火設備 操作盤:A004) IF-03-写 07 (水噴霧消火設備 制御弁:A005)	—	
05	B1F	仕掛品(保管場所)又は 低放射性固体廃棄物	A005	IF-05-写 01	IF-05-写 02	IF-05-写 03 (煙感知器:5基)	同上	同上	約 15 m	同上	約 24 m	同上	—	
06	B1F	仕掛品(保管場所)又は 低放射性固体廃棄物	A006	IF-06-写 01	IF-06-写 02	IF-06-写 03 (分布型熱感知器: A005)	同上	IF-02-写 05 (A003)	約 10 m	同上	約 18 m	同上	—	
07	1F	仕掛品 (置場)	A102	IF-07-写 01	IF-07-写 02	IF-07-写 03 (煙感知器:2基)	同上	IF-07-写 05 (A102)	約 1 m	IF-07-写 06 (A106)	約 8 m	—	—	
08	1F	仕掛品(保管場所)又は 低放射性固体廃棄物	A102	IF-08-写 01	IF-08-写 02	同上	同上	同上	約 3 m	同上	約 10 m	—	—	
09	3F	少量未満危険物	A305	IF-09-写 01	IF-09-写 02	IF-09-写 03 (煙感知器:1基)	同上	IF-09-写 05 (A305)	約 5 m	IF-09-写 06 (G306)	約 15 m	—	—	・アルコール等
10	3F	仕掛品 (置場)	A305	IF-10-写 01	IF-10-写 02	同上	同上	同上	約 4 m	同上	約 20 m	—	—	
11	3F	仕掛品(保管場所)又は 低放射性固体廃棄物 (A303 側)	A305	IF-11-写 01	IF-11-写 02	同上	同上	同上	約 8 m	同上	約 22 m	—	—	
12	3F	仕掛品(保管場所)又は 低放射性固体廃棄物 (A309 側)	A305	IF-12-写 01	IF-12-写 02	同上	同上	同上	約 12 m	同上	約 20 m	—	—	

表 23 焼却施設 (IF)プラントウォークダウン結果まとめ (2/2)

No	階層	防護対象 ^注	防護対象の設置場所	防護対象の設置場所の状況		設置場所の火災感知の方法の状況		設置場所の消火方法の状況					備考		
				設置状況	周囲の状況	感知器 (基数)	受信機 (設置部屋)	最寄りの消火器 (部屋/距離 m)		最寄りの屋内消火栓 (部屋/距離 m)		その他の消火設備 (部屋/距離 m)			
13	3F	仕掛品 (置場)	A302	IF-13-写 01	IF-13-写 02	IF-13-写 03 (煙感知器:1基)	IF-01-写 04 (G310)	IF-13-写 05 (A302)	約 5 m	IF-09-写 06 (G306)	約 28 m	-	-		
14	3F	廃活性炭供給槽 (342V25)	A308	IF-14-写 01	IF-14-写 02	IF-14-写 03 (煙感知器:1基, 温度上限警報装置: 342TA'25.2)	IF-01-写 04 (煙感知器:G310) IF-03-写 04 (温度上限警報装置: G310)	IF-14-写 05 (車載式消火器:A308)	約 3 m	同上	約 6 m	IF-14-写 07 (水噴霧消火設備 操作盤:A309, 水 噴霧消火設備制御 弁:A309, 炭酸ガス消火設備 操作盤:A308)	-	-	・回収ドデカン(TBP), 廃 活性炭(吸収した油分) ケロシン, オクチル酸カ ルシウム
15	3F	仕掛品(保管場所)又は 低放射性固体廃棄物	A309	IF-15-写 01	IF-15-写 02	IF-15-写 03 (煙感知器:1基)	IF-01-写 04 (G310)	IF-09-写 05 (A305)	約 8 m	同上	約 12 m	-	-		
16	4F	少量未満危険物	A403	IF-16-写 01	IF-16-写 02	IF-16-写 03 (煙感知器:2基)	同上	IF-16-写 05 (A403)	約 10 m	IF-16-写 06 (G404)	約 15 m	-	-	・塗料等	
17	4F	仕掛品 (置場)	A405	IF-17-写 01	IF-17-写 02	IF-17-写 03 (煙感知器:1基)	同上	IF-17-写 05 (A405)	約 4 m	同上	約 10 m	-	-		

注 「別添 6-1-3-4 高放射性廃液貯蔵場(HAW), ガラス固化技術開発施設(TVF)ガラス固化技術開発棟及びそれらに関連する施設以外の分離精製工場(MP)等の施設の外部事象に対する安全対策に関する説明書」の「表 3-1 その他の施設における放射性物質の貯蔵・保管の状況(令和 2 年 6 月末時点)」に示す放射性物質等、各施設の廃棄物の仕掛品(置場及び保管場所)、危険物(少量未満危険物を含む。)



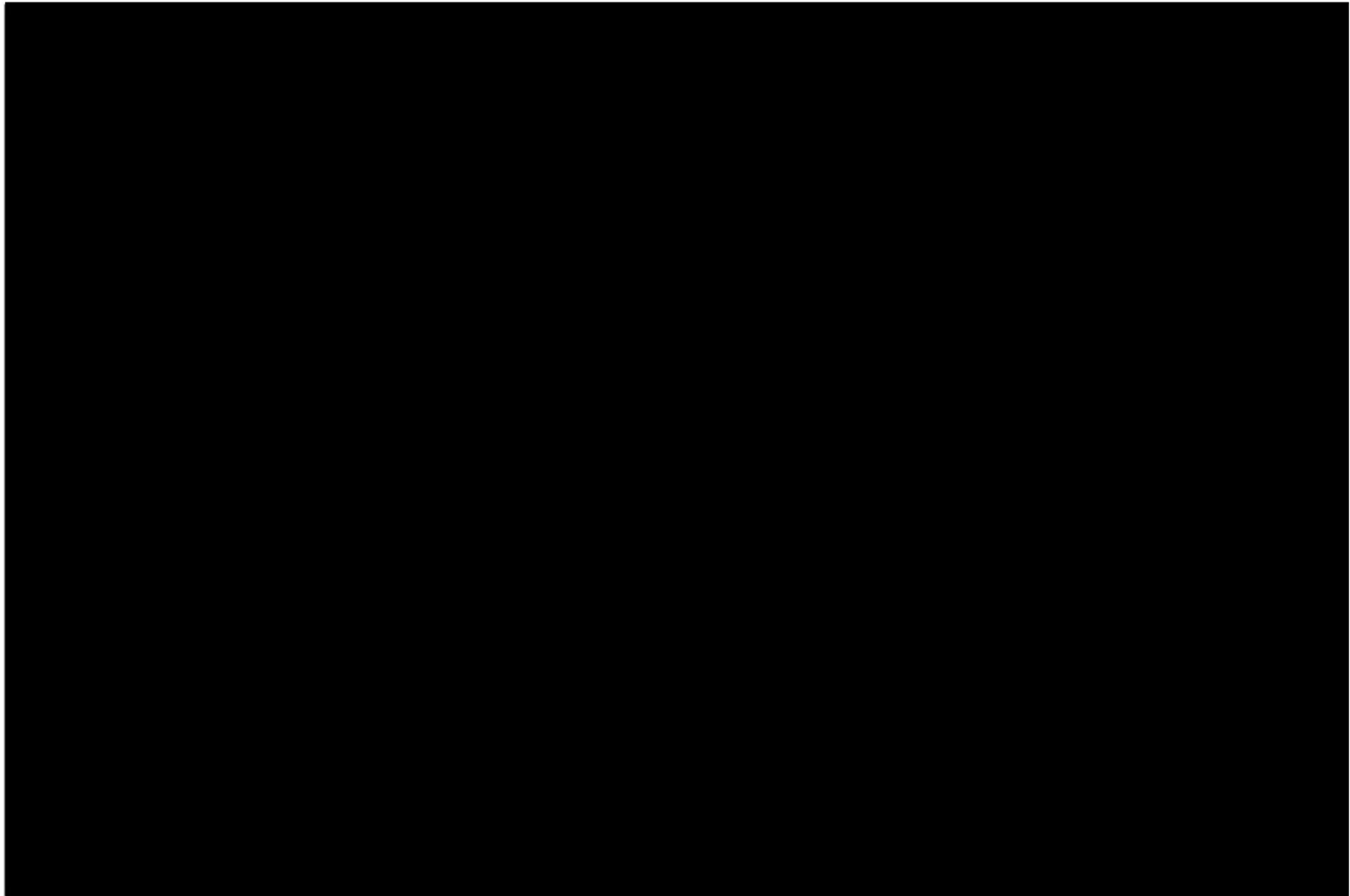
管理区域

調査の対象	
	防護対象設備等
	廃棄物の仕掛品の保管場所
	廃棄物の仕掛品の置場
	危険物(少量未満危険物を含む。)

火災感知設備	
	熱感知器
	分布型熱感知器
	煙感知器
	総合盤
	受信機

消火設備	
	屋内消火栓
	ABC消火器
	車載式消火器
	水噴霧消火設備
	炭酸ガス消火設備

図23(1)焼却施設(9F) 地下1階平面図



管理区域

調査の対象	
	防護対象設備等
	廃棄物の仕掛品の保管場所
	廃棄物の仕掛品の置場
	危険物(少量未満危険物を含む。)

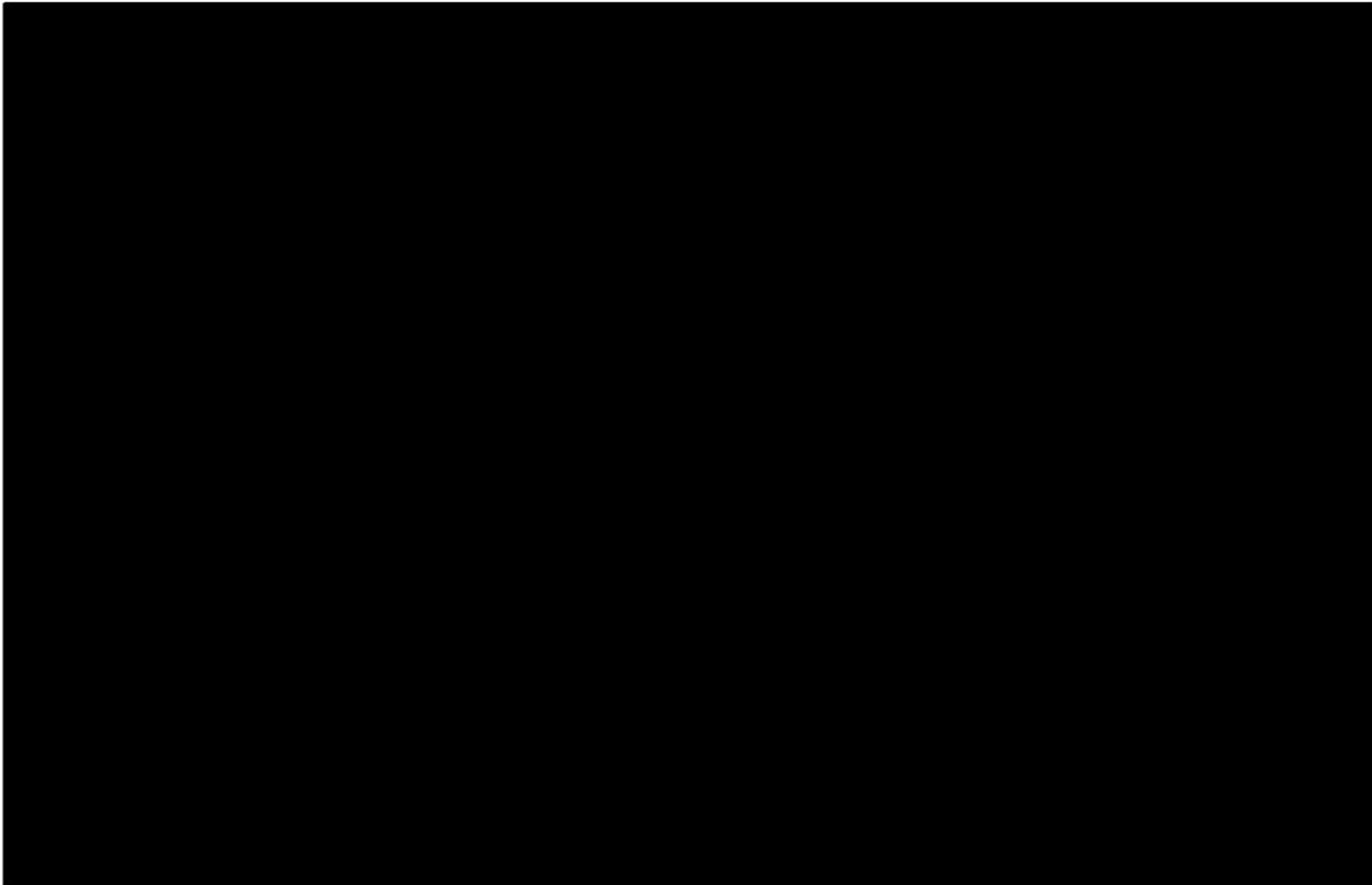
火災感知設備	
	熱感知器
	分布型熱感知器
	煙感知器
	総合盤
	受信機

消火設備	
	屋内消火栓
	ABC消火器
	車載式消火器
	水噴霧消火設備
	炭酸ガス消火設備

図23(2)焼却施設(IF) 地上1階平面図



管理区域

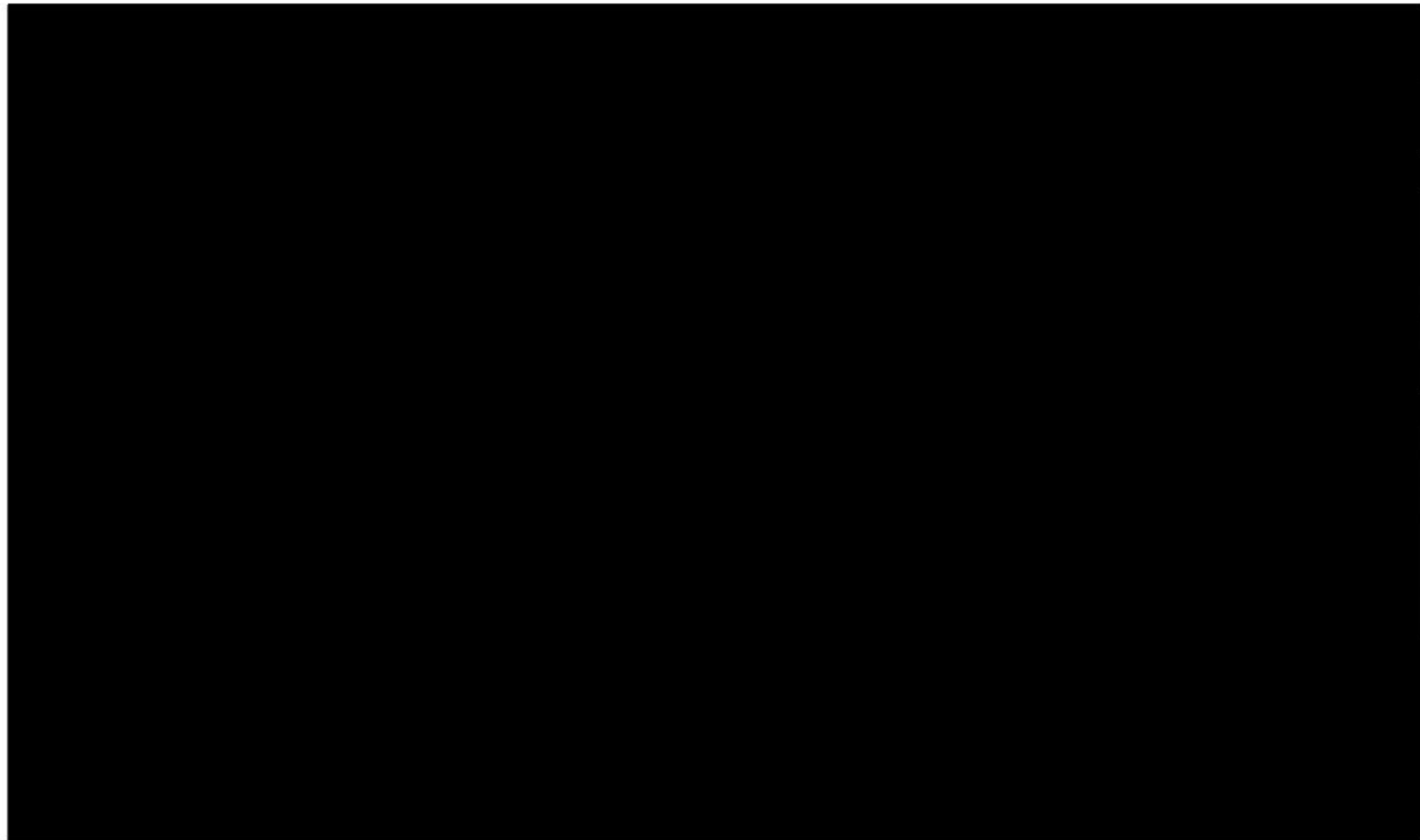


調査の対象	
	防護対象設備等
	廃棄物の仕掛品の保管場所
	廃棄物の仕掛品の置場
	危険物(少量未満危険物を含む。)
火災感知設備	
	熱感知器
	分布型熱感知器
	煙感知器
	総合盤
	受信機
消火設備	
	屋内消火栓
	ABC消火器
	車載式消火器
	水噴霧消火設備
	炭酸ガス消火設備

図23(3)焼却施設(IF) 地上2階平面図



管理区域



調査の対象	
	防護対象設備等
	廃棄物の仕掛品の保管場所
	廃棄物の仕掛品の置場
	危険物(少量未満危険物を含む。)

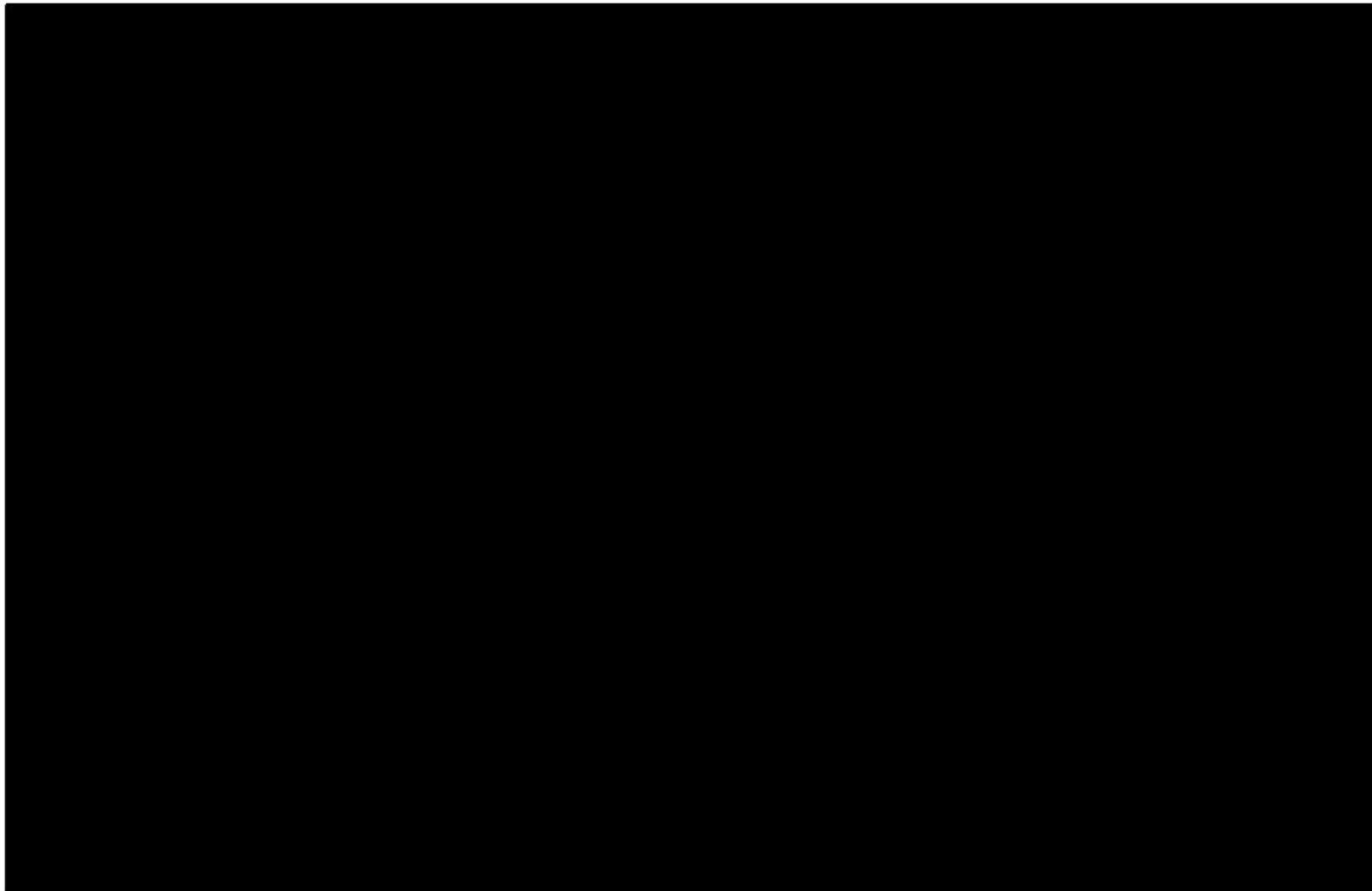
火災感知設備	
	熱感知器
	分布型熱感知器
	煙感知器
	総合盤
	受信機

消火設備	
	屋内消火栓
	ABC消火器
	車載式消火器
	水噴霧消火設備
	炭酸ガス消火設備

図23(4)焼却施設(IF) 地上3階平面図



管理区域



調査の対象	
	防護対象設備等
	廃棄物の仕掛品の保管場所
	廃棄物の仕掛品の置場
	危険物(少量未満危険物を含む。)

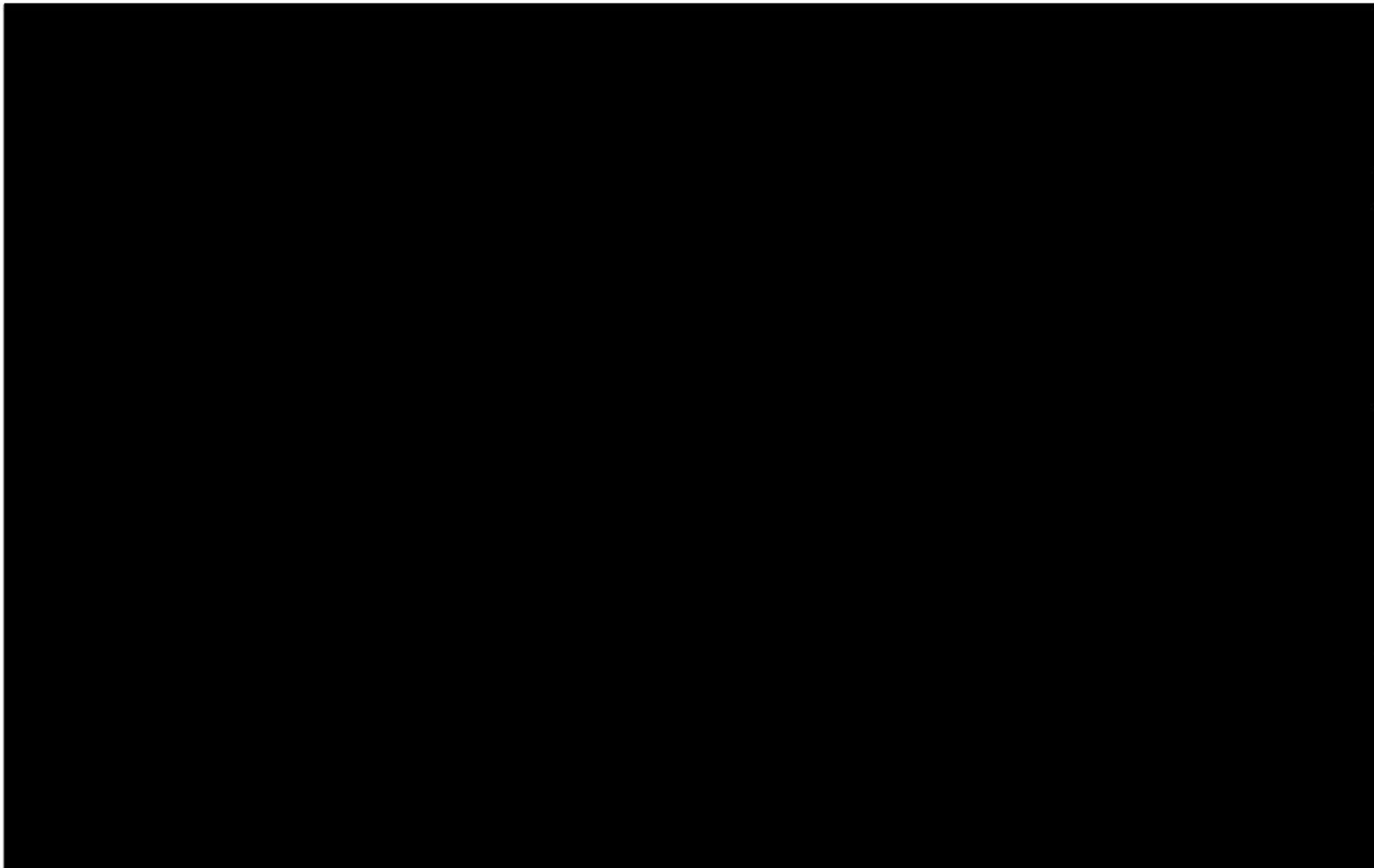
火災感知設備	
	熱感知器
	分布型熱感知器
	煙感知器
	総合盤
	受信機

消火設備	
	屋内消火栓
	ABC消火器
	車載式消火器
	水噴霧消火設備
	炭酸ガス消火設備

図23(5)焼却施設(IF) 地上4階平面図



管理区域

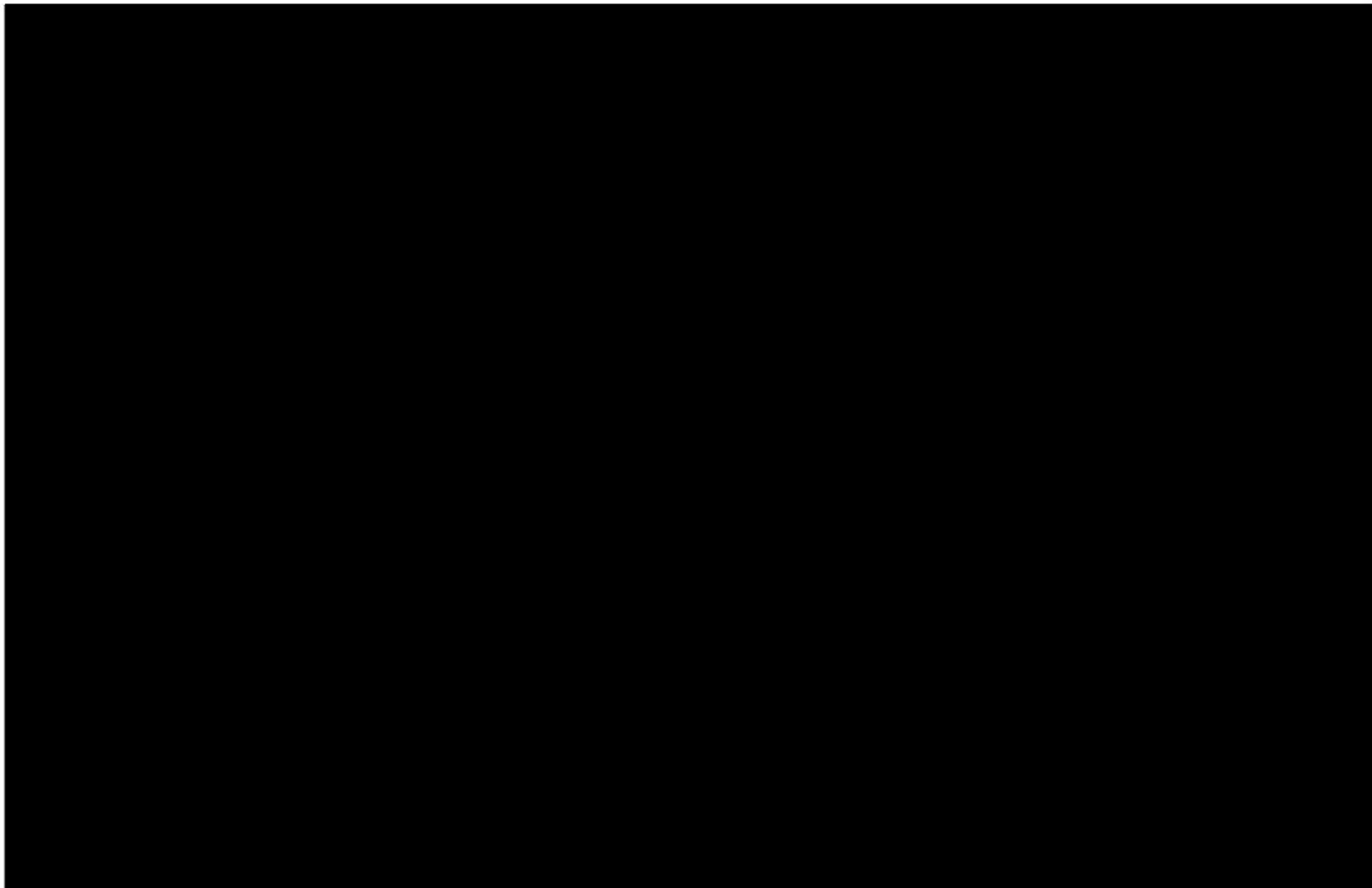


調査の対象	
	防護対象設備等
	廃棄物の仕掛品の保管場所
	廃棄物の仕掛品の置場
	危険物(少量未満危険物を含む。)
火災感知設備	
	熱感知器
	分布型熱感知器
	煙感知器
	総合盤
	受信機
消火設備	
	屋内消火栓
	ABC消火器
	車載式消火器
	水噴霧消火設備
	炭酸ガス消火設備

図23(6)焼却施設(IF) 地上5階平面図



管理区域



調査の対象	
	防護対象設備等
	廃棄物の仕掛品の保管場所
	廃棄物の仕掛品の置場
	危険物(少量未満危険物を含む。)

火災感知設備	
	熱感知器
	分布型熱感知器
	煙感知器
	総合盤
	受信機

消火設備	
	屋内消火栓
	ABC消火器
	車載式消火器
	水噴霧消火設備
	炭酸ガス消火設備

図23(7)焼却施設(IF) 地上6階平面図

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 一時貯蔵ラック (342M151,M152) IF-01-写 01	防護対象	・一時貯蔵ラック (342M151,M152) 金属製棚 非密封構造			
		設置場所 の状況	・地下1階 カートン貯蔵室 (A001) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り			
防護対象の 周囲の状況	 周囲 IF-01-写 02①	人の立入	・有り			
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し			
	火災感知設備	・上部付近に煙感知器有り 焼却施設 (IF) 制御室 (G310) の受信機、分析 所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び分離 精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信機に おいて感知可能				
	消火設備	・消火器：約 15 m ・屋内消火栓：約 20 m ・水噴霧消火設備				
設置場所の 周囲の状況	 壁 IF-01-写 02②	 天井 IF-01-写 02③	 床 IF-01-写 02④			
	設置場所の 火災感知の 方法の状況	 煙感知器 IF-01-写 03	 受信機 (G310) IF-01-写 04			
	設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火 器：A001) IF-01-写 05	 屋内消火栓 (A002) IF-01-写 06	 水噴霧消火設備 (操作盤：A002) IF-01-写 07①	 水噴霧消火設備 (制御弁：A004) IF-01-写 07②	

図 23 (1/17) 焼却施設 (IF) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) IF-02-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造		
		設置場所 の状況	・地下 1 階 焼却灰取出室 (A003) 天井 : コンクリート 壁 : コンクリート 床 : コンクリート 照明 : 有り		
		人の立入	・有り		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 IF-02-写 02①	火災感知設備	・上部付近に煙感知器有り 焼却施設 (IF) 制御室 (G310) の受信機、分析 所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び分離 精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信機に おいて感知可能		
		消火設備	・消火器 : 約 3 m ・屋内消火栓 : 約 8 m ・水噴霧消火設備		
	壁 IF-02-写 02②	 壁 IF-02-写 02②	 天井 IF-02-写 02③	 床 IF-02-写 02④	
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 煙感知器 IF-02-写 03	 受信機 (G310) IF-01-写 04			
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火 器 : A003) IF-02-写 05	 屋内消火栓 (A002) IF-01-写 06	 水噴霧消火設備 (操作盤 : A004) IF-02-写 07	 水噴霧消火設備 (制御弁 : A004) IF-01-写 07	

図 23 (2/17) 焼却施設 (IF) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

<p>防護対象の設置状況</p>	 <p>回収ドデカン貯槽 (342V21) IF-03-写 01</p>	<p>防護対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回収ドデカン貯槽 (342V21) 金属製貯槽 密封構造 				
<p>設置場所の状況</p>	<p>人の立入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有り 	<p>防護対象近傍の危険物・可燃物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無し 				
<p>火災感知設備</p>	<p>火災感知設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・槽類換気系配管に温度上限警報装置 (342TA+21.2) を設置し、上部付近に煙感知器有り。 焼却施設 (IF) 制御室 (G310) の受信機及び制御盤、分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信機において感知可能 	<p>消火設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消火器 (ABC 消火器) : 約 12 m ・消火器 (車載式消火器) : 約 3 m ・屋内消火栓 : 約 15 m ・水噴霧消火設備 ・炭酸ガス消火設備 				
<p>防護対象の周囲の状況</p>	 <p>周囲 IF-03-写 02①</p>	 <p>壁 IF-03-写 02②</p>	 <p>天井 IF-03-写 02③</p>	 <p>床 IF-03-写 02④</p>		
<p>設置場所の火災感知の方法の状況</p>	 <p>煙感知器 IF-03-写 03①</p>	 <p>温度上限警報装置 (熱電対 : A005) IF-03-写 03②</p>	 <p>煙感知器 (受信機 : G310) IF-01-写 04</p>	 <p>温度上限警報装置 (制御盤 : G310) IF-03-写 04</p>		
<p>設置場所の消火方法の状況</p>	 <p>消火器 (ABC 消火器 : A005) IF-03-写 05①</p>	 <p>消火器 (車載式消火器 : A005) IF-03-写 05②</p>	 <p>屋内消火栓 (A002) IF-01-写 06</p>	 <p>水噴霧消火設備 (操作盤 : A004) IF-02-写 07</p>	 <p>水噴霧消火設備 (制御弁 : A005) IF-03-写 07①</p>	 <p>炭酸ガス消火設備 (操作盤 : A005) IF-03-写 07②</p>

図 23 (3/17) 焼却施設 (IF) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) IF-04-写 01	防護対象	<ul style="list-style-type: none"> ・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造 			
		設置場所 の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地下1階 オフガス処理室 (A005) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り 			
防護対象の 周囲の状況	 周囲 IF-04-写 02①	人の立入	・有り			
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し			
	火災感知設備	<ul style="list-style-type: none"> ・上部付近に煙感知器有り 焼却施設 (IF) 制御室 (G310) の受信機、分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信機において感知可能 				
	消火設備	<ul style="list-style-type: none"> ・消火器：約 3 m ・屋内消火栓：約 18 m ・水噴霧消火設備 				
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 煙感知器 IF-04-写 03	 受信機 (G310) IF-01-写 04				
	 消火器 (ABC 消火器：A005) IF-03-写 05	 屋内消火栓 (A002) IF-01-写 06	 水噴霧消火設備 (操作盤：A004) IF-02-写 07	 水噴霧消火設備 (制御弁：A005) IF-03-写 07		
	設置場所の 消火方法 の状況					

図 23 (4/17) 焼却施設 (IF) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品（保管場所）又は 低放射性固体廃棄物 IF-05-写 01	防護対象	・仕掛品（保管場所）又は低放射性固体廃棄物 金属製棚（不燃シート養生） 非密封構造		
		設置場所 の状況	・地下1階 オフガス処理室（A005） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 IF-05-写 02①	人の立入	・有り		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し		
		火災感知設備	・上部付近に煙感知器有り 焼却施設（IF）制御室（G310）の受信機、分析 所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び分離 精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信機に おいて感知可能		
		消火設備	・消火器：約 15 m ・屋内消火栓：約 24 m ・水噴霧消火設備		
	 壁 IF-05-写 02②	 天井 IF-05-写 02③	 床 IF-05-写 02④		
	設置場所の 火災感知の 方法の状況	 煙感知器 IF-05-写 03	 受信機（G310） IF-01-写 04		
	設置場所の 消火方法 の状況	 消火器（ABC 消火 器：A005） IF-03-写 05	 屋内消火栓 （A002） IF-01-写 06	 水噴霧消火設備 （操作盤：A004） IF-02-写 07	 水噴霧消火設備 （制御弁：A005） IF-03-写 07

図 23 (5/17) 焼却施設（IF）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象の設置状況	 仕掛品（保管場所）又は低放射性固体廃棄物 IF-06-写 01	防護対象	・仕掛品（保管場所）又は低放射性固体廃棄物 金属製容器 密封構造			
		設置場所の状況	・地下1階 焼却灰ドラム保管室（A006） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り			
防護対象の周囲の状況	 周囲 IF-06-写 02①	人の立入	・有り			
		防護対象近傍の危険物・可燃物	・無し			
		火災感知設備	・上部付近に分布型熱感知器有り 焼却施設（IF）制御室（G310）の受信機、分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信機において感知可能			
		消火設備	・消火器：約 10 m ・屋内消火栓：約 18 m ・水噴霧消火設備			
	 壁 IF-06-写 02②	 天井 IF-06-写 02③	 床 IF-06-写 02④			
設置場所の火災感知の方法の状況	 分布型熱感知器（A005） IF-06-写 03	 受信機（G310） IF-01-写 04				
設置場所の消火方法の状況	 消火器（ABC 消火器：A003） IF-02-写 05	 屋内消火栓（A002） IF-01-写 06	 水噴霧消火設備（操作盤：A004） IF-02-写 07	 水噴霧消火設備（制御弁：A005） IF-03-写 07		

図 23 (6/17) 焼却施設（IF）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) IF-07-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造		
		設置場所 の状況	・地上1階 予備室 (A102) 天井: コンクリート 壁 : コンクリート 床 : コンクリート 照明: 有り		
		人の立入	・有り		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 IF-07-写 02①	火災感知設備	・上部付近に煙感知器有り 焼却施設 (IF) 制御室 (G310) の受信機、分析 所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び分離 精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信機に おいて感知可能		
		消火設備	・消火器 : 約 1 m ・屋内消火栓 : 約 8 m		
	壁 IF-07-写 02②	 天井 IF-07-写 02③	 床 IF-07-写 02④		
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 煙感知器 IF-07-写 03	 受信機 (G310) IF-01-写 04			
	 消火器 (ABC 消火器: A102) IF-07-写 05	 屋内消火栓 (A106) IF-07-写 06			

図 23 (7/17) 焼却施設 (IF) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品（保管場所）又は 低放射性固体廃棄物 IF-08-写 01	防護対象	・仕掛品（保管場所）又は低放射性固体廃棄物 金属製棚（不燃シート養生） 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地上1階 予備室（A102） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り	
		人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 IF-08-写 02①	火災感知設備	・上部付近に煙感知器有り 焼却施設（IF）制御室（G310）の受信機、分析 所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び分離 精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信機に おいて感知可能	
		消火設備	・消火器：約 3 m ・屋内消火栓：約 10 m	
	 壁 IF-08-写 02②	 天井 IF-08-写 02③	 床 IF-08-写 02④	
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 煙感知器 IF-07-写 03	 受信機（G310） IF-01-写 04		
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器（ABC 消火器：A102） IF-07-写 05	 屋内消火栓（A106） IF-07-写 06		

図 23 (8/17) 焼却施設（IF）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

		火災防護上の特徴			
防護対象 の設置状況	 少量未満危険物 IF-09-写 01	防護対象	<ul style="list-style-type: none"> 少量未満危険物（アルコール等） 金属製容器 非密封構造 		
		設置場所 の状況	<ul style="list-style-type: none"> 地上3階 カートン投入室（A305） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り 		
		人の立入	<ul style="list-style-type: none"> 有り 		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	<ul style="list-style-type: none"> 無し 		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 IF-09-写 02①	火災感知設備	<ul style="list-style-type: none"> 上部付近に煙感知器有り 焼却施設（IF）制御室（G310）の受信機、分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信機において感知可能 		
		消火設備	<ul style="list-style-type: none"> 消火器：約 5 m 屋内消火栓：約 15 m 		
		壁 IF-09-写 02②	 天井 IF-09-写 02③	 床 IF-09-写 02④	
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 煙感知器 IF-09-写 03	 受信機（G310） IF-01-写 04			
	 消火器（ABC 消火器：A305） IF-09-写 05	 屋内消火栓（G306） IF-09-写 06			
設置場所の 消火方法 の状況					

図 23 (9/17) 焼却施設（IF）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) IF-10-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造		
		設置場所 の状況	・地上3階 カートン投入室 (A305) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り		
		人の立入	・有り		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 IF-10-写 02①	火災感知設備	・上部付近に煙感知器有り 焼却施設 (IF) 制御室 (G310) の受信機、分析 所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び分離 精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信機に おいて感知可能		
		消火設備	・消火器：約 4 m ・屋内消火栓：約 20 m		
	 壁 IF-10-写 02②	 天井 IF-10-写 02③	 床 IF-10-写 02④		
	設置場所の 火災感知の 方法の状況	 煙感知器 IF-09-写 03	 受信機 (G310) IF-01-写 04		
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器：A305) IF-09-写 05	 屋内消火栓 (G306) IF-09-写 06			

図 23 (10/17) 焼却施設 (IF) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象の設置状況	 仕掛品（保管場所）又は低放射性固体廃棄物（A303 側） IF-11-写 01	防護対象	・仕掛品（保管場所）又は低放射性固体廃棄物 金属製棚（不燃シート養生） 非密封構造	
		設置場所の状況	・地上 3 階 カートン投入室（A305） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り	
		人の立入	・有り	
		防護対象近傍の危険物・可燃物	・無し	
防護対象の周囲の状況	 周囲 IF-11-写 02①	火災感知設備	・上部付近に煙感知器有り 焼却施設（IF）制御室（G310）の受信機、分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信機において感知可能	
		消火設備	・消火器：約 12 m ・屋内消火栓：約 20 m	
	 壁 IF-11-写 02②	 天井 IF-11-写 02③	 床 IF-11-写 02④	
	設置場所の火災感知の方法の状況	 煙感知器 IF-09-写 03	 受信機（G310） IF-01-写 04	
設置場所の消火方法の状況	 消火器（ABC 消火器：A305） IF-09-写 05	 屋内消火栓（G306） IF-09-写 06		

図 23 (11/17) 焼却施設（IF）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象の設置状況	 仕掛品（保管場所）又は低放射性固体廃棄物（A309 側） IF-12-写 01	防護対象	・仕掛品（保管場所）又は低放射性固体廃棄物 金属製棚（不燃シート養生） 非密封構造		
		設置場所の状況	・地上 3 階 カートン投入室（A305） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り		
		人の立入	・有り		
		防護対象近傍の危険物・可燃物	・無し		
防護対象の周囲の状況	 周囲 IF-12-写 02①	火災感知設備	・上部付近に煙感知器有り 焼却施設（IF）制御室（G310）の受信機、分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信機において感知可能		
		消火設備	・消火器：約 8 m ・屋内消火栓：約 22 m		
	 壁 IF-12-写 02②	 天井 IF-12-写 02③	 床 IF-12-写 02④		
設置場所の火災感知の方法の状況	 煙感知器 IF-09-写 03	 受信機（G310） IF-01-写 04			
	 消火器（ABC 消火器：A305） IF-09-写 05	 屋内消火栓（G306） IF-09-写 06			
設置場所の消火方法の状況					

図 23 (12/17) 焼却施設（IF）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) IF-13-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地上3階 更衣室 (A302) 天井: コンクリート (吊天井: せっこうボード) 壁: コンクリート 床: コンクリート 照明: 有り	
		人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 IF-13-写 02①	火災感知設備	・上部付近に煙感知器有り 焼却施設 (IF) 制御室 (G310) の受信機、分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信機において感知可能	
		消火設備	・消火器: 約 5 m ・屋内消火栓: 約 28 m	
	 壁 IF-13-写 02②	 天井 IF-13-写 02③	 床 IF-13-写 02④	
	設置場所の 火災感知の 方法の状況	 煙感知器 IF-13-写 03	 受信機 (G310) IF-01-写 04	
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器: A302) IF-13-写 05	 屋内消火栓 (G306) IF-09-写 06		

図 23 (13/17) 焼却施設 (IF) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象の設置状況	 廃活性炭供給槽 (342V25) IF-14-写 01	防護対象	・廃活性炭供給槽 (342V25) 金属製貯槽 密封構造			
		設置場所の状況	・地上3階 廃活性炭供給室 (A308) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート (ステンレス仕上げ) 照明：有り			
防護対象の周囲の状況	 周囲 IF-14-写 02①	人の立入	・有り			
		防護対象近傍の危険物・可燃物	・無し			
	火災感知設備	・槽類換気系配管に温度上限警報装置 (342TA ⁺ 25.2) を設置し、上部付近に煙感知器有り。 焼却施設 (IF) 制御室 (G310) の受信機、分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信機において感知可能				
	消火設備	・消火器 (車載式消火器)：約 3 m ・屋内消火栓：約 6 m ・水噴霧消火設備 ・炭酸ガス消火設備				
	 壁 IF-14-写 02②	 天井 IF-14-写 02③	 床 IF-14-写 02④			
設置場所の火災感知の方法の状況	 煙感知器 IF-14-写 03①	 温度上限警報装置 (熱電対：A308) IF-14-写 03②	 煙感知器 (受信機：G310) IF-01-写 04	 温度上限警報装置 (制御盤：G310) IF-03-写 04		
	 消火器 (車載式消火器)： A308) IF-14-写 05	 屋内消火栓 (G306) IF-09-写 06	 水噴霧消火設備 (操作盤： A309) IF-14-写 07①	 水噴霧消火設備 (制御弁： A309) IF-14-写 07②	 炭酸ガス消火設備 (操作盤： A308) IF-14-写 07③	
設置場所の消火方法の状況						

図 23 (14/17) 焼却施設 (IF) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品（保管場所）又は 低放射性固体廃棄物 IF-15-写 01	防護対象	・仕掛品（保管場所）又は低放射性固体廃棄物 金属製容器 非密封構造		
		設置場所 の状況	・地上3階 機材室（A309） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り		
		人の立入	・有り		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 IF-15-写 02①	火災感知設備	・上部付近に煙感知器有り 焼却施設（IF）制御室（G310）の受信機、分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信機において感知可能		
		消火設備	・消火器：約 8 m ・屋内消火栓：約 12 m		
	壁 IF-15-写 02②	天井 IF-15-写 02③	床 IF-15-写 02④		
					
					
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 煙感知器 IF-15-写 03	 受信機（G310） IF-01-写 04			
	 消火器（ABC 消火器：A305） IF-09-写 05	 屋内消火栓（G306） IF-09-写 06			

図 23 (15/17) 焼却施設（IF）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

		火災防護上の特徴				
防護対象 の設置状況	 少量未満危険物 IF-16-写 01	防護対象	<ul style="list-style-type: none"> 少量未満危険物（塗料等） 金属製容器 非密封構造 			
		設置場所 の状況	<ul style="list-style-type: none"> 地上 4 階 冷却用送風機室（A403） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り 			
		人の立入	<ul style="list-style-type: none"> 有り 			
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	<ul style="list-style-type: none"> 無し 			
防護対象の 周囲の状況	 周囲 IF-16-写 02①	火災感知設備	<ul style="list-style-type: none"> 上部付近に煙感知器有り 焼却施設（IF）制御室（G310）の受信機、分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信機において感知可能 			
		消火設備	<ul style="list-style-type: none"> 消火器：約 10 m 屋内消火栓：約 15 m 			
		壁 IF-16-写 02②	 天井 IF-16-写 02③	 床 IF-16-写 02④		
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 煙感知器 IF-16-写 03	 受信機（G310） IF-01-写 04				
	 消火器（ABC 消火器：A403） IF-16-写 05	 屋内消火栓（G404） IF-16-写 06				
設置場所の 消火方法 の状況						

図 23 (16/17) 焼却施設（IF）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) IF-17-写 01	防護対象	<ul style="list-style-type: none"> ・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造 		
		設置場所 の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地上 4 階 排風機室 (A405) 天井 : コンクリート 壁 : コンクリート 床 : コンクリート 照明 : 有り 		
		人の立入	<ul style="list-style-type: none"> ・有り 		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	<ul style="list-style-type: none"> ・無し 		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 IF-17-写 02①	火災感知設備	<ul style="list-style-type: none"> ・上部付近に煙感知器有り 焼却施設 (IF) 制御室 (G310) の受信機、分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信機において感知可能 		
		消火設備	<ul style="list-style-type: none"> ・消火器 : 約 4 m ・屋内消火栓 : 約 10 m 		
	 壁 IF-17-写 02②	 天井 IF-17-写 02③	 床 IF-17-写 02④		
	設置場所の 火災感知の 方法の状況	 煙感知器 IF-17-写 03	 受信機 (G310) IF-01-写 04		
設置場所の 消火方法 の状況		 消火器 (ABC 消火器 : A405) IF-17-写 05	 屋内消火栓 (G404) IF-16-写 06		

図 23 (17/17) 焼却施設 (IF) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果






24.アスファルト固化処理施設(ASP)

表 24 アスファルト固化処理施設(ASP)プラントワークダウン結果まとめ (1/1)

No	階層	防護対象 ^注	防護対象の設置場所	防護対象の設置場所の状況		設置場所の火災感知の方法の状況		設置場所の消火方法の状況					備考	
				設置状況	周囲の状況	感知器 (基数)	受信機 (設置部屋)	最寄りの消火器 (部屋/距離 m)	最寄りの屋内消火栓 (部屋/距離 m)	その他の消火設備 (部屋/距離 m)				
01	B2F - B1F	廃液受入貯槽 (A12V21)	R051	-	ASP-01-写 02	-	-	-	-	-	-	-	-	・セル内機器
02	B2F - B1F	廃液受入貯槽 (A12V20)	R052	-	ASP-02-写 02	-	-	-	-	-	-	-	-	・セル内機器
03	B1F	指定可燃物 (アスファルト貯槽 A21V45)	G018	ASP-03-写 01	ASP-03-写 02	ASP-03-写 03 (煙感知器:3 基)	ASP-03-写 04 (G218)	ASP-03-写 05 (G018)	約 6 m	ASP-03-写 06 (A031)	約 22 m	ASP-03-写 07 (水噴霧消火設備 制御弁:G015)	-	・アスファルト原料
04	1F	仕掛品 (保管場所)	G113	ASP-04-写 01	ASP-04-写 02	ASP-04-写 03 (煙感知器:1 基)	同上	ASP-04-写 05 (G112)	約 6 m	ASP-04-写 06 (A131)	約 25 m	-	-	
05	2F	仕掛品 (置場)	A236	ASP-05-写 01	ASP-05-写 02	ASP-05-写 03 (煙感知器:3 基)	同上	ASP-05-写 05 (A236)	約 12 m	ASP-05-写 06 (G216)	約 25 m	-	-	
06	3F	少量未満危険物	A314	ASP-06-写 01	ASP-06-写 02	ASP-06-写 03 (煙感知器:1 基)	同上	ASP-06-写 05 (A314)	約 10 m	ASP-06-写 06 (G311)	約 15 m	-	-	・潤滑油等

注 「別添 6-1-3-4 高放射性廃液貯蔵場(HAW), ガラス固化技術開発施設(TVF)ガラス固化技術開発棟及びそれらに関連する施設以外の分離精製工場(MP)等の施設の外部事象に対する安全対策に関する説明書」の「表 3-1 その他の施設における放射性物質の貯蔵・保管の状況(令和 2 年 6 月末時点)」に示す放射性物質等、各施設の廃棄物の仕掛品(置場及び保管場所)、危険物(少量未満危険物を含む。)

 管理区域

調査の対象	
	防護対象設備等
	廃棄物の仕掛品の保管場所
	廃棄物の仕掛品の置場
	危険物(少量未満危険物を含む。)
	指定可燃物

火災感知設備	
	熱感知器
	煙感知器
	総合盤
	受信機

消火設備	
	屋内消火栓
	ABC消火器
	水噴霧消火設備

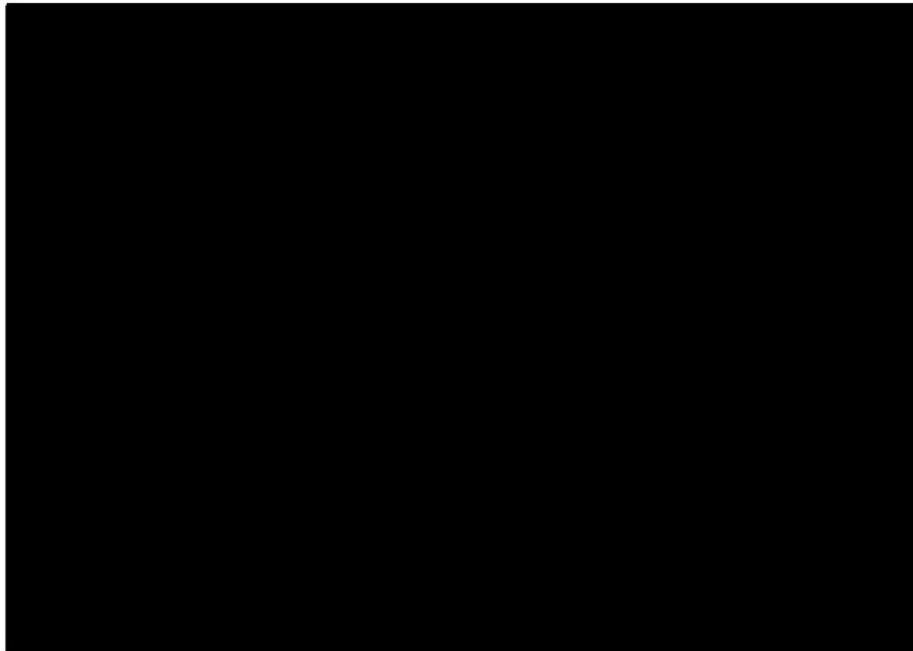







図24(1)アスファルト固化処理施設(ASP) 地下2階平面図

 管理区域

調査の対象	
	防護対象設備等
	廃棄物の仕掛品の保管場所
	廃棄物の仕掛品の置場
	危険物(少量未満危険物を含む。)
	指定可燃物






火災感知設備	
	熱感知器
	煙感知器
	総合盤
	受信機

消火設備	
	屋内消火栓
	ABC消火器
	水噴霧消火設備



図24(2)アスファルト固化処理施設(ASP) 地下1階平面図

 管理区域

調査の対象	
	防護対象設備等
	廃棄物の仕掛品の保管場所
	廃棄物の仕掛品の置場
	危険物(少量未満危険物を含む。)
	指定可燃物

火災感知設備	
	熱感知器
	煙感知器
	総合盤
	受信機

消火設備	
	屋内消火栓
	ABC消火器
	水噴霧消火設備

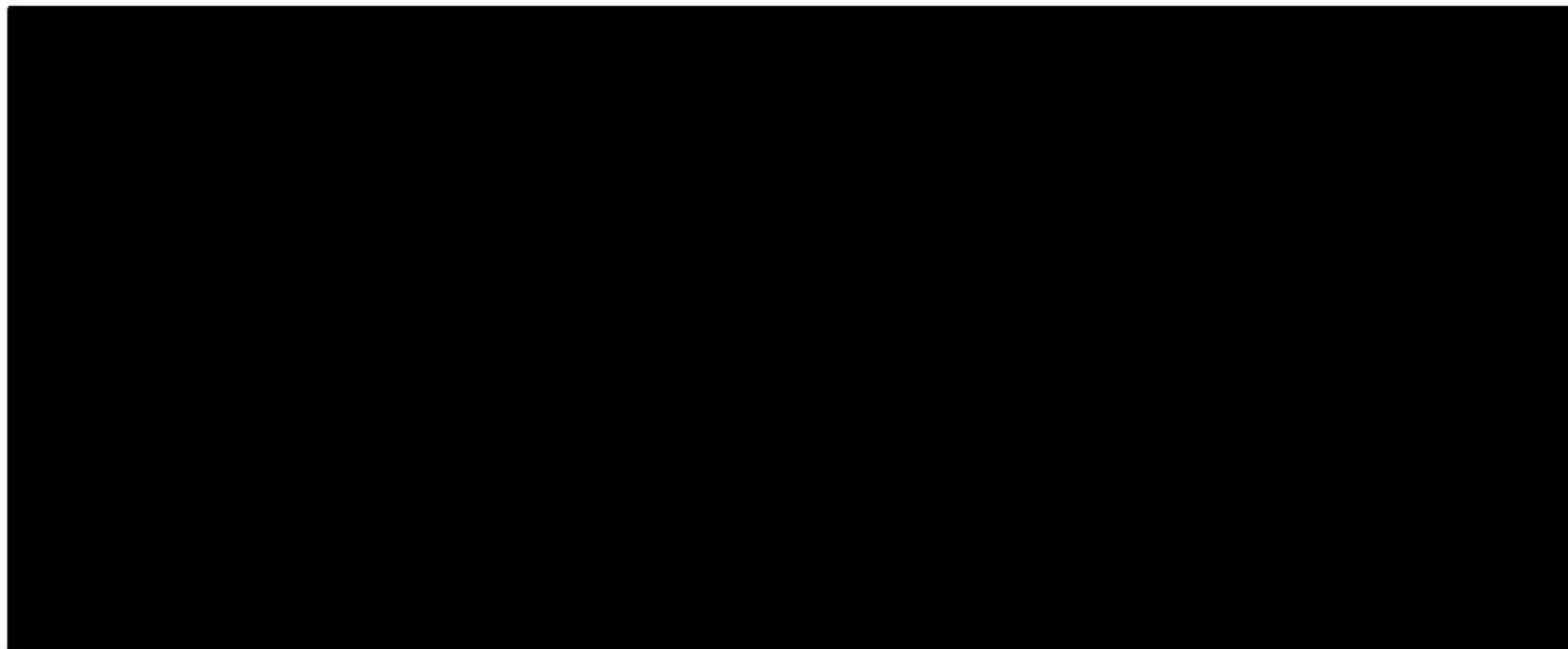







図24(3)アスファルト固化処理施設(ASP) 地上1階平面図

 管理区域

調査の対象	
	防護対象設備等
	廃棄物の仕掛品の保管場所
	廃棄物の仕掛品の置場
	危険物(少量未満危険物を含む。)
	指定可燃物

火災感知設備	
	熱感知器
	煙感知器
	総合盤
	受信機

消火設備	
	屋内消火栓
	ABC消火器
	水噴霧消火設備

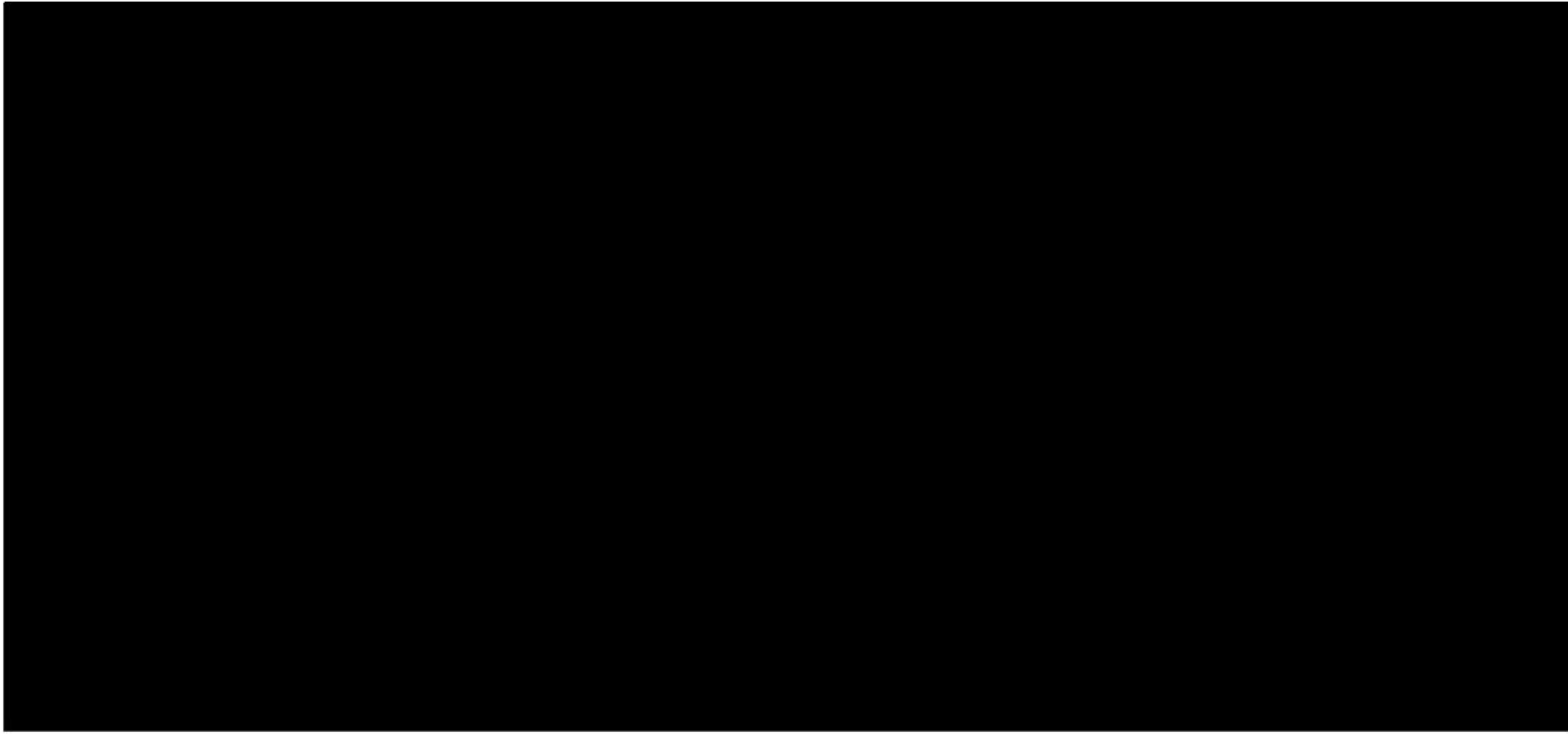







図24(4)アスファルト固化処理施設(ASP) 地上2階平面図

 管理区域

調査の対象	
	防護対象設備等
	廃棄物の仕掛品の保管場所
	廃棄物の仕掛品の置場
	危険物(少量未満危険物を含む。)
	指定可燃物






火災感知設備	
	熱感知器
	煙感知器
	総合盤
	受信機

消火設備	
	屋内消火栓
	ABC消火器
	水噴霧消火設備



図24(5)アスファルト固化処理施設(ASP) 地上3階平面図

 管理区域

調査の対象	
	防護対象設備等
	廃棄物の仕掛品の保管場所
	廃棄物の仕掛品の置場
	危険物(少量未満危険物を含む。)
	指定可燃物






火災感知設備	
	熱感知器
	煙感知器
	総合盤
	受信機

消火設備	
	屋内消火栓
	ABC消火器
	水噴霧消火設備



図24(6)アスファルト固化処理施設(ASP) 地上4階平面図

 管理区域

調査の対象	
	防護対象設備等
	廃棄物の仕掛品の保管場所
	廃棄物の仕掛品の置場
	危険物(少量未満危険物を含む。)
	指定可燃物

火災感知設備	
	熱感知器
	煙感知器
	総合盤
	受信機

消火設備	
	屋内消火栓
	ABC消火器
	水噴霧消火設備



図24(7)アスファルト固化処理施設(ASP) 屋上平面図


		火災防護上の特徴	
防護対象 の設置状況	/	防護対象	・ 廃液受入貯槽 (A12V21) 金属製貯槽 密封構造
		設置場所 の状況	・ 地下 2 階～地下 1 階 廃液受入貯蔵セル (R051) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート (ライニング仕上げ) 照明：無し
		人の立入	・ 無し
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・ 無し
防護対象の 周囲の状況	/	火災感知設備	・ 無し
		消火設備	・ 無し
			
		セル壁 (A037 側) ASP-01-写 02	
設置場所の 火災感知の 方法の状況	/		
設置場所の 消火方法 の状況	/		

図 24 (1/6) アスファルト固化処理施設 (ASP) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果


		火災防護上の特徴			
防護対象 の設置状況	/	防護対象	・ 廃液受入貯槽 (A12V20) 金属製貯槽 密封構造		
		設置場所 の状況	・ 地下2階～地下1階 廃液受入貯蔵セル (R052) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート (ライニング仕上げ) 照明：無し		
		人の立入	・ 無し		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・ 無し		
防護対象の 周囲の状況	/	火災感知設備	・ 無し		
		消火設備	・ 無し		
					/
		セル壁 (A037側) ASP-02-写02			/
設置場所の 火災感知の 方法の状況	/				
設置場所の 消火方法 の状況	/				

図 24 (2/6) アスファルト固化処理施設 (ASP) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 <p>指定可燃物 アスファルト貯槽 (A21V45) ASP-03-写 01</p>	防護対象	<ul style="list-style-type: none"> 指定可燃物 (アスファルト原料) アスファルト貯槽 (A21V45) 密封構造 	
		設置場所 の状況	<ul style="list-style-type: none"> 地下1階 アスファルト貯蔵室 (G018) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：あり 	
防護対象の 周囲の状況	 <p>周囲 ASP-03-写 02①</p>	人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
	火災感知設備	<ul style="list-style-type: none"> 上部付近に煙感知器有り アスファルト固化処理施設(ASP)制御室(G218) の受信機、第三低放射性蒸発処理施設(Z)第2 安全管理室(G204)の受信機、分析所(CB)の 安全管理室(G220)の受信機及び分離精製工場 (MP)中央制御室(G549)受信機において感知 可能 		
	消火設備	<ul style="list-style-type: none"> 消火器：約 6 m 屋内消火栓：約 22 m 水噴霧消火設備 		
	 <p>壁 ASP-03-写 02②</p>	 <p>天井 ASP-03-写 02③</p>	 <p>床 ASP-03-写 02④</p>	
	設置場所の 火災感知の 方法の状況	 <p>煙感知器 ASP-03-写 03</p>	 <p>受信機 (G218) ASP-03-写 04</p>	
	設置場所の 消火方法 の状況	 <p>消火器 (ABC 消火器： G018) ASP-03-写 05</p>	 <p>屋内消火栓 (A031) ASP-03-写 06</p>	 <p>水噴霧消火設備 (制御弁： G015) ASP-03-写 07</p>

図 24 (3/6) アスファルト固化処理施設 (ASP) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴








防護対象の設置状況	 <p>仕掛品 (保管場所) ASP-04-写 01</p>	防護対象	<ul style="list-style-type: none"> 仕掛品 (保管場所) 金属製棚 (不燃シート養生) 非密封構造 		
		設置場所の状況	<ul style="list-style-type: none"> 地上1階 薬品貯蔵室 (G113) 天井: コンクリート 壁: コンクリート 床: コンクリート 照明: あり 		
		人の立入	<ul style="list-style-type: none"> 有り 		
		防護対象近傍の危険物・可燃物	<ul style="list-style-type: none"> 無し 		
		火災感知設備	<ul style="list-style-type: none"> 上部付近に煙感知器有り アスファルト固化処理施設 (ASP) 制御室 (G218) の受信機、第三低放射性蒸発処理施設 (Z) 第2安全管理室 (G204) の受信機、分析所 (CB) の安全管理室 (G220) の受信機及び分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) 受信機において感知可能 		
防火設備	<ul style="list-style-type: none"> 消火器: 約 6 m 屋内消火栓: 約 25 m 				
防護対象の周囲の状況	 <p>周囲 ASP-04-写 02①</p>				
	 <p>壁 ASP-04-写 02②</p>	 <p>天井 ASP-04-写 02③</p>	 <p>床 ASP-04-写 02④</p>		
	設置場所の火災感知の方法の状況		 <p>煙感知器 ASP-04-写 03</p>	 <p>受信機 (G218) ASP-03-写 04</p>	
	設置場所の消火方法の状況		 <p>消火器 (ABC 消火器: G112) ASP-04-写 05</p>	 <p>屋内消火栓 (A131) ASP-04-写 06</p>	

図 24 (4/6) アスファルト固化処理施設 (ASP) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 <p>仕掛品 (置場) ASP-05-写 01</p>	防護対象	<ul style="list-style-type: none"> ・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造 		
		設置場所 の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地上 2 階 更衣室 (A236) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：あり 		
		人の立入	<ul style="list-style-type: none"> ・有り 		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	<ul style="list-style-type: none"> ・無し 		
防護対象の 周囲の状況	 <p>周囲 ASP-05-写 02①</p>	火災感知設備	<ul style="list-style-type: none"> ・上部付近に煙感知器有り アスファルト固化処理施設 (ASP) 制御室 (G218) の受信機、第三低放射性蒸発処理施設 (Z) 第 2 安全管理室 (G204) の受信機、分析所 (CB) の安全管理室 (G220) の受信機及び分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) 受信機において感知可能 		
		消火設備	<ul style="list-style-type: none"> ・消火器：約 12 m ・屋内消火栓：約 25 m 		
	 <p>壁 ASP-05-写 02②</p>	 <p>天井 ASP-05-写 02③</p>	 <p>床 ASP-05-写 02④</p>		
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 <p>煙感知器 ASP-05-写 03</p>	 <p>受信機 (G218) ASP-03-写 04</p>			
設置場所の 消火方法 の状況	 <p>消火器 (ABC 消火器：A236) ASP-05-写 05</p>	 <p>屋内消火栓 (G216) ASP-05-写 06</p>			

図 24 (5/6) アスファルト固化処理施設 (ASP) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 少量未満危険物 ASP-06-写 01	防護対象	・少量未満危険物（潤滑油等） 金属製棚 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地上3階 エアロック（A314） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：あり	
		人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 ASP-06-写 02①	火災感知設備	・上部付近に煙感知器有り アスファルト固化処理施設（ASP）制御室（G218） の受信機、第三低放射性蒸発処理施設（Z）第2安全 管理室（G204）の受信機、分析所（CB）の安全 管理室（G220）の受信機及び分離精製工場（MP） 中央制御室（G549）受信機において感知可能	
		消火設備	・消火器：約 10 m ・屋内消火栓：約 15 m	
	 壁 ASP-06-写 02②	 天井 ASP-06-写 02③	 床 ASP-06-写 02④	
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 煙感知器 ASP-06-写 03	 受信機（G218） ASP-03-写 04		
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器（ABC 消火器：A314） ASP-06-写 05	 屋内消火栓（G311） ASP-06-写 06		

図 24 (6/6) アスファルト固化処理施設（ASP）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

25.分析所(CB)

表 25 分析所 (CB)プラントウォークダウン結果まとめ(1/4)

No	階層	防護対象 [※]	防護対象の設置場所	防護対象の設置場所の状況		設置場所の火災感知の方法の状況		設置場所の消火方法の状況					備考	
				設置状況	周囲の状況	感知器 (基数)	受信機 (設置部屋)	最寄りの消火器 (部屋/距離 m)		最寄りの屋内消火栓 (部屋/距離 m)		その他の消火設備 (部屋/距離 m)		
01	B1F	中間貯槽 (108V10、V11)	R027	-	CB-01-写 02	-	-	-	-	-	-	-	-	分析試料等は工程 洗浄により処理済 み
02	B1F	中間貯槽 (108V20、V21)	R026	-	CB-02-写 02	-	-	-	-	-	-	-	-	
03	B1F	中間貯槽 (108V30、V31)	R025	-	CB-03-写 02	-	-	-	-	-	-	-	-	
04	B1F	少量未満危険物	A020	CB-04-写 01	CB-04-写 02	CB-04-写 C3※ (煙感知器:1基)	CB-04-写 04 (G220)	CB-04-写 05 (A020)	約 5 m	CB-04-写 06 (W004)	約 10 m	-	-	・ネオコーゼー等 ※1Fに設置
05	B1F	仕掛品 (保管場所)	A021	CB-05-写 01	CB-05-写 02	CB-05-写 03 (熱感知器:10基)	同上	同上	約 15 m	同上	約 20 m	-	-	
06	B1F	仕掛品 (置場)	A023	CB-06-写 01	CB-06-写 02	CB-06-写 03 (熱感知器:24基)	同上	CB-06-写 05 (A023)	約 6 m	同上	約 35 m	-	-	
07	B1F	少量未満危険物	W040	CB-07-写 01	CB-07-写 02	CB-07-写 03 (熱感知器:17基)	同上	CB-07-写 05 (W040)	約 1 m	CB-07-写 06 (W040)	約 15 m	-	-	・オイル等
08	B1F	少量未満危険物	W006	CB-08-写 01	CB-08-写 02	CB-08-写 03 (熱感知器:11基)	同上	CB-08-写 05 (W006)	約 5 m	CB-04-写 06 (W004)	約 15 m	-	-	・オイル等
09	1F	仕掛品 (置場) (北側)	G104	CB-09-写 01	CB-09-写 02	CB-09-写 03 (熱感知器:10基)	同上	CB-09-写 05 (G104)	約 8 m	CB-09-写 06 (G103)	約 20 m	-	-	
10	1F	仕掛品 (置場) (南側)	G104	CB-10-写 01	CB-10-写 02	CB-10-写 03 (熱感知器:10基)	同上	CB-10-写 05 (G104)	約 12 m	同上	約 25 m	-	-	
11	1F	仕掛品 (置場) (東側)	G105	CB-11-写 01	CB-11-写 02	CB-11-写 03 (熱感知器:8基)	同上	CB-11-写 05 (G105)	約 20 m	同上	約 35 m	-	-	
12	1F	仕掛品 (置場) (西側)	G105	CB-12-写 01	CB-12-写 02	同上	同上	同上	約 10 m	同上	約 30 m	-	-	
13	1F	仕掛品 (置場)	G107	CB-13-写 01	CB-13-写 02	CB-13-写 03 (熱感知器:7基)	同上	CB-13-写 05 (G109)	約 5 m	同上	約 10 m	-	-	
14	1F	仕掛品 (置場)	G108	CB-14-写 01	CB-14-写 02	CB-14-写 03 (熱感知器:7基)	同上	CB-14-写 05 (G108)	約 1 m	同上	約 20 m	-	-	
15	1F	仕掛品 (置場) (東側)	G117	CB-15-写 01	CB-15-写 02	CB-15-写 03 (熱感知器:3基)	同上	CB-15-写 05 (G117)	約 2 m	同上	約 5 m	-	-	
16	1F	仕掛品 (置場) (西側)	G117	CB-16-写 01	CB-16-写 02	CB-16-写 03 (熱感知器:3基)	同上	同上	約 10 m	同上	約 15 m	-	-	
17	1F	少量未満危険物	G117	CB-17-写 01	CB-17-写 02	CB-15-写 03 (熱感知器:3基)	同上	同上	約 1 m	同上	約 5 m	-	-	・メチルアルコール 等
18	1F	分析試料 (G.B II-1)	G116	CB-18-写 01	CB-18-写 02	CB-18-写 03 (熱感知器:4基)	同上	CB-18-写 05 (G116)	約 5 m	同上	約 15 m	-	-	・G.B 内に加熱機器 がなく消火用バルブ を設置していない。 ・必要に応じ G104 及び G105 の CO ₂ 消 火器を使用可。

表 25 分析所 (CB)プラントワークダウン結果まとめ(2/4)

No	階層	防護対象 [※]	防護対象の設置場所	防護対象の設置場所の状況		設置場所の火災感知の方法の状況		設置場所の消火方法の状況					備考	
				設置状況	周囲の状況	感知器 (基数)	受信機 (設置部屋)	最寄りの消火器 (部屋/距離 m)		最寄りの屋内消火栓 (部屋/距離 m)		その他の消火設備 (部屋/距離 m)		
19	1F	仕掛品 (置場)	G116	CB-19-写 01	CB-19-写 02	CB-19-写 03 (熱感知器:4基)	CB-04-写 04 (G220)	CB-18-写 05 (G116)	約 15 m	CB-09-写 06 (G103)	約 25 m	-	-	
20	1F	分析試料 (G.B I-1)	G115	CB-20-写 01	CB-20-写 02	CB-20-写 03 (熱感知器:4基)	同上	CB-20-写 05 (G115)	約 10 m	CB-20-写 06 (G103)	約 20 m	-	-	・G.B 内に加熱機器がなく消火用バルブを設置していない。 ・必要に応じ G104 及び G105 の CO ₂ 消火器を使用可。
21	1F	分析試料 (G.B I-3)	G115	CB-21-写 01	CB-21-写 02	同上	同上	同上	約 10 m	同上	約 20 m	CB-21-写 07 (G115)	-	・必要に応じ G104 及び G105 の CO ₂ 消火器を使用可。
22	1F	分析試料 (G.B I-4)	G115	CB-22-写 01	CB-22-写 02	同上	同上	同上	約 8 m	同上	約 15 m	CB-22-写 07 (G115)	-	・必要に応じ G104 及び G105 の CO ₂ 消火器を使用可。
23	1F	分析試料 (G.B II-3)	G115	CB-23-写 01	CB-23-写 02	CB-23-写 03 (熱感知器:4基)	同上	同上	約 5 m	同上	約 15 m	CB-23-写 07 (G115)	-	・必要に応じ G104 及び G105 の CO ₂ 消火器を使用可。
24	1F	分析試料 (G.B II-5)	G115	CB-24-写 01	CB-24-写 02	CB-20-写 03 (熱感知器:4基)	同上	同上	約 10 m	同上	約 20 m	-	-	・G.B 内に加熱機器がなく消火用バルブを設置していない。 ・必要に応じ G104 及び G105 の CO ₂ 消火器を使用可。
25	1F	仕掛品 (置場)	G115	CB-25-写 01	CB-25-写 02	CB-25-写 03 (熱感知器:4基)	同上	同上	約 12 m	同上	約 25 m	-	-	
26	1F	仕掛品 (置場) (東側)	G123	CB-26-写 01	CB-26-写 02	CB-26-写 03 (熱感知器:5基)	同上	CB-26-写 05 (G122)	約 5 m	同上	約 15 m	-	-	
27	1F	仕掛品 (置場) (西側)	G123	CB-27-写 01	CB-27-写 02	CB-27-写 03 (熱感知器:5基)	同上	同上	約 12 m	同上	約 20 m	-	-	
28	1F	少量未満危険物	G123	CB-28-写 01	CB-28-写 02	CB-26-写 03 (熱感知器:5基)	同上	CB-28-写 05 (G103)	約 5 m	同上	約 15 m	-	-	・ピリジン
29	1F	分析試料 (G.B No.4)	G124	CB-29-写 01	CB-29-写 02	CB-29-写 03 (熱感知器:2基)	同上	CB-29-写 05 (G124)	約 3 m	同上	約 24 m	CB-29-写 07 (G124)	-	・必要に応じ G104 及び G105 の CO ₂ 消火器を使用可。
30	1F	分析試料 (G.B No.5)	G124	CB-30-写 01	CB-30-写 02	CB-30-写 03 (熱感知器:2基)	同上	同上	約 6 m	同上	約 24 m	CB-30-写 07 (G124)	-	・必要に応じ G104 及び G105 の CO ₂ 消火器を使用可。
31	1F	分析試料 (G.B No.7)	G124	CB-31-写 01	CB-31-写 02	CB-29-写 03 (熱感知器:2基)	同上	同上	約 3 m	同上	約 20 m	-	-	・G.B 内に加熱機器がなく消火用バルブを設置していない。 ・必要に応じ G104 及び G105 の CO ₂ 消火器を使用可。
32	1F	仕掛品 (置場) (東側)	G124	CB-32-写 01	CB-32-写 02	CB-30-写 03 (熱感知器:2基)	同上	同上	約 12 m	同上	約 24 m	-	-	
33	1F	仕掛品 (置場) (西側)	G124	CB-33-写 01	CB-33-写 02	CB-29-写 03 (熱感知器:2基)	同上	同上	約 6 m	同上	約 24 m	-	-	

表 25 分析所 (CB)プラントワークダウン結果まとめ(3/4)





No	階層	防護対象 [※]	防護対象の設置場所	防護対象の設置場所の状況		設置場所の火災感知の方法の状況		設置場所の消火方法の状況						備考
				設置状況	周囲の状況	感知器 (基数)	受信機 (設置部屋)	最寄りの消火器 (部屋/距離 m)		最寄りの屋内消火栓 (部屋/距離 m)		その他の消火設備 (部屋/距離 m)		
34	1F	仕掛品 (置場)	G125	CB-34-写 01	CB-34-写 02	CB-34-写 03 (熱感知器:1基)	CB-04-写 04 (G220)	CB-34-写 05 (G125)	約 2 m	CB-09-写 06 (G103)	約 20 m	-	-	
35	1F	仕掛品 (置場)	G129	CB-35-写 01	CB-35-写 02	CB-35-写 03 (熱感知器:2基)	同上	CB-35-写 05 (G129)	約 6 m	CB-20-写 06 (G103)	約 30 m	-	-	
36	B1F	標準物質 (置場)	G014	CB-36-写 01	CB-36-写 02	CB-36-写 03 (熱感知器:2基)	同上	CB-36-写 05 (G014)	約 6 m	CB-36-写 06 (W007)	約 14 m	-	-	
37	1F	仕掛品 (保管場所) (北側)	G120	CB-37-写 01	CB-37-写 02	CB-37-写 03 (熱感知器:2基)	同上	CB-37-写 05 (G120)	約 6 m	CB-20-写 06 (G103)	約 12 m	-	-	
38	1F	仕掛品 (保管場所) (南側)	G120	CB-38-写 01	CB-38-写 02	CB-38-写 03 (熱感知器:2基)	同上	同上	約 12 m	同上	約 18 m	-	-	
39	1F	少量未満危険物	G120	CB-39-写 01	CB-39-写 02	CB-37-写 03 (熱感知器:2基)	同上	同上	約 6 m	同上	約 12 m	-	-	・酢酸エチル等
40	1F	仕掛品 (保管場所)	G142	CB-40-写 01	CB-40-写 02	CB-40-写 03 (熱感知器:3基)	同上	CB-40-写 05 (G142)	約 6 m	CB-40-写 06 (G141)	約 15 m	-	-	
41	1F	仕掛品 (置場)	G142	CB-41-写 01	CB-41-写 02	CB-41-写 03 (熱感知器:3基)	同上	同上	約 6 m	同上	約 18 m	-	-	
42	1F	少量未満危険物	G142	CB-42-写 01	CB-42-写 02	同上	同上	同上	約 6 m	同上	約 24 m	-	-	・潤滑油等
43	1F	仕掛品 (置場)	G144	CB-43-写 01	CB-43-写 02	CB-43-写 03 (熱感知器:7基)	同上	CB-43-写 05 (G141)	約 8 m	同上	約 8 m	-	-	
44	1F	仕掛品 (保管場所)	A114	CB-44-写 01	CB-44-写 02	CB-44-写 03 (熱感知器:4基)	同上	CB-44-写 05 (A114)	約 3 m	CB-20-写 06 (G103)	約 18 m	-	-	
45	1F	仕掛品 (置場)	A114	CB-45-写 01	CB-45-写 02	同上	同上	同上	約 1 m	同上	約 18 m	-	-	
46	1F	少量未満危険物	A114	CB-46-写 01	CB-46-写 02	同上	同上	同上	約 6 m	同上	約 18m	-	-	・アセトン等
47	1F	仕掛品 (保管場所)	A146	CB-47-写 01	CB-47-写 02	CB-47-写 C3* (煙感知器:2基、熱感知器:3基)	同上	CB-47-写 05 (A146)	約 14 m	CB-40-写 06 (G141)	約 14 m	-	-	吹抜け *2Fに設置
48	1F	仕掛品 (置場)	A146	CB-48-写 01	CB-48-写 02	同上	同上	同上	約 8 m	同上	約 14 m	-	-	吹抜け
49	2F	仕掛品 (置場)	G222	CB-49-写 01	CB-49-写 02	CB-49-写 03 (熱感知器:8基)	同上	CB-49-写 05 (G222)	約 6 m	CB-49-写 06 (G216)	約 24 m	-	-	
50	3F	仕掛品 (置場)	G313	CB-50-写 01	CB-50-写 02	CB-50-写 03 (熱感知器:5基)	同上	CB-50-写 05 (G314)	約 12 m	CB-50-写 06 (G328)	約 20 m	-	-	

表 25 分析所 (CB)プラントウォークダウン結果まとめ(4/4)





No	階層	防護対象 [※]	防護対象の設置場所	防護対象の設置場所の状況		設置場所の火災感知の方法の状況		設置場所の消火方法の状況					備考	
				設置状況	周囲の状況	感知器 (基数)	受信機 (設置部屋)	最寄りの消火器 (部屋/距離 m)		最寄りの屋内消火栓 (部屋/距離 m)		その他の消火設備 (部屋/距離 m)		
51	3F	仕掛品 (保管場所)	G315	CB-51-写 01	CB-51-写 02	CB-51-写 03 (熱感知器:3基)	CB-04-写 04 (G220)	CB-51-写 05 (G315)	約 6 m	CB-50-写 06 (G328)	約 20 m	-	-	
52	3F	少量未満危険物	G316	CB-52-写 01	CB-52-写 02	CB-53-写 03 (熱感知器:2基)	同上	CB-52-写 05 (G328)	約 14 m	同上	約 8 m	-	-	・エチレンアルコール等
53	3F	仕掛品 (置場)	G311	CB-53-写 01	CB-53-写 02	同上	同上	CB-53-写 05 (G311)	約 3 m	同上	約 10 m	-	-	
54	3F	仕掛品 (置場)	G322	CB-54-写 01	CB-54-写 02	CB-54-写 03 (熱感知器:2基)	同上	CB-52-写 05 (G328)	約 14 m	同上	約 8 m	-	-	
55	3F	仕掛品 (置場)	A323	CB-55-写 01	CB-55-写 02	CB-55-写 03 (熱感知器:2基)	同上	CB-55-写 05 (A324)	約 8 m	同上	約 14 m	-	-	
56	3F	少量未満危険物	A323	CB-56-写 01	CB-56-写 02	同上	同上	同上	約 8 m	同上	約 14 m	-	-	・モノエタノールアミン等
57	3F	仕掛品 (保管場所)	A324	CB-57-写 01	CB-57-写 02	CB-57-写 03 (熱感知器:6基)	同上	同上	約 6 m	同上	約 12 m	-	-	
58	3F	仕掛品 (置場)	A324	CB-58-写 01	CB-58-写 02	CB-58-写 03 (熱感知器:6基)	同上	同上	約 17 m	同上	約 23 m	-	-	
59	B1F	少量未満危険物	W004	CB-59-写 01	CB-59-写 02	CB-59-写 03 (熱感知器:54基)	同上	CB-59-写 05 (W004)	約 1 m	CB-36-写 06 (W007)	約 5 m	-	-	・シリンドー油

注 「別添 6-1-3-4 高放射性廃液貯蔵場(HAW), ガラス固化技術開発施設(TVF)ガラス固化技術開発棟及びそれらに関連する施設以外の分離精製工場(MP)等の施設の外部事象に対する安全対策に関する説明書」の「表 3-1 その他の施設における放射性物質の貯蔵・保管の状況(令和 2 年 6 月末時点)」に示す放射性物質等、各施設の廃棄物の仕掛品(置場及び保管場所)、危険物(少量未満危険物を含む。)

 管理区域

調査の対象	
	防護対象設備等
	廃棄物の仕掛品の保管場所
	廃棄物の仕掛品の置場
	危険物(少量未満危険物を含む。)

火災感知設備	
	熱感知器
	分布型熱感知器
	煙感知器
	防排用煙感知器
	総合盤
	受信機
	セル内温度警報 (FDT)

消火設備	
	屋内消火栓
	ABC消火器
	CO ₂ 消火器
	連結送水設備送水口

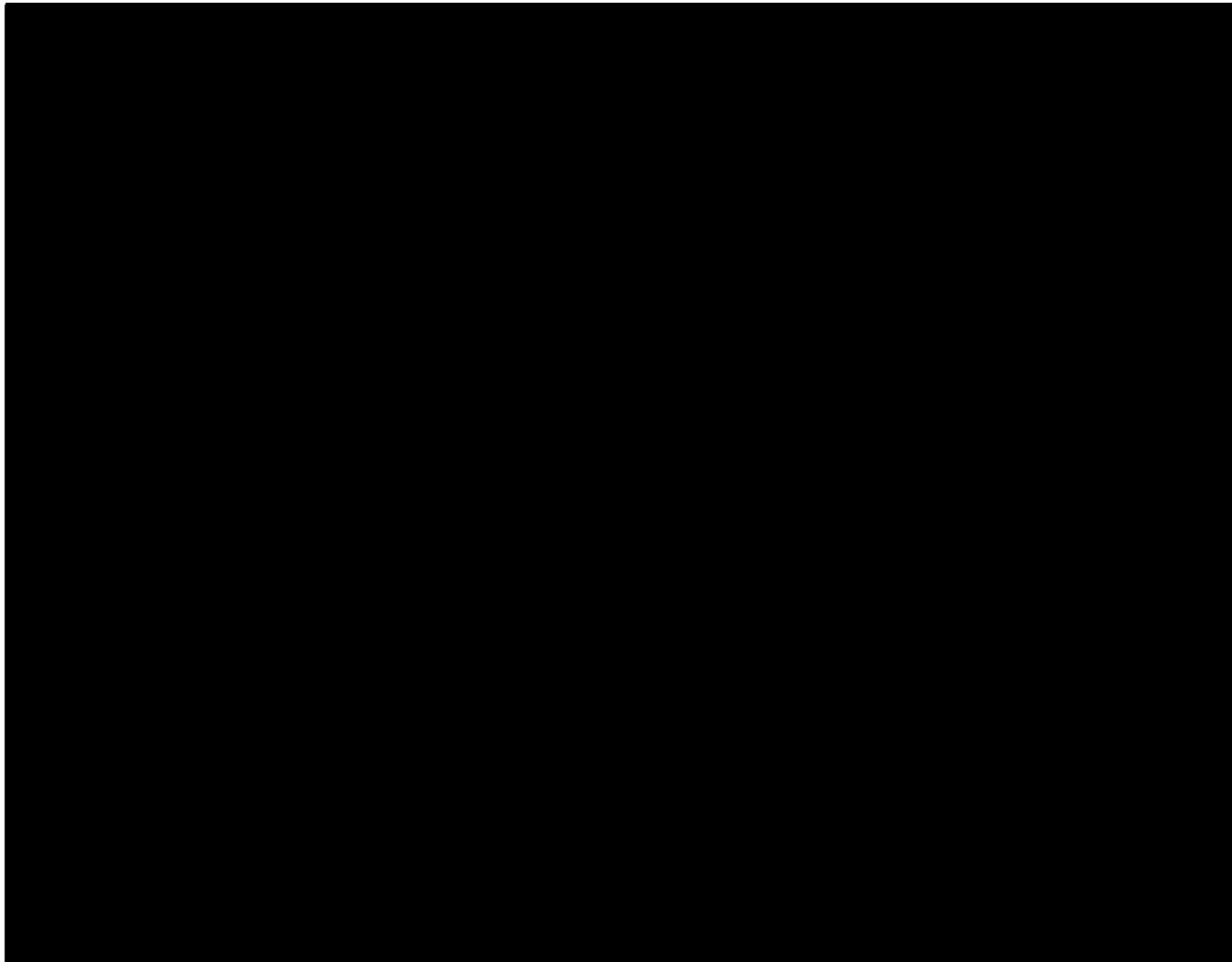
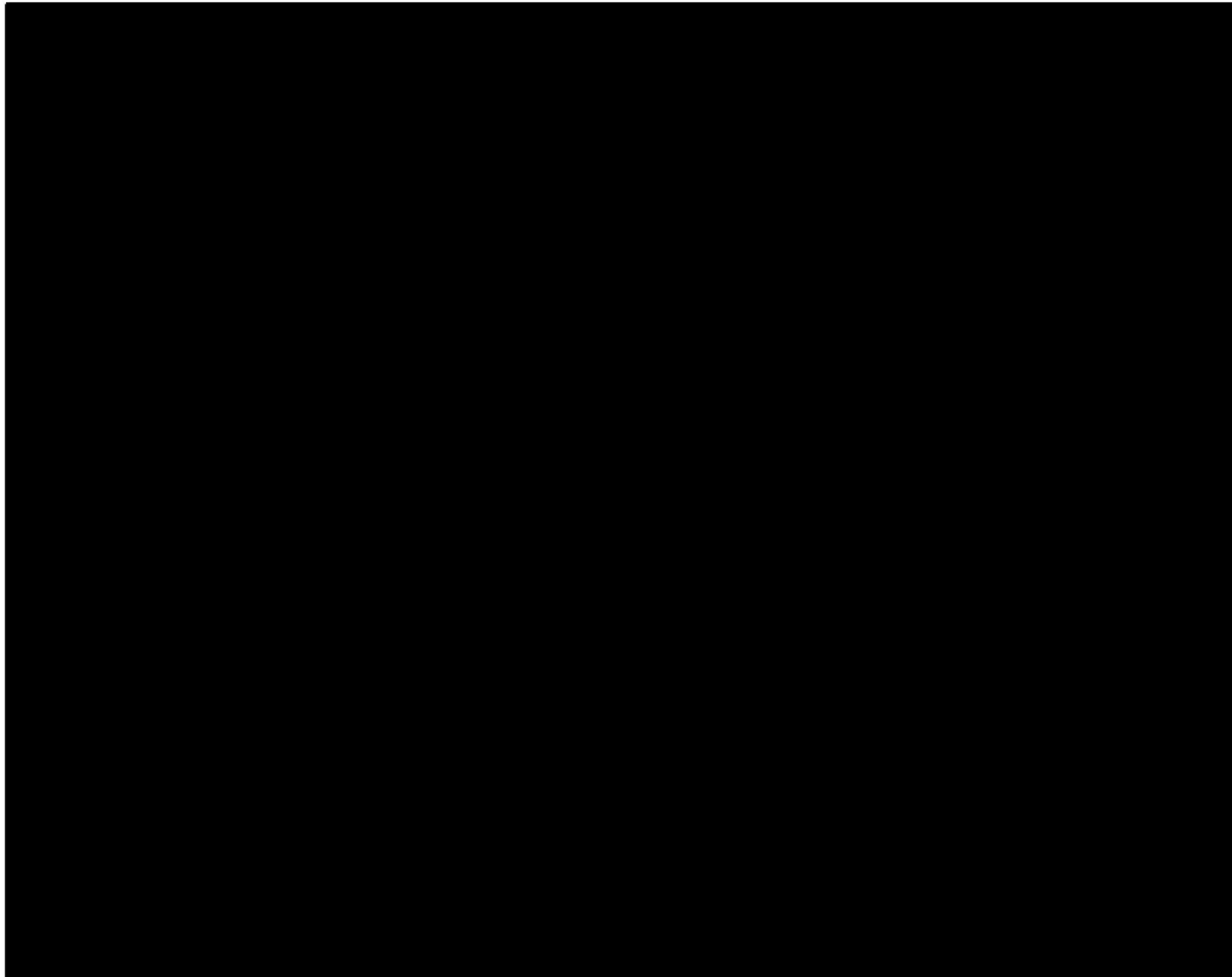






図25(1)分析所(CB) 地下1階平面図

 管理区域



調査の対象	
	防護対象設備等
	廃棄物の仕掛品の保管場所
	廃棄物の仕掛品の置場
	危険物(少量未満危険物を含む。)

火災感知設備	
	熱感知器
	分布型熱感知器
	煙感知器
	防排用煙感知器
	総合盤
	受信機
	セル内温度警報 (FDT)





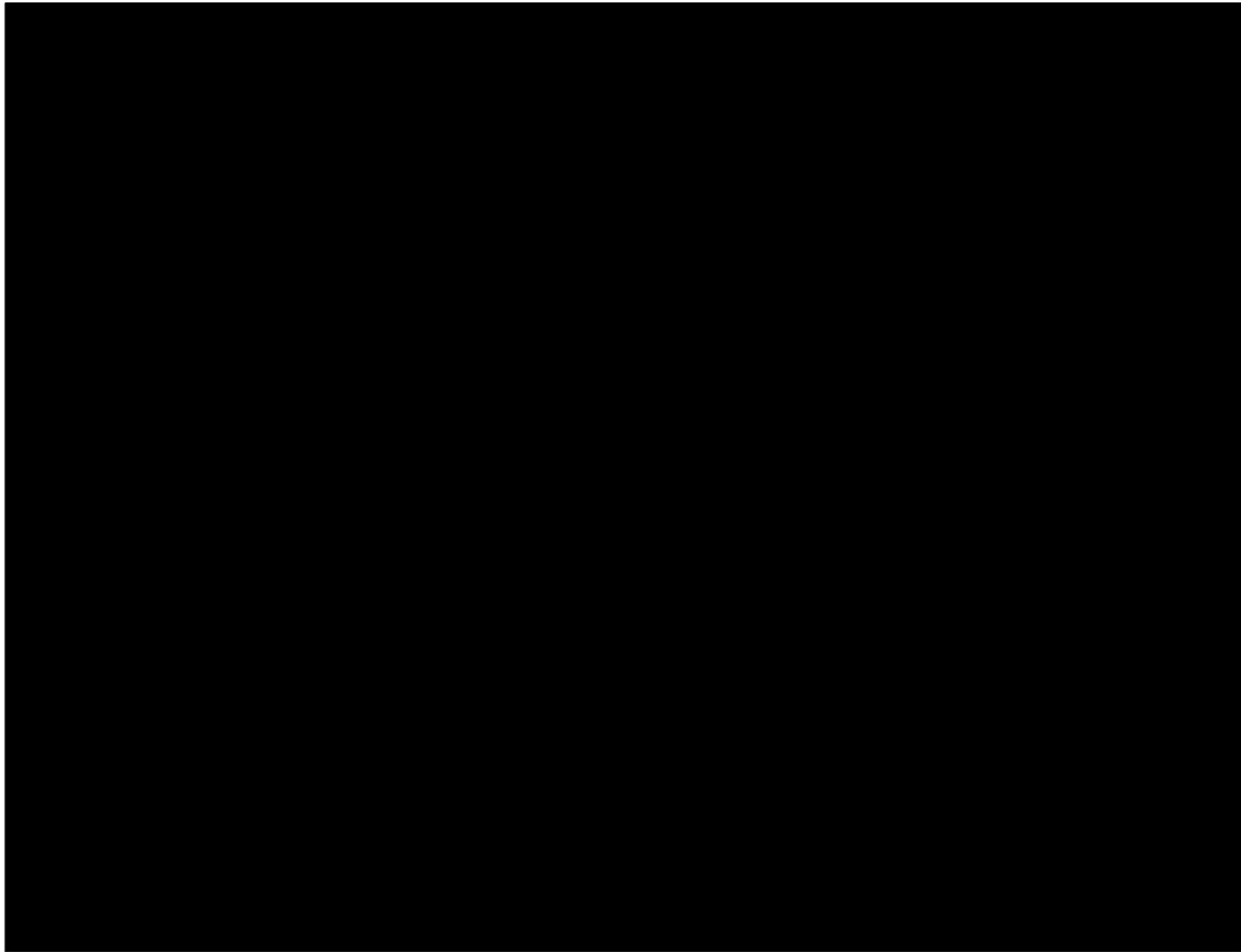
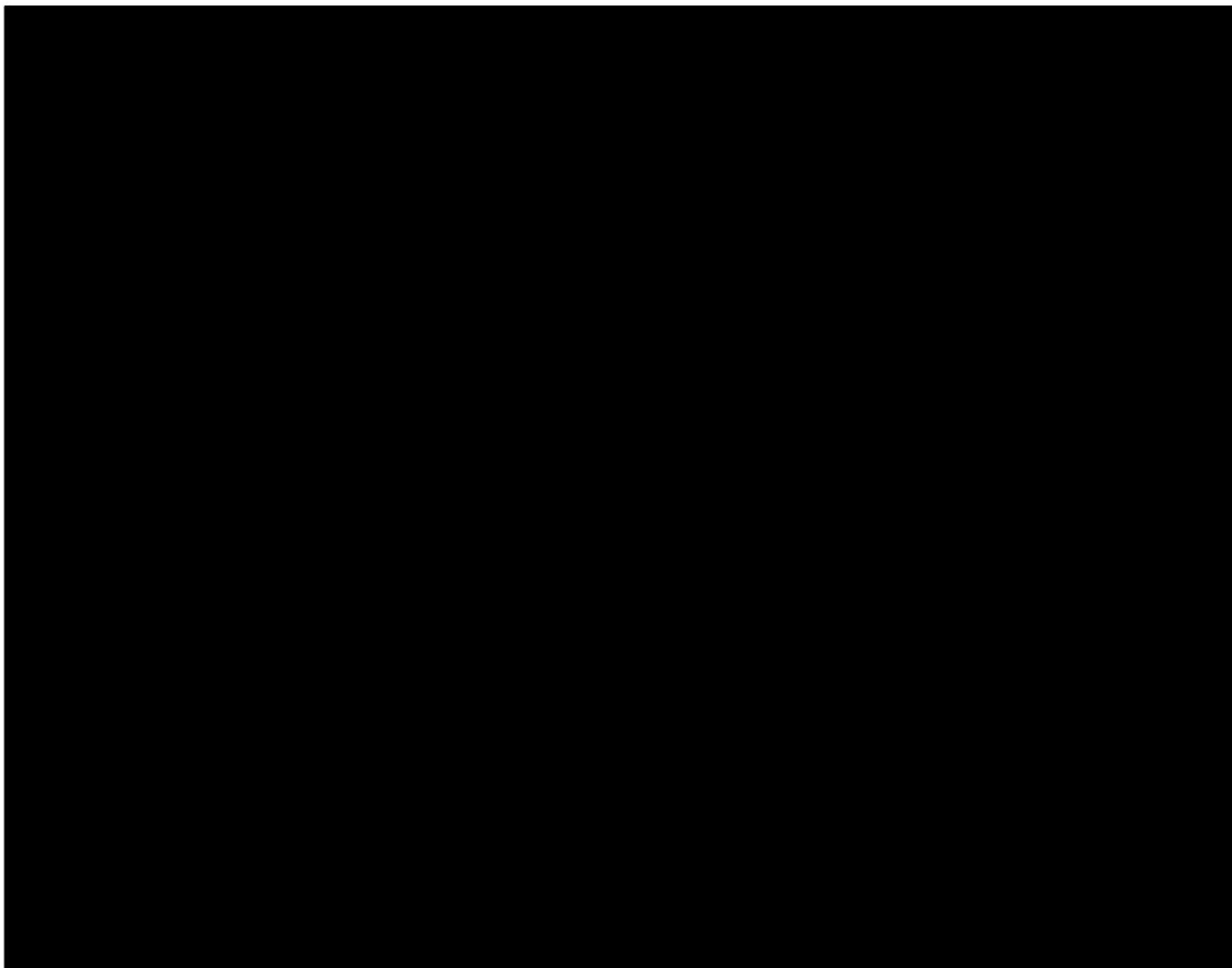
消火設備	
	屋内消火栓
	ABC消火器
	CO ₂ 消火器
	連結送水設備送水口

図25(2)分析所(CB) 地上1階平面図







	管理区域
調査の対象	
	防護対象設備等
	廃棄物の仕掛品の保管場所
	廃棄物の仕掛品の置場
	危険物(少量未満危険物を含む。)
火災感知設備	
	熱感知器
	分布型熱感知器
	煙感知器
	防排用煙感知器
	総合盤
	受信機
	セル内温度警報(FDT)
消火設備	
	屋内消火栓
	ABC消火器
	CO ₂ 消火器
	連結送水設備送水口

図25(3)分析所(CB) 地上2階平面図



 管理区域

調査の対象	
	防護対象設備等
	廃棄物の仕掛品の保管場所
	廃棄物の仕掛品の置場
	危険物(少量未満危険物を含む。)

火災感知設備	
	熱感知器
	分布型熱感知器
	煙感知器
	防排用煙感知器
	総合盤
	受信機
	セル内温度警報(FDT)



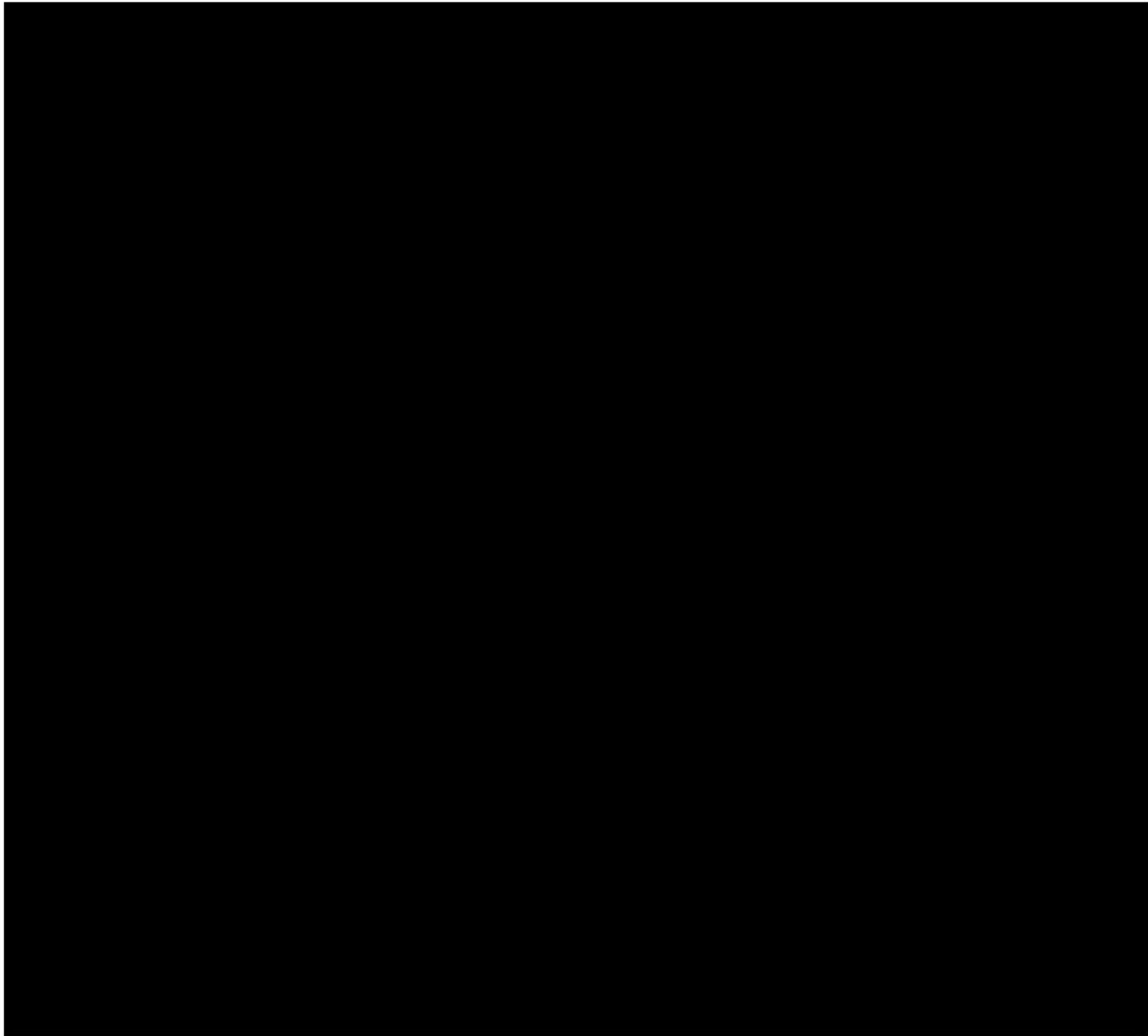




消火設備	
	屋内消火栓
	ABC消火器
	CO ₂ 消火器
	連結送水設備送水口

図25(4)分析所(CB) 地上3階平面図



 管理区域

調査の対象	
	防護対象設備等
	廃棄物の仕掛品の保管場所
	廃棄物の仕掛品の置場
	危険物(少量未満危険物を含む。)

火災感知設備	
	熱感知器
	分布型熱感知器
	煙感知器
	防排用煙感知器
	総合盤
	受信機
	セル内温度警報(FDT)

消火設備	
	屋内消火栓
	ABC消火器
	CO ₂ 消火器
	連結送水設備送水口

図25(5)分析所(GB) PH階平面図

火災防護上の特徴


防護対象 の設置状況		防護対象	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、防護対象（中間貯槽 108V10、V11）の分析試料等は工程洗浄により送液済み 金属製貯槽 密封構造 	
		設置場所 の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地下1階 廃液貯蔵セル（R027） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り 	
		人の立入	・無し	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
防護対象の 周囲の状況	 <p>壁 CB-01-写02</p>	火災感知設備	・無し	
		消火設備	・無し	
設置場所の 火災感知の 方法の状況				
設置場所の 消火方法 の状況				

図 25 (1/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果


		火災防護上の特徴	
防護対象 の設置状況	/	防護対象	・ 中間貯槽 (108V20、V21) 金属製貯槽 密封構造
		設置場所 の状況	・ 地下1階 廃液貯蔵セル (R026) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り
		人の立入	・ 無し
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・ 無し
		火災感知設備	・ 無し
防護対象の 周囲の状況	/	消火設備	・ 無し
		 壁 CB-02-写02	/
設置場所の 火災感知の 方法の状況	/	/	
設置場所の 消火方法 の状況	/	/	

図 25 (2/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果


		火災防護上の特徴	
防護対象 の設置状況	/	防護対象	・ 中間貯槽 (108V30、V31) 金属製貯槽 密封構造
		設置場所 の状況	・ 地下1階 廃液貯蔵セル (R025) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り
		人の立入	・ 無し
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・ 無し
		火災感知設備	・ 無し
防護対象の 周囲の状況	/	消火設備	・ 無し
		 壁 CB-03-写02	/
設置場所の 火災感知の 方法の状況	/	/	/
設置場所の 消火方法 の状況	/	/	/

図 25 (3/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 少量未満危険物 CB-04-写 01	防護対象	・少量未満危険物（ネオゴーゼ等） 金属製棚 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地下1階 階段（A020） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り	
		人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-04-写 02①	火災感知設備	・上部付近に煙感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び 分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信 機において感知可能	
		消火設備	・消火器：約 5 m ・屋内消火栓：約 10 m	
		 壁 CB-04-写 02②	 天井 CB-04-写 02③	 床 CB-04-写 02④
		設置場所の 火災感知の 方法の状況	 煙感知器 CB-04-写 03	 受信機（G220） CB-04-写 04
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器（ABC 消火器：A020） CB-04-写 05	 屋内消火栓（W004） CB-04-写 06		

図 25 (4/59) 分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴




防護対象 の設置状況	 仕掛品（保管場所） CB-05-写 01	防護対象	・仕掛品（保管場所） 金属製棚（不燃シート養生） 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地下1階 保守区域（A021） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り	
		人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
		火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び 分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信 機において感知可能	
消火設備	・消火器：約 15 m ・屋内消火栓：約 20 m			
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-05-写 02①	 天井 CB-05-写 02③	 床 CB-05-写 02④	
	 壁 CB-05-写 02②			
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-05-写 03	 受信機（G220） CB-04-写 04		
	 消火器（ABC 消火器：A020） CB-04-写 05	 屋内消火栓（W004） CB-04-写 06		

図 25 (5/59) 分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品（置場） CB-06-写 01	防護対象	・仕掛品（置場） 金属製容器 非密封構造		
		設置場所 の状況	・地下1階 排風機及びフィルタ室（A023） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り		
		人の立入	・有り		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し		
		火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び 分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信 機において感知可能		
消火設備	・消火器：約 6 m ・屋内消火栓：約 35 m				
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-06-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び 分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信 機において感知可能		
		消火設備	・消火器：約 6 m ・屋内消火栓：約 35 m		
		壁	 壁 CB-06-写 02②	天井	 天井 CB-06-写 02③
		床	 床 CB-06-写 02④		
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-06-写 03	 受信機（G220） CB-04-写 04			
	 消火器（ABC 消火器：A023） CB-06-写 05	 屋内消火栓（W004） CB-04-写 06			

図 25 (6/59) 分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 少量未満危険物 CB-07-写 01	防護対象	・少量未満危険物（オイル等） 金属製棚 非密封構造		
		設置場所 の状況	・地下1階 試験室の地下（W040） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り		
		人の立入	・有り		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し		
		火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び 分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信 機において感知可能		
消火設備	・消火器：約 1 m ・屋内消火栓：約 15 m				
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-07-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び 分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信 機において感知可能		
		消火設備	・消火器：約 1 m ・屋内消火栓：約 15 m		
		壁	 壁 CB-07-写 02②	 天井 CB-07-写 02③	 床 CB-07-写 02④
		設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-07-写 03	 受信機（G220） CB-04-写 04	
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器（ABC 消火器：W040） CB-07-写 05	 屋内消火栓（W040） CB-07-写 06			

図 25 (7/59) 分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 少量未満危険物 CB-08-写 01	防護対象	・少量未満危険物（オイル等） 金属製容器 密封構造	
		設置場所 の状況	・地下1階 入気室（W006） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り	
		人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-08-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び 分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信 機において感知可能	
		消火設備	・消火器：約 5 m ・屋内消火栓：約 15 m	
		壁	 天井 CB-08-写 02③	 床 CB-08-写 02④
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-08-写 03	 受信機（G220） CB-04-写 04		
	 消火器（ABC 消火器：W006） CB-08-写 05	 屋内消火栓（W004） CB-04-写 06		

図 25 (8/59) 分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品（置場） （北側） CB-09-写 01	防護対象	・仕掛品（置場） 金属製容器 非密封構造		
		設置場所 の状況	・地上1階 高放射性分析室（G104） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り		
		人の立入	・有り		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-09-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び 分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信 機において感知可能		
		消火設備	・消火器：約 8 m ・屋内消火栓：約 20 m		
	 壁 CB-09-写 02②	 天井 CB-09-写 02③	 床 CB-09-写 02④		
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-09-写 03	 受信機（G220） CB-04-写 04			
	 消火器（ABC 消火器：G104） CB-09-写 05	 屋内消火栓（G103） CB-09-写 06			
設置場所の 消火方法 の状況					

図 25 (9/59) 分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴



防護対象の設置状況	 仕掛品（置場） （南側） CB-10-写 01	防護対象	・仕掛品（置場） 金属製容器 非密封構造	
		設置場所の状況	・地上1階 高放射性分析室（G104） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り	
		人の立入	・有り	
		防護対象近傍の危険物・可燃物	・無し	
防護対象の周囲の状況	 周囲 CB-10-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び 分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信機 において感知可能	
		消火設備	・消火器：約 12 m ・屋内消火栓：約 25 m	
	 壁 CB-10-写 02②	 天井 CB-10-写 02③	 床 CB-10-写 02④	
設置場所の火災感知の方法の状況	 熱感知器 CB-10-写 03	 受信機（G220） CB-04-写 04		
設置場所の消火方法の状況	 消火器（ABC 消火器：G104） CB-10-写 05	 屋内消火栓（G103） CB-09-写 06		

図 25 (10/59) 分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品（置場） （東側） CB-11-写 01	防護対象	・仕掛品（置場） 金属製容器 非密封構造			
		設置場所 の状況	・地上1階 高放射性分析室（G105） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り			
		人の立入	・有り			
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し			
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-11-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び 分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信 機において感知可能			
		消火設備	・消火器：約 20 m ・屋内消火栓：約 35 m			
		壁	 壁 CB-11-写 02②	 天井 CB-11-写 02③	 床 CB-11-写 02④	
						設置場所の 火災感知の 方法の状況
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器（ABC 消火器：G105） CB-11-写 05					 屋内消火栓（G103） CB-09-写 06

図 25 (11/59) 分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品（置場） （西側） CB-12-写 01	防護対象	・仕掛品（置場） 金属製容器 非密封構造		
		設置場所 の状況	・地上1階 高放射性分析室（G105） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り		
		人の立入	・有り		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-12-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び 分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信 機において感知可能		
		消火設備	・消火器：約 10 m ・屋内消火栓：約 30 m		
	 壁 CB-12-写 02②	 天井 CB-12-写 02③	 床 CB-12-写 02④		
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-11-写 03	 受信機（G220） CB-04-写 04			
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器（ABC 消火器：G105） CB-11-写 05	 屋内消火栓（G103） CB-09-写 06			

図 25 (12/59) 分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) CB-13-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造			
		設置場所 の状況	・地上1階 中放射性分析室 (G107) 天井: コンクリート 壁: コンクリート 床: コンクリート 照明: 有り			
		人の立入	・有り			
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し			
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-13-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能			
		消火設備	・消火器: 約 5 m ・屋内消火栓: 約 10 m			
		壁	 壁 CB-13-写 02②	 天井 CB-13-写 02③	 床 CB-13-写 02④	
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-13-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04				
	 消火器 (ABC 消火器: G109) CB-13-写 05	 屋内消火栓 (G103) CB-09-写 06				
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器: G109) CB-13-写 05	 屋内消火栓 (G103) CB-09-写 06				

図 25 (13/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) CB-14-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造		
		設置場所 の状況	・地上1階 中放射性分析室 (G108) 天井: コンクリート 壁: コンクリート 床: コンクリート 照明: 有り		
		人の立入	・有り		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-14-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能		
		消火設備	・消火器: 約 1 m ・屋内消火栓: 約 20 m		
		壁	 壁 CB-14-写 02②	 天井 CB-14-写 02③	 床 CB-14-写 02④
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-14-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04			
	 消火器 (ABC 消火器: G108) CB-14-写 05	 屋内消火栓 (G103) CB-09-写 06			
設置場所の 消火方法 の状況					

図 25 (14/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) (東側) CB-15-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地上 1 階 化学準備室 (G117) 天井 : コンクリート 壁 : コンクリート 床 : コンクリート 照明 : 有り	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-15-写 02①	人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
		火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能	
		消火設備	・消火器 : 約 2 m ・屋内消火栓 : 約 5 m	
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 壁 (対面の壁) CB-15-写 02②	 天井 CB-15-写 02③	 床 CB-15-写 02④	
	 熱感知器 CB-15-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04		
	 消火器 (ABC 消火器 : G117) CB-15-写 05	 屋内消火栓 (G103) CB-09-写 06		
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器 : G117) CB-15-写 05			
	 屋内消火栓 (G103) CB-09-写 06			

図 25 (15/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) (西側) CB-16-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造		
		設置場所 の状況	・地上1階 化学・準備室 (G117) 天井: コンクリート 壁: コンクリート 床: コンクリート 照明: 有り		
		人の立入	・有り		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-16-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能		
		消火設備	・消火器: 約 10 m ・屋内消火栓: 約 15 m		
		壁	 壁 CB-16-写 02②	 天井 CB-16-写 02③	 床 CB-16-写 02④
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-16-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04			
	 消火器 (ABC 消火器: G117) CB-15-写 05	 屋内消火栓 (G103) CB-09-写 06			
設置場所の 消火方法 の状況					

図 25 (16/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 少量未満危険物 CB-17-写 01	防護対象	・少量未満危険物（メチルアルコール等） 金属製容器 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地上1階 化学・準備室（G117） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-17-写 02①	人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・資材等	
		火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び 分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信 機において感知可能	
		消火設備	・消火器：約 1 m ・屋内消火栓：約 5 m	
	 壁 CB-17-写 02②	 天井 CB-17-写 02③	 床 CB-17-写 02④	
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-15-写 03	 受信機（G220） CB-04-写 04		
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器（ABC 消火器：G117） CB-15-写 05	 屋内消火栓（G103） CB-09-写 06		

図 25（17/59）分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 分析試料 (G.B II-1) CB-18-写 01	防護対象	・分析試料 (G.B II-1) グローブボックス 密封構造		
		設置場所 の状況	・地上1階 低放射性分析室 (G116) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り		
		人の立入	・有り		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-18-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能		
		消火設備	・消火器：約 5 m ・屋内消火栓：約 15 m		
	 壁 CB-18-写 02②	 天井 CB-18-写 02③	 床 CB-18-写 02④		
	設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-18-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04		
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器：G116) CB-18- 写 05	 屋内消火栓 (G103) CB-09-写 06			

図 25 (18/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) CB-19-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造		
		設置場所 の状況	・地上1階 低放射性分析室 (G116) 天井: コンクリート 壁: コンクリート 床: コンクリート 照明: 有り		
		人の立入	・有り		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-19-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能		
		消火設備	・消火器: 約 15 m ・屋内消火栓: 約 25 m		
	 壁 CB-19-写 02②	 天井 CB-19-写 02③	 床 CB-19-写 02④		
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-19-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04			
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器: G116) CB-18-写 05	 屋内消火栓 (G103) CB-09-写 06			

図 25 (19/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴






防護対象 の設置状況	 分析試料 (G.B I-1) CB-20-写 01	防護対象	・分析試料 (G.B I-1) グローブボックス 密封構造		
		設置場所 の状況	・地上1階 低放射性分析室 (G115) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り		
		人の立入	・有り		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-20-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能		
		消火設備	・消火器：約 10 m ・屋内消火栓：約 20 m		
		壁 (G.B III-3 の背面) CB-20-写 02②	天井 CB-20-写 02③		
			床 CB-20-写 02④		
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-20-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04			
	 消火器 (ABC 消火器：G115) CB-20-写 05	 屋内消火栓 (G103) CB-20-写 06			

図 25 (20/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

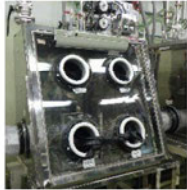

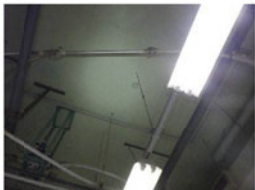



		火災防護上の特徴			
防護対象 の設置状況	 分析試料 (G.B I-3) CB-21-写 01	防護対象	<ul style="list-style-type: none"> 分析試料 (G.B I-3) グローブボックス 密封構造 		
		設置場所 の状況	<ul style="list-style-type: none"> 地上1階 低放射性分析室 (G115) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り 		
		人の立入	<ul style="list-style-type: none"> 有り 		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	<ul style="list-style-type: none"> 無し 		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-21-写 02①	火災感知設備	<ul style="list-style-type: none"> 上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信機において感知可能 		
		消火設備	<ul style="list-style-type: none"> 消火器：約 10 m 屋内消火栓：約 20 m 		
	 壁 (G.B III-3 背面の壁) CB-21-写 02②	 天井 CB-21-写 02③	 床 CB-21-写 02④		
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-20-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04			
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器： G115) CB-20-写 05	 屋内消火栓 (G103) CB-20-写 06	 G.B 内の消火用バルブ CB-21-写 07		

図 25 (21/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

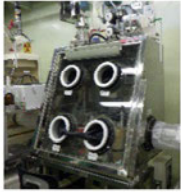
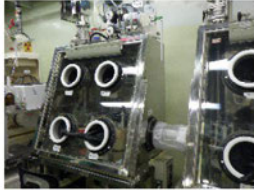


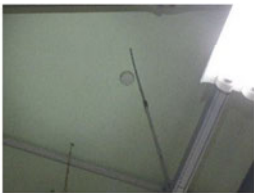


防護対象 の設置状況	 分析試料 (G.B I-4) CB-22-写 01	防護対象	・分析試料 (G.B I-4) グローブボックス 密封構造		
		設置場所 の状況	・地上1階 低放射性分析室 (G115) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り		
		人の立入	・有り		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-22-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能		
		消火設備	・消火器：約 8 m ・屋内消火栓：約 15 m		
	 壁 (G.B III-3 背面の壁) CB-22-写 02②	 天井 CB-22-写 02③	 床 CB-22-写 02④		
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-20-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04			
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器： G115) CB-20-写 05	 屋内消火栓 (G103) CB-20-写 06	 消火用バルブ G.B 内の消火用バルブ CB-22-写 07		

図 25 (22/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

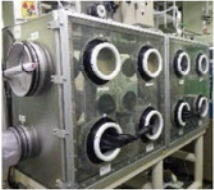



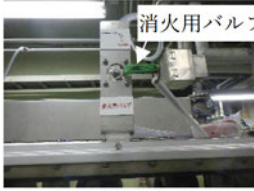
防護対象 の設置状況	 分析試料 (G.B II-3) CB-23-写 01	防護対象	・分析試料 (G.B II-3) グローブボックス 密封構造		
		設置場所 の状況	・地上1階 低放射性分析室 (G115) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-23-写 02①	人の立入	・有り		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し		
		火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能		
		消火設備	・消火器：約 5 m ・屋内消火栓：約 15 m		
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-23-写 03	 天井 CB-23-写 02③	 床 CB-23-写 02④	 受信機 (G220) CB-04-写 04	
	 消火器 (ABC 消火器： G115) CB-20-写 05	 屋内消火栓 (G103) CB-20-写 06	 G.B 内の消火用バルブ CB-23-写 07		
	設置場所の 消火方法 の状況				

図 25 (23/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴








防護対象 の設置状況	 分析試料 (G.B II-5) CB-24-写 01	防護対象	・分析試料 (G.B II-5) グローブボックス 密封構造	
		設置場所 の状況	・地上1階 低放射性分析室 (G115) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-24-写 02①	人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能		
	消火設備	・消火器：約 10 m ・屋内消火栓：約 20 m		
	 壁 (G.B III-3 背面の壁) CB-24-写 02②	 天井 CB-24-写 02③	 床 CB-24-写 02④	
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-20-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04		
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器：G115) CB-20-写 05	 屋内消火栓 (G103) CB-20-写 06		

図 25 (24/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) CB-25-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地上 1 階 低放射性分析室 (G115) 天井: コンクリート 壁: コンクリート 床: コンクリート 照明: 有り	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-25-写 02①	人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能		
	消火設備	・消火器: 約 12 m ・屋内消火栓: 約 25 m		
	 壁 CB-25-写 02②	 天井 CB-25-写 02③	 床 CB-25-写 02④	
	設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-25-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04	
	設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器: G115) CB-20-写 05	 屋内消火栓 (G103) CB-20-写 06	

図 25 (25/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) (東側) CB-26-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造			
		設置場所 の状況	・地上 1 階 特殊分析室 (G123) 天井 : コンクリート 壁 : コンクリート 床 : コンクリート 照明 : 有り			
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-26-写 02①	人の立入	・有り			
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し			
		火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能			
		消火設備	・消火器 : 約 5 m ・屋内消火栓 : 約 15 m			
	 壁 CB-26-写 02②	 天井 CB-26-写 02③	 床 CB-26-写 02④			
				設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-26-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04
				設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器 : G122) CB-26-写 05	 屋内消火栓 (G103) CB-20-写 06

図 25 (26/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴


防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) (西側) CB-27-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造			
		設置場所 の状況	・地上 1 階 特殊分析室 (G123) 天井 : コンクリート 壁 : コンクリート 床 : コンクリート 照明 : 有り			
		人の立入	・有り			
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し			
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-27-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能			
		消火設備	・消火器 : 約 12 m ・屋内消火栓 : 約 20 m			
		壁	 壁 CB-27-写 02②	 天井 CB-27-写 02③	 床 CB-27-写 02④	
						設置場所の 火災感知の 方法の状況
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器 : G122) CB-26-写 05					 屋内消火栓 (G103) CB-20-写 06

図 25 (27/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 少量未満危険物 CB-28-写 01	防護対象	・少量未満危険物（ピリジン） 金属製容器 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地上1階 特殊分析室（G123） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-28-写 02①	人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
		火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び 分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信 機において感知可能	
		消火設備	・消火器：約 5 m ・屋内消火栓：約 15 m	
		 壁 CB-28-写 02②	 天井 CB-28-写 02③	 床 CB-28-写 02④
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-26-写 03	 受信機（G220） CB-04-写 04		
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器（ABC 消火器：G103） CB-28-写 05	 屋内消火栓（G103） CB-20-写 06		

図 25 (28/59) 分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

		火災防護上の特徴		
防護対象 の設置状況	 分析試料 (G.B No.4) CB-29-写 01	防護対象	<ul style="list-style-type: none"> 分析試料 (G.B No.4) グローブボックス 密封構造 	
		設置場所 の状況	<ul style="list-style-type: none"> 地上 1 階 機器分析準備室 (G124) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り 	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-29-写 02①	人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
	火災感知設備	<ul style="list-style-type: none"> 上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能 		
	消火設備	<ul style="list-style-type: none"> 消火器：約 3 m 屋内消火栓：約 24 m 		
	 壁 (北側の壁) CB-29-写 02②	 天井 CB-29-写 02③	 床 CB-29-写 02④	
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-29-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04		
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器： G124) CB-29-写 05	 屋内消火栓 (G103) CB-20-写 06	 G.B 内の消火用バルブ CB-29-写 07	

図 25 (29/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

		火災防護上の特徴		
防護対象 の設置状況	 分析試料 (G.B No.5) CB-30-写 01	防護対象	<ul style="list-style-type: none"> 分析試料 (G.B No.5) グローブボックス 密封構造 	
		設置場所 の状況	<ul style="list-style-type: none"> 地上1階 機器分析準備室 (G124) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り 	
		人の立入	<ul style="list-style-type: none"> 有り 	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-30-写 02①	防護対象近傍の 危険物・可燃物	<ul style="list-style-type: none"> 無し 	
		火災感知設備	<ul style="list-style-type: none"> 上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信機において感知可能 	
	消火設備	<ul style="list-style-type: none"> 消火器：約 6 m 屋内消火栓：約 24 m 		
	 壁 CB-30-写 02②	 天井 CB-30-写 02③	 床 CB-30-写 02④	
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-30-写 03 (写真は CB-29-写 03)	 受信機 (G220) CB-04-写 04		
	設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器： G124) CB-29-写 05	 屋内消火栓 (G103) CB-20-写 06	 G.B 内の消火用バルブ CB-30-写 07

図 25 (30/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 分析試料 (G.B No.7) CB-31-写 01	防護対象	・分析試料 (G.B No.7) グローブボックス 密封構造		
		設置場所 の状況	・地上 1 階 機器分析準備室 (G124) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り		
		人の立入	・有り		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-31-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能		
		消火設備	・消火器：約 3 m ・屋内消火栓：約 20 m		
		壁	 壁 CB-31-写 02②	 天井 CB-31-写 02③	 床 CB-31-写 02④
		設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-29-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04	
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器：G124) CB-29-写 05	 屋内消火栓 (G103) CB-20-写 06			

図 25 (31/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) CB-32-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造		
		設置場所 の状況	・地上 1 階 機器分析準備室 (G124) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-32-写 02①	人の立入	・有り		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し		
		火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能		
		消火設備	・消火器：約 12 m ・屋内消火栓：約 24 m		
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-30-写 03 (写真は CB-29-写 03)	 受信機 (G220) CB-04-写 04			
	 壁 CB-32-写 02②	 天井 CB-32-写 02③	 床 CB-32-写 02④		
	 消火器 (ABC 消火器：G124) CB-29-写 05	 屋内消火栓 (G103) CB-20-写 06			

図 25 (32/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) CB-33-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地上 1 階 機器分析準備室 (G124) 天井 : コンクリート 壁 : コンクリート 床 : コンクリート 照明 : 有り	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-33-写 02①	人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
	 壁 CB-33-写 02②	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能	
		消火設備	・消火器 : 約 6 m ・屋内消火栓 : 約 24 m	
	 天井 CB-33-写 02③	 床 CB-33-写 02④		
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-29-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04		
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器 : G124) CB-29-写 05	 屋内消火栓 (G103) CB-20-写 06		

図 25 (33/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴









防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) CB-34-写 01	防護対象	<ul style="list-style-type: none"> ・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造 	
		設置場所 の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地上1階 蛍光X線分析室 (G125) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り 	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-34-写 02①	防護対象近傍の 危険物・可燃物	<ul style="list-style-type: none"> ・資材 	
		火災感知設備	<ul style="list-style-type: none"> ・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能 	
	消火設備	<ul style="list-style-type: none"> ・消火器：約 2 m ・屋内消火栓：約 20 m 		
	 壁 CB-34-写 02②	 天井 CB-34-写 02③	 床 CB-34-写 02④	
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-34-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04		
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器：G125) CB-34-写 05	 屋内消火栓 (G103) CB-09-写 06		

図 25 (34/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) CB-35-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造		
		設置場所 の状況	・地上 1 階 質量分析室 (G129) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り		
		人の立入	・有り		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-35-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能		
		消火設備	・消火器：約 6 m ・屋内消火栓：約 30 m		
		壁	 壁 CB-35-写 02②	 天井 CB-35-写 02③	 床 CB-35-写 02④
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-35-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04			
	 消火器 (ABC 消火器：G129) CB-35-写 05	 屋内消火栓 (G103) CB-20-写 06			
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器：G129) CB-35-写 05	 屋内消火栓 (G103) CB-20-写 06			

図 25 (35/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 北側 東側 標準物質（置場） CB-36-写 01		防護対象	<ul style="list-style-type: none"> 標準物質（置場） 金属製容器 非密封構造 	
			設置場所 の状況	<ul style="list-style-type: none"> 地下1階 ガラス細工室（G014） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り 	
			人の立入	<ul style="list-style-type: none"> 有り 	
			防護対象近傍の 危険物・可燃物	<ul style="list-style-type: none"> 無し 	
防護対象の 周囲の状況	 北側 東側 周囲 CB-36-写 02①		火災感知設備	<ul style="list-style-type: none"> 上部付近に熱感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信機において感知可能 	
	 壁 CB-36-写 02②		 天井 CB-36-写 02③	 床 CB-36-写 02④	
			設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-36-写 03	 受信機（G220） CB-04-写 04
			設置場所の 消火方法 の状況	 消火器（ABC 消火器：G014） CB-36-写 05	 屋内消火栓（W007） CB-36-写 06

図 25 (36/59) 分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象の設置状況	 仕掛品（保管場所） （北側） CB-37-写 01	防護対象	・仕掛品（保管場所） 金属製棚（不燃シート養生） 非密封構造	
		設置場所の状況	・地上1階 貯蔵室（G120） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り	
防護対象の周囲の状況	 周囲 CB-37-写 02①	人の立入	・有り	
		防護対象近傍の危険物・可燃物	・無し	
	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び 分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信機 において感知可能		
	消火設備	・消火器：約 6 m ・屋内消火栓：約 12 m		
	 壁 CB-37-写 02②	 天井 CB-37-写 02③	 床 CB-37-写 02④	
設置場所の火災感知の方法の状況	 熱感知器 CB-37-写 03	 受信機（G220） CB-04-写 04		
設置場所の消火方法の状況	 消火器（ABC 消火器：G120） CB-37-写 05	 屋内消火栓（G103） CB-20-写 06		

図 25 (37/59) 分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品（保管場所） （南側） CB-38-写 01	防護対象	・仕掛品（保管場所） 金属製棚（不燃シート養生） 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地上1階 貯蔵室（G120） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り	
		人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-38-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び 分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信 機において感知可能	
		消火設備	・消火器：約 12 m ・屋内消火栓：約 18 m	
		壁	 天井 CB-38-写 02③	 床 CB-38-写 02④
 天井 CB-38-写 02③				
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-38-写 03	 受信機（G220） CB-04-写 04		
	設置場所の 消火方法 の状況	 消火器（ABC 消火器：G120） CB-37-写 05	 屋内消火栓（G103） CB-20-写 06	

図 25 (38/59) 分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 少量未満危険物 CB-39-写 01	防護対象	・少量未満危険物（酢酸エチル等） 金属製容器 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地上1階 貯蔵室（G120） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-39-写 02①	人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
		火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び 分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信 機において感知可能	
		消火設備	・消火器：約 6 m ・屋内消火栓：約 12 m	
	 壁 CB-39-写 02②	 天井 CB-39-写 02③	 床 CB-39-写 02④	
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-37-写 03	 受信機（G220） CB-04-写 04		
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器（ABC 消火器：G120） CB-37-写 05	 屋内消火栓（G103） CB-20-写 06		

図 25 (39/59) 分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (保管場所) CB-40-写 01	防護対象	・仕掛品 (保管場所) 金属製容器 非密封構造			
		設置場所 の状況	・地上1階 プルトニウム精製室 (G142) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り			
		人の立入	・有り			
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し			
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-40-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能			
		消火設備	・消火器：約 6 m ・屋内消火栓：約 15 m			
	壁 CB-40-写 02②	 壁 CB-40-写 02②	 天井 CB-40-写 02③	 床 CB-40-写 02④		
					設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-40-写 03
設置場所の 消火方法 の状況					 消火器 (ABC 消火器：G142) CB-40-写 05	 屋内消火栓 (G141) CB-40-写 06

図 25 (40/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) CB-41-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造			
		設置場所 の状況	・地上1階 プルトニウム精製室 (G142) 天井: コンクリート 壁: コンクリート 床: コンクリート 照明: 有り			
		人の立入	・有り			
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し			
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-41-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能			
		消火設備	・消火器: 約 6 m ・屋内消火栓: 約 18 m			
		壁 CB-41-写 02②	 天井 CB-41-写 02③	 床 CB-41-写 02④		
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-41-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04				
	 消火器 (ABC 消火器: G142) CB-40-写 05	 屋内消火栓 (G141) CB-40-写 06				
設置場所の 消火方法 の状況						

図 25 (41/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 少量未満危険物 CB-42-写 01	防護対象	・少量未満危険物（潤滑油等） 金属製容器 非密封構造		
		設置場所 の状況	・地上1階 プルトニウム精製室（G142） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り		
		人の立入	・有り		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-42-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び 分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信 機において感知可能		
		消火設備	・消火器：約 6 m ・屋内消火栓：約 24 m		
	 壁 CB-42-写 02②	 天井 CB-42-写 02③	 床 CB-42-写 02④		
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-41-写 03	 受信機（G220） CB-04-写 04			
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器（ABC 消火器：G142） CB-40-写 05	 屋内消火栓（G141） CB-40-写 06			

図 25 (42/59) 分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) CB-43-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造		
		設置場所 の状況	・地上 1 階 試験セル操作区域 (G144) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り		
		人の立入	・有り		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-43-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能		
		消火設備	・消火器：約 8 m ・屋内消火栓：約 8 m		
	壁 CB-43-写 02②	 天井 CB-43-写 02③	 床 CB-43-写 02④		
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-43-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04			
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器：G141) CB-43-写 05	 屋内消火栓 (G141) CB-40-写 06			

図 25 (43/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (保管場所) CB-44-写 01	防護対象	・仕掛品 (保管場所) 金属製棚 (不燃シート養生) 非密封構造		
		設置場所 の状況	・地上 1 階 除染室 (A114) 天井 : コンクリート 壁 : コンクリート 床 : コンクリート 照明 : 有り		
		人の立入	・有り		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-44-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能		
		消火設備	・消火器 : 約 3 m ・屋内消火栓 : 約 18 m		
		壁	 壁 CB-44-写 02②	 天井 CB-44-写 02③	 床 CB-44-写 02④
		設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-44-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04	
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器 : A114) CB-44-写 05	 屋内消火栓 (G103) CB-20-写 06			

図 25 (44/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴



防護対象 の設置状況	 <p>仕掛品 (置場) CB-45-写 01</p>	防護対象	<ul style="list-style-type: none"> ・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造 		
		設置場所 の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地上 1 階 除染室 (A114) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り 		
防護対象の 周囲の状況	 <p>周囲 CB-45-写 02①</p>	人の立入	・有り		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し		
		火災感知設備	<ul style="list-style-type: none"> ・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能 		
		消火設備	<ul style="list-style-type: none"> ・消火器：約 1 m ・屋内消火栓：約 18 m 		
		壁	 <p>壁 CB-45-写 02②</p>	天井	 <p>天井 CB-45-写 02③</p>
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 <p>熱感知器 CB-44-写 03</p>	 <p>受信機 (G220) CB-04-写 04</p>			
設置場所の 消火方法 の状況	 <p>消火器 (ABC 消火器：A114) CB-44-写 05</p>	 <p>屋内消火栓 (G103) CB-20-写 06</p>			

図 25 (45/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象の設置状況	 少量未満危険物 CB-46-写 01	防護対象	・少量未満危険物（アセトン等） 金属製容器 非密封構造	
		設置場所の状況	・地上1階 除染室（A114） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り	
防護対象の周囲の状況	 周囲 CB-46-写 02①	人の立入	・有り	
		防護対象近傍の危険物・可燃物	・無し	
		火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び 分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信機 において感知可能	
		消火設備	・消火器：約 6 m ・屋内消火栓：約 18 m	
	 壁 CB-46-写 02②	 天井 CB-46-写 02③	 床 CB-46-写 02④	
設置場所の火災感知の方法の状況	 熱感知器 CB-44-写 03	 受信機（G220） CB-04-写 04		
設置場所の消火方法の状況	 消火器（ABC 消火器：A114） CB-44-写 05	 屋内消火栓（G103） CB-20-写 06		

図 25（46/59）分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (保管場所) CB-47-写 01	防護対象	・仕掛品 (保管場所) 金属製棚 (不燃シート養生) 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地上 1 階 試験セル保守区域 (A146) 天井 : コンクリート 壁 : コンクリート 床 : コンクリート 照明 : 有り	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-47-写 02①	人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
	火災感知設備	・上部付近に煙感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能		
	消火設備	・消火器 : 約 14 m ・屋内消火栓 : 約 20 m		
	 壁 CB-47-写 02②	 天井 CB-47-写 02③	 床 CB-47-写 02④	
	設置場所の 火災感知の 方法の状況	 煙感知器 CB-47-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04	
	設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器 : A146) CB-47-写 05	 屋内消火栓 (G141) CB-40-写 06	

図 25 (47/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 <p>仕掛品 (置場) CB-48-写 01</p>	防護対象	<ul style="list-style-type: none"> ・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造 			
		設置場所 の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地上 1 階 試験セル保守区域 (A146) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り 			
		人の立入	<ul style="list-style-type: none"> ・有り 			
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	<ul style="list-style-type: none"> ・無し 			
防護対象の 周囲の状況	 <p>周囲 CB-48-写 02①</p>	火災感知設備	<ul style="list-style-type: none"> ・上部付近に煙感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能 			
		消火設備	<ul style="list-style-type: none"> ・消火器：約 8 m ・屋内消火栓：約 14 m 			
		壁	 <p>壁 CB-48-写 02②</p>	 <p>天井 CB-48-写 02③</p>	 <p>床 CB-48-写 02④</p>	
						設置場所の 火災感知の 方法の状況
設置場所の 消火方法 の状況	 <p>消火器 (ABC 消火器：A146) CB-47-写 05</p>					 <p>屋内消火栓 (G141) CB-40-写 06</p>

図 25 (48/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) CB-49-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地上 2 階 保健・物理モニタ室 (G222) 天井: コンクリート 壁: コンクリート (一部パーティション) 床: コンクリート 照明: 有り	
		人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-49-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能	
		消火設備	・消火器: 約 6 m ・屋内消火栓: 約 24 m	
		壁 (西側の壁) CB-49-写 02②	 天井 CB-49-写 02③	 床 CB-49-写 02④
				
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-49-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04		
	 消火器 (ABC 消火器: G222) CB-49-写 05	 屋内消火栓 (G216) CB-49-写 06		

図 25 (49/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴



防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) CB-50-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地上3階 第1洗濯室 (G313) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-50-写 02①	人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
		火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能	
		消火設備	・消火器：約 12 m ・屋内消火栓：約 20 m	
	 壁 CB-50-写 02②	 天井 CB-50-写 02③	 床 CB-50-写 02④	
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-50-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04		
	 消火器 (ABC 消火器：G314) CB-50-写 05	 屋内消火栓 (G328) CB-50-写 06		

図 25 (50/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴










防護対象 の設置状況	 仕掛品 (保管場所) CB-51-写 01	防護対象	・仕掛品 (保管場所) 不燃シート養生 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地上3階 裁縫室 (倉庫) (G315) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-51-写 02①	人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
		火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能	
		消火設備	・消火器：約 6 m ・屋内消火栓：約 20 m	
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-51-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04		
	 壁 CB-51-写 02②	 天井 CB-51-写 02③	 床 CB-51-写 02④	
	 消火器 (ABC 消火器：G315) CB-51-写 05	 屋内消火栓 (G328) CB-50-写 06		

図 25 (51/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

		火災防護上の特徴	
防護対象 の設置状況	 少量未満危険物 CB-52-写 01	防護対象	<ul style="list-style-type: none"> 少量未満危険物（エチレンアルコール等） 金属製棚 非密封構造
		設置場所 の状況	<ul style="list-style-type: none"> 地上3階 廊下（G316） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-52-写 02①	人の立入	・有り
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し
		火災感知設備	<ul style="list-style-type: none"> G311 に熱感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び 分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信 機において感知可能
	消火設備	<ul style="list-style-type: none"> 消火器：約 14 m 屋内消火栓：約 8 m 	
	 壁 CB-52-写 02②	 天井 CB-52-写 02③	 床 CB-52-写 02④
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-53-写 03	 受信機（G220） CB-04-写 04	
	 消火器（ABC 消火器：G328） CB-52-写 05	 屋内消火栓（G328） CB-50-写 06	

図 25 (52/59) 分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) CB-53-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地上 3 階 事務室 (G311) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-53-写 02①	人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能		
	消火設備	・消火器：約 3 m ・屋内消火栓：約 10 m		
	 壁 CB-53-写 02②	 天井 CB-53-写 02③	 床 CB-53-写 02④	
	設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-53-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04	
	設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器：G311) CB-53-写 05	 屋内消火栓 (G328) CB-50-写 06	

図 25 (53/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) CB-54-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造		
		設置場所 の状況	・地上3階 安全管理分室 (G322) 天井: コンクリート 壁: コンクリート 床: コンクリート 照明: 有り		
		人の立入	・有り		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-54-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能		
		消火設備	・消火器: 約 14 m ・屋内消火栓: 約 8 m		
		壁	 壁 CB-54-写 02②	 天井 CB-54-写 02③	 床 CB-54-写 02④
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-54-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04			
	 消火器 (ABC 消火器: G328) CB-52-写 05	 屋内消火栓 (G328) CB-50-写 06			
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器: G328) CB-52-写 05	 屋内消火栓 (G328) CB-50-写 06			

図 25 (54/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) CB-55-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地上 3 階 除染室 (A323) 天井 : コンクリート 壁 : コンクリート 床 : コンクリート 照明 : 有り	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-55-写 02①	人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能		
	消火設備	・消火器 : 約 8 m ・屋内消火栓 : 約 14 m		
	 壁 CB-55-写 02②	 天井 CB-55-写 02③	 床 CB-55-写 02④	
	設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-55-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04	
	設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器 : A324) CB-55-写 05	 屋内消火栓 (G328) CB-50-写 06	

図 25 (55/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 少量未満危険物 CB-56-写 01	防護対象	・少量未満危険物（モノエタノールアミン等） 金属製容器 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地上3階 除染室（A323） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-56-写 02①	人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
		火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び 分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信 機において感知可能	
		消火設備	・消火器：約 8 m ・屋内消火栓：約 14 m	
		壁	 壁 CB-56-写 02②	 天井 CB-56-写 02③
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-55-写 03	 受信機（G220） CB-04-写 04		
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器（ABC 消火器：A324） CB-55-写 05	 屋内消火栓（G328） CB-50-写 06		

図 25 (56/59) 分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象の設置状況	 仕掛品 (保管場所) CB-57-写 01	防護対象	・仕掛品 (保管場所) 不燃シート養生 非密封構造		
		設置場所の状況	・地上 3 階 第 2 洗濯室 (A324) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り		
		人の立入	・有り		
		防護対象近傍の危険物・可燃物	・無し		
防護対象の周囲の状況	 周囲 CB-57-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信機 において感知可能		
		消火設備	・消火器：約 6 m ・屋内消火栓：約 12 m		
		壁	 壁 CB-57-写 02②	 天井 CB-57-写 02③	 床 CB-57-写 02④
設置場所の火災感知の方法の状況	 熱感知器 CB-57-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04			
	 消火器 (ABC 消火器：A324) CB-55-写 05	 屋内消火栓 (G328) CB-50-写 06			
設置場所の消火方法の状況					

図 25 (57/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) CB-58-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造		
		設置場所 の状況	・地上 3 階 第 2 洗濯室 (A324) 天井 : コンクリート 壁 : コンクリート 床 : コンクリート 照明 : 有り		
		人の立入	・有り		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-58-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能		
		消火設備	・消火器 : 約 17 m ・屋内消火栓 : 約 23 m		
		壁	 壁 CB-58-写 02②	 天井 CB-58-写 02③	 床 CB-58-写 02④
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-58-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04			
	 消火器 (ABC 消火器 : A324) CB-55-写 05	 屋内消火栓 (G328) CB-50-写 06			
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器 : A324) CB-55-写 05	 屋内消火栓 (G328) CB-50-写 06			

図 25 (58/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

		火災防護上の特徴	
防護対象 の設置状況	 少量未満危険物 CB-59-写 01	防護対象	<ul style="list-style-type: none"> 少量未満危険物（シリンダー油） 金属製設備 密封構造
		設置場所 の状況	<ul style="list-style-type: none"> 地下1階（W004） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-59-写 02①	人の立入	・有り
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し
	火災感知設備	<ul style="list-style-type: none"> 上部付近に熱感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信機において感知可能 	
	消火設備	<ul style="list-style-type: none"> 消火器：約 1 m 屋内消火栓：約 5 m 	
	 壁 CB-59-写 02②	 天井 CB-59-写 02③	 床 CB-59-写 02④
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-59-写 03	 受信機（G220） CB-04-写 04	
	設置場所の 消火方法 の状況	 消火器（ABC 消火器：W004） CB-59-写 05	 屋内消火栓（W007） CB-36-写 06

図 25 (59/59) 分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

その他の施設の火災防護対策についてはプラントワークダウンを実施して施設の現状と既設の防消火設備(火災の防止、感知、初期消火のために設けた設備)の状況を確認し、火災防護審査基準等を参考にしつつその他の施設のリスクに応じた対策として妥当性を判断したうえで、必要な防消火設備を廃止措置段階における性能維持施設として位置づけ、必要な期間その機能を維持することを基本的な考え方として進める。

2. その他の施設の火災防護対策に係る性能維持施設の選定の経緯について

再処理施設の廃止措置計画における性能維持施設は、初回の廃止措置計画認可申請書(平成29年6月30日申請、平成30年2月28日・平成30年6月5日一部補正、平成30年6月13日認可)において、当時の再処理施設の状態に鑑みて、再処理運転時に施設定期自主検査の対象としていた設備及び緊急安全対策等として整備した設備を引き続き維持すべきものとして性能維持施設に位置づけた。その際、防消火設備については消防法等に基づいて検査が義務づけられた設備であり、元々より原子炉等規制法に基づく施設定期自主検査対象外としていた関係から、上記の選定の考え方に基づき性能維持施設には含めなかった^{※4}。

一方、実用発電用原子炉の廃止措置計画においては、既設の防消火設備(消火器、消火栓、自動火災感知器等)についても性能維持施設として位置づけている^{※5}。また、機構内の他の廃止施設(JRR-2、JRR-4、TCA、DCA等の試験研究炉)においても性能維持施設として記載にばらつきのあった防消火設備を統一的に性能維持施設として位置づけることとした^{※6}ことなどから、再処理施設の既設の防消火設備についても性能維持施設に位置づける方向で検討を進めている^{※7}。

※4 再処理施設特有の火災の発生防止等の設備として原子炉等規制法に基づき設置した設備(例えば後述する温度記録上限緊急操作装置や温度警報装置)は再処理運転時の施設定期自主検査対象設備であり、従って現在の性能維持施設にも含まれている。

※5 「発電用原子炉施設及び試験研究用等原子炉施設の廃止措置計画の審査基準」(制定:平成25年11月27日、改正:令和2年12月9日)においては、「3. 申請書に添付する書類の記載事項に対する審査基準」のなかの「(7)性能維持施設及びその性能並びにその性能を維持すべき期間に関する説明書」において「放射線障害防止の観点から、火災の防護設備については適切に維持管理すること。また、可燃性物質が保管される場所にあつては、火災が生ずることのないよう適切な防護措置を講じること。」と具体的に火災の防護設備を性能維持施設とすることを求めている。

なお、上記の記載は当該審査基準が参考にした「原子炉施設の解体に係る安全確保の基本的考え方—JPDRの解体に当たって—」(昭和60年12月19日原子力安全委員会決定、平成13年8月6日「原子炉施設の解体に係る安全確保の基本的考え方」として一部改訂)において示されている通りである。

※6 令和3(2021)年4月20日、第23回核燃料施設等の廃止措置計画に係る審査会合、「資料2 JAEA(JRR-2等の)廃止措置計画変更認可申請の補正について」

※7 高放射性廃液貯蔵場(HAW)とガラス固化技術開発施設(TVF)ガラス固化技術開発棟で、新規基準を踏まえた安全対策として追加した火災防護対策設備と既設の防消火設備を、当該設備の設計及び工事の計画に関する認可に合わせて性能維持施設として申請した。(令和4年6月30日申請、令和4年12月22日認可)

3. その他の施設の状況とその他の施設の火災防護対策に係る対象施設の考え方

3.1 施設の状況

表 1 及び図 1 に再処理施設における主要な施設を示す。再処理施設の中で高放射性廃液を扱う高放射性廃液貯蔵場(HAW)とガラス固化技術開発施設(TVF)ガラス固化技術開発棟がリスクの集中する施設であることから、前述したように新規規制基準を踏まえた安全対策を講じるとともに、高放射性廃液の安定化に向けたガラス固化処理を最優先で進めている。

高放射性廃液貯蔵場(HAW)とガラス固化技術開発施設(TVF)ガラス固化技術開発棟以外の施設では、リスクの高い高放射性廃液は扱わないものの放射性物質を扱う 25 施設(廃止措置への移行により施設の本来用途としての供用を終えた 4 施設、低放射性廃液・廃溶媒・放射性固体廃棄物の処理・貯蔵を行う 21 施設)と、放射性物質を扱わず管理区域を持たない 6 施設が存在する。

放射性物質を扱う 25 施設の中の分離精製工場(MP)、ウラン脱硝施設(DN)、プルトニウム転換技術開発施設(PCDF)は再処理施設の主要施設で再処理運転中においてはリスクの高い使用済燃料の溶解液や分離した Pu 溶液、高放射性廃液を扱っていたが、廃止措置に移行し再処理運転を行わないこととしたため、既にそれらのリスクの高い放射性物質は施設内にほとんど残されておらず、現在進めている工程洗浄が完了すれば工程内に残されていた少量の回収可能核燃料物質もすべて払い出された状態になる。また火災防護の観点からの大きな状況の変化として、分離精製工場(MP)で再処理運転時に使用していた有機溶媒(使用済燃料の溶解液中から U と Pu を抽出分離するために使用するリン酸トリブチルと n-ドデカン)の混合溶媒)は廃止措置への移行により使用しなくなったことから、試薬としての未使用の溶媒及び使用済の廃溶媒は分離精製工場(MP)から取り出し済みである。なお、分離精製工場(MP)には新型転換炉「ふげん」の使用済燃料集合体が水中保管されているが、これらの燃料は既に十分な期間冷却されて崩壊熱による発熱量も少なくリスクは低減している^{※8}。クリプトン回収技術開発施設(Kr)については令和 4 年度に貯蔵していた気体状の放射性クリプトンの管理放出を完了し、放射性クリプトンガスの保管に伴うリスクは無くなっている。よって、これらの 4 施設については工程洗浄が完了する令和 5 年度以降には先行して本格的な廃止措置(除染及び解体)に進むことになる。

一方、放射性物質を扱う 25 施設のうち、上記の先行 4 施設を除く 21 施設については、再処理運転に伴い回収したウランや発生した放射性固体廃棄物及び放射性液体廃棄物の貯蔵を継続するとともに、放射性液体廃棄物の処理を今後長期にわたって継続する。ただし、これらの施設で扱う廃液は高放射性廃液に比較して十分低い放射能濃度の廃液であり、特別な安全設備がなくとも蒸発乾固や水素爆発といった重大な事故のおそれはない^{※9}。したがって貯蔵・保管している放射性物質に対する閉じ込め機能が安全の確保のために重要である。表 2 にその他の施設で貯蔵・保管している放射性物質の状況を示す^{※10}。

※8 貯蔵している使用済燃料の最大発熱量は約 110W/体であり、プールの冷却水が全喪失した場合においても使用済燃料の平衡温度は約 110℃以下となる。(廃止措置計画変更認可申請書「別添 6-1-8 使用

済燃料の貯蔵プールにおけるプール水全喪失時の影響評価」(平成 30 年 6 月 5 日申請))

- ※9 前述(※2)した通り、その他の施設で貯蔵・保管している低放射性廃液の放射能濃度は高放射性廃液貯蔵場(HAW)で貯蔵している高放射性廃液の十万分の 1 ($1/10^5$) 以下の濃度である。崩壊熱や放射線分解水素についても相対的に同程度になると考えれば、崩壊熱は約 1 kW/m^3 の十万分の一以下で自然空冷により徐熱できる程度である。また、放射線分解水素については高放射性廃液貯蔵場(HAW)で貯蔵している高放射性廃液においても換気(水素掃気)が停止した際に爆発限界に至るまで約 2 年を要すると評価している(廃止措置計画変更認可申請書「添四別紙 1-1-40 事故として選定した蒸発乾固以外の事象への対応」)よりため、その十万分の 1 程度と推定すると爆発限界に至る可能性は十分低い。
- ※10 分離精製工場(MP)には工程洗浄完了時においても高放射性廃液になる前の未濃縮の廃液や高放射性廃液を移送し終わった後の貯槽に構造上残ってしまう少量の液を希釈した希釈廃液が存在している。これらは高放射性廃液に比較すればリスクは小さいものの、さらなるリスク低減の観点から十分な安全対策を講じた高放射性廃液貯蔵場(HAW)へ移送する計画としている。

以上に示したその他の施設の状況より、火災防護対策に係る設備としては、地震・津波等の外部事象に対する場合と同じく、その他の施設の持つリスクに応じた対策として、火災により有意に放射性物質を建家外に流出・放出させないための対策として必要な防消火設備が第一に重要である(第一の観点)。

第二に、再処理施設の廃止措置は約 70 年という長期間にわたって継続する事業であり、保管・貯蔵されている種々の放射性廃棄物の処理安定化を進めつつ、運転を終えた施設についても除染・解体に取り組んでいくため、施設全体での活動が今後も活発に続けられるという観点から、従事者の作業環境における防消火設備や保安体制の維持も必要である^{※11}(第二の観点)。

以上より、本プラントウォークダウンでは、第一の観点を主目的として実施しつつ、第二の観点を加えて幅広く現場の状況を確認することとした。

- ※11 設備の解体作業等における火災防護対策については、設備の解体方法の具体化に合わせて、別途必要な設備・対策を講じる。

3. 2 その他の施設の火災防護対策に係るプラントウォークダウンの対象施設

対象施設については 3.1 に記載した再処理施設の状況を踏まえて以下の通りとした。

- 再処理運転を終了したことに伴い、分離精製工場(MP)、ウラン脱硝施設(DN)、プルトニウム転換技術開発施設(PCDF)では再処理運転時と比較して大幅にリスクが低減された。クリプトン回収技術開発施設(Kr)についても令和 4 年度に貯蔵していたクリプトンガスの管理放出を完了しクリプトンガスの保管に伴うリスクが低減された。以上に加えて、現在実施中の工程洗浄において工程内の回収可能核燃料物質の取り出しが進められていることから更なるリスクの低減が見込まれるものの、現時点においては使用済燃料の保管や、一部の工程において廃液・廃棄物を保管していることに鑑み、分離精製工場(MP)、ウラン脱硝施設(DN)、プルトニウム転換技術開発施設(PCDF)、クリプトン回収技術開発施設(Kr)はプラントウォークダウンの対象とした。
- 三酸化ウランの貯蔵施設(UO_3 , 2UO_3 , 3UO_3)、固体廃棄物の貯蔵施設(HASWS、

2HASWS、AS1、AS2、1LASWS、2LASWS)、低放射性の廃液・廃溶媒の貯蔵施設(LW、LW2、WS、LWSF)については今後も貯蔵を継続することから、プラントウォークダウンの対象とした。

- ・低放射性廃液、廃溶媒及び可燃性固体廃棄物の処理及び貯蔵を行う施設(AAF、E、Z、C、ST、IF、ASP^{※12})については、今後本格化する系統除染や解体等の廃止措置作業において生じる低放射性廃液等の処理も含めて運転の継続が必要な施設であり、また施設内で低放射性廃液等を保管していることからプラントウォークダウンの対象とした。

また分析所についても、工程洗浄完了後も再処理施設の保全や計量管理、系統除染等で必要な分析等を継続することからプラントウォークダウンの対象とした。

※12 アスファルト固化処理施設(ASP)について、平成9年3月の火災爆発事故以降はアスファルト固化処理を停止したが、低放射性廃液の貯蔵を行う設備(貯槽)は使用している。

- ・一般施設として各施設に電源や各種ユーティリティを供給する施設については、火災によってそれらの供給機能(電源、冷却水の補給水)が喪失したとしても、高放射性廃液貯蔵場(HAW)、ガラス固化技術開発施設(TVF)ガラス固化技術開発棟で取り扱う高放射性廃液が沸騰するまでには十分な時間余裕があり、安全対策として導入した可搬型の事故対処設備により事故の発生を防止できる^{※13}。

また高放射性廃液貯蔵場(HAW)、ガラス固化技術開発施設(TVF)ガラス固化技術開発棟以外で放射性物質を貯蔵・保管する施設においても、有意な放射性物質の流出防止のために速やかな作動が求められる動的機能(動力源として上記の一般施設に依存するもの)はない。したがって、これらの一般施設は今回のプラントウォークダウンの対象外とした。なお、これらの一般施設では消防法等に基づく火災防護対策が講じられ、維持されている。

※13 廃止措置計画変更認可申請書(令和3年2月10日申請)添四別紙1-1「事故対処の有効性評価」

- ・以上より、その他の施設のうち放射性物質を扱う25施設をプラントウォークダウンの対象施設とした。火災防護の観点からプラントウォークダウンの対象25施設の危険物(少量危険物を含む。)及び指定可燃物の取扱量について表3に示す。

3.3 その他の施設の火災防護対策に係るプラントウォークダウンの観点

3.1において示した通り、対象施設において貯蔵・保管している放射性物質(表2に示すもの)について、火災により有意に放射性物質を建家外に流出・放出させないことを第一の観点とした。そのためには、貯蔵・保管している放射性物質の静的な閉じ込めを担う貯槽及び容器が火災により影響を受けない(静的な閉じ込めの機能を喪失しない)ことが重要である。ただし、放射性物質自体が可燃性物質である場合、貯槽及び容器が健全であっても内部の放射性物質自体が火災に至らないようにすることが重要である。一方で、動的な閉じ込め機能を担う槽

類換気系設備やセル・建家換気系設備の動的機能(排風機、送風機等の機器及びそれらの動作に必要な盤類及びケーブル類)が火災により機能を喪失したとしても、そのことだけでは貯槽及び容器内の放射性物質が建家外へ流出・放出される要因とはならない。よって、第一の観点に基づく防護対象を貯蔵・保管している放射性物質の静的な閉じ込めを担う貯槽及び容器とした。

3. 1において示した第二の観点に対しては、今後も長期間にわたって施設内での各種活動を継続する上で管理区域内の作業環境における火災防護の状態を確認するという点から、対象施設内の管理区域において燃えぐさになり得ると考えられる仕掛品(廃棄施設に搬出するまで現場にて一時的に保管している、汚染の可能性のある放射性廃棄物で、現場の作業に使用したウエスや紙類などの可燃物を含んでいる。)や、使用している危険物(少量未満危険物(保守作業等で使用する潤滑油や塗料などであるが消防法上の届出の対象となる「少量危険物」に満たない数量の危険物)及び指定可燃物)の管理状況を確認する。

4. 再処理施設の特徴に基づくプラントウォークダウンの結果

プラントウォークダウンにおいては、前述した第一及び第二の観点に対してそれぞれ以下の状態に着目して調査を実施した。

① 第一の観点に対して:

放射性物質を貯蔵・保管している設備の周辺の状況(設置状況・周囲の状況)やその火災防護設備(近傍の火災感知器・消火設備、制御室の受信盤)

② 第二の観点に対して:

管理区域内で燃えぐさとなり得る仕掛品や、使用している危険物(少量未満危険物及び指定可燃物)の管理状況(設置状況・周囲の状況)並びにその火災防護対策(近傍の火災感知器・消火設備、制御室の受信盤)

プラントウォークダウンの対象とした25施設、約400箇所の調査結果については、防護対象等の設置状況より以下のとおり3つの分類・類型化を図り、火災防護対策の妥当性を確認した。

プラントウォークダウンの結果は、約400箇所の調査場所毎に1件1様の状況調査シートで記録するとともに火災防護の観点から要点を一覧表(表4~6)に整理した。一覧表では、左側に対象の場所に関する情報を記載し、その右側に下記の類型ごとの特徴に応じて火災発生防止の観点から確認した状況について記載した。備考欄には廃止措置の進捗に依存して火災防護の観点から考慮すべき事項や各項目につけた注釈の内容を記載した。

(1)-1 第一の観点に基づくセル内の防護対象のプラントウォークダウンの結果

セルの基本的な特徴を図2に示す。基本的にセルはコンクリートや金属の不燃性材料で造られており、高線量区域であって、内部に入域する開口部は人の手によって動かすことが出来ない重量物である遮蔽体によって閉止されておりセル内への人の立入はできない(金属製扉等の開口部のある一部のセルについては開口部が施錠管理されている。)。また、セ

ル内には照明等の電気機器もないため発火源もなく、防護対象(金属製の機器)は接地され、可燃物を取り扱わないため火災発生の可能性はなく、火災感知設備及び消火設備を設置していない。

一方で、処理プロセス上、可燃物を扱う必要のある特殊なセルの特徴を図 3 に示す。例えば、分離精製工場(MP)において再処理運転時に可燃物である溶媒(TBP(リン酸トリブチル)やドデカン)を取り扱うセルにおいては、セル内部に設置された金属製の機器は接地して火災の発生防止対策を講じている。それらセルにはセル内の廃気を換気するダクト(セル換気系ダクト)に設置した熱電対により廃気温度を測定して火災を感知する温度警報装置(FDT)が設置され、セル内の火災の感知が可能である。再処理運転時に指定数量を超える溶媒を取り扱っていたセルには水噴霧消火設備が設置されており、必要に応じて手動にて起動してセル内に消火用水を供給して消火が行える。指定数量未満の溶媒を取り扱うセルは、セルの給気側のダクトに設置する金属製のダンパを手動により閉止して火災の影響を軽減する。なお、廃止措置段階に移行後は分離精製工場(MP)では溶媒を保持又は取扱いをしないこととした。したがって現状ではセル内に可燃物がないため火災の発生はなく、火災による放射性物質の放出は起こらない。

分離精製工場(MP)以外で溶媒を扱うスラッジ貯蔵場(LW)、廃溶媒貯蔵場(WS)、廃棄物処理場(AAF)及び廃溶媒処理技術開発施設(ST)においても同様の火災防護対策が講じられており、溶媒を貯蔵する防護対象(金属製の機器)は接地して火災の発生防止対策を講じ、それら機器内の廃気を換気する配管(槽類換気系配管)に設置した熱電対により、廃気温度を常時測定して火災を感知する温度記録上限緊急操作装置(TRP+)が設置され、火災発生を感知した場合には自動で炭酸ガス消火設備により炭酸ガスを機器内に供給して消火を行えるような設備が設けられている。炭酸ガス消火設備は手動操作にて炭酸ガスの追加供給も可能である。それらの機器を設置するセルに対しても、セル内の火災の感知が可能のように温度警報装置(FDT)を設置しており、セル内に設置された水噴霧消火設備により、必要に応じて手動にて起動して、セル内に消火用水を供給して消火を行うことができる(図4)。なお、溶媒がセル内に漏えいした場合においても、セル内に設置された漏えい検知装置(LW+)により直ちに検知でき、蒸気を用いた送液装置(スチームジェット)により速やかに回収し、他の溶媒を取り扱う機器へ送液して回収できる。(これらの火災感知設備と消火設備の具体的な動作については補足資料1に示す。)

セル内で扱う有機溶媒以外の可燃物としては、廃棄したポリエチレンやアスファルト固化体、プラスチック固化体といった固体の可燃性物質がある。高放射性固体廃棄物貯蔵庫(HASWS)の可燃物である防護対象(分析廃ジャグ等(分析試料の採取に用いたポリエチレン製の容器等))を取り扱うセル(予備貯蔵庫及び汚染機器貯蔵庫)に対しては温度検知装置を設置し、セル内の火災の感知が可能である。予備貯蔵庫にはセル内散水装置を設置し、汚染機器貯蔵庫には専用の消火器具を施設内に配備しており、火災を感知した際には手動にてそれらのセル内に消火用水を供給して消火を行うことが可能である。なお、高放射性固体廃棄物貯蔵庫(HASWS)及び第二高放射性固体廃棄物貯蔵施設(2HASWS)には

再処理の際に2～3 cm程度の長さにせん断した使用済燃料被覆管(固体廃棄物)も貯蔵しているが、被覆管の材料であるジルカロイは微粉状では空気との反応性が高く火災源となるおそれがあることから、これらのせん断した被覆管(ハル)は水を封入した金属容器内に密封したうえで、水中にて保管している。

アスファルト固化体貯蔵施設(AS1)及び第二アスファルト固化体貯蔵施設(AS2)の防護対象(アスファルト固化体、プラスチック固化体又は雑固体廃棄物)は金属製容器内に密封した状態で保管している。それらを取り扱うセルに対しては、分布型感知器を設置し、更にセル換気系ダクトに温度警報装置(FDT)を設置し(アスファルト固化体貯蔵施設は煙感知器(FDS)を合わせて設置している。)、セル内の火災の感知を可能にするとともに、セル内には水噴霧消火設備が設置され、自動でセル内に消火用水を供給して消火を行う。水噴霧消火設備は手動操作にて消火用水の供給も可能である。

また、これらの可燃物を扱う機器及びセルに設置された火災感知の設備(温度記録上限緊急操作装置(TRP+)、温度警報装置(FDT)、分布型感知器)からの信号は、夜間休日を含めて常時運転員が駐在する制御室にて監視することができ、警報発報時には常駐している運転員が速やかに初期消火の対応を行う体制としている。

セル内の防護対象のプラントウォークダウンの結果について整理表(表 4)にまとめた。整理表では、火災防護上の特徴となる以下の項目について整理した。表では防護対象、防護対象を貯蔵する機器等、防護対象を設置するセル等の情報とともに閉じ込め境界を示し、その右側の列には、火災の可能性を判断する観点から以下の項目について示した。

①防護対象の消防法上の扱い

防護対象そのものが消防法上の危険物(少量危険物を含む。)又は指定可燃物か否か

②セル内の防護対象以外の発火源の有無

・危険物・可燃物

防護対象以外の機器を同セル内に設置している場合、その機器が危険物・可燃物を取扱うか否か

・人の立入り

可燃物を持ち込む可能性のある人の立ち入りがあるか否か。(立ち入りできない場合、それが物理的に不可能な構造に基づくものか、施錠管理等の運用によるものかの説明を含む。)

・計装・電気機器等

同セル内の計装・電気機器(ケーブルを含む。)等が設置されている場合、それらが発火源となるか否か

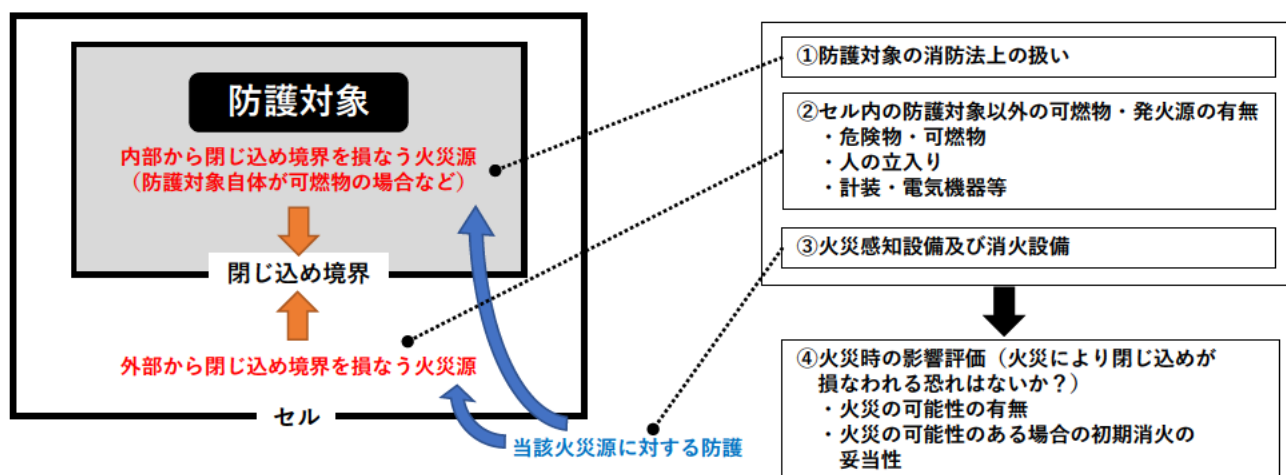
③火災感知設備及び消火設備

防護対象に対して火災感知の方法及び初期消火の方法として対策を講じられているかを確認して内容を示した。①及び②において、発火源となる項目が一つでもある場合には、初期消火に要する時間を記載した。

④火災時の影響評価

防護対象及び同セル内からの火災の可能性を評価し、火災の可能性がある場合には、火災の感知が出来き、以下に示す閉じ込め境界の耐火時間以内に消火可能であることを確認した。

- ・鉄板(1.5 mm以上) :1 時間耐火(ステンレス鋼は鉄板として評価)
- ・コンクリート(15 cm以上) :3 時間耐火



以上の結果から、セル内の火災の可能性のある場合には火災の感知が可能であり、閉じ込め境界の耐火時間内に初期消火が可能であることから、有意な放射性物質の放出に至ることはなく、防護対象に対する火災防護対策は妥当であると考えられる。

(1)-2 第一の観点に基づくセル外の防護対象のプラントウォークダウンの結果

セル外で人の立ち入りが可能な部屋はコンクリート、金属等の不燃性材料等により構成されている。また、基本的に防護対象の機器は金属製であり不燃性材料で造られている。一部の防護対象においては FRP 製の難燃性材料で造られた容器や可燃性のアクリル製パネルを用いたグローブボックスがある。これら防護対象を設置する部屋には、照明等の電気機器が設置されているため発火源が存在する。火災発生時には、当該部屋又は隣接する部屋の火災感知器により火災を感知し、人が寄付き、当該部屋又は隣接する部屋の消火設備(消火器、屋内消火栓)を用いて消火活動を行う(図 5)。

分析所(CB)の加熱機器を設置しているグローブボックスは、消火用の水をグローブボックス内に手動により供給できるようになっている。また、焼却施設(IF)においては可燃性の低放射性固体廃棄物を取り扱う部屋、金属製の容器に入れた焼却灰を保管する部屋、金属製の回収ドデカン貯槽及び廃活性炭供給槽を設置する部屋に対して水噴霧消火設備が設置され、必要に応じて手動にて起動して、消火用水を供給して消火が行う。更に回収ドデカン貯槽や廃活性炭供給槽に対しては炭酸ガス消火設備が設置され、必要に応じて手動にて起動して、炭酸ガスをそれら貯槽の内部に供給して消火を行う(図 6)。

また、これらの火災感知器からの信号は、夜間休日を含めて常時運転員が駐在する制御室にて監視することができ、警報発報時には常駐している運転員が速やかに初期消火の対応を行う体制としている。

第三低放射性廃液蒸発処理施設(Z)及び放出廃液油分除去施設(C)の防護対象のうちにはライニング貯槽というやや特殊な貯槽が用いられている。ライニング貯槽の基本的な特徴について図7に示したが、ライニング貯槽はコンクリート、金属等の不燃性材料で造られた部屋そのものが貯槽となっている構造であり、内部点検用の開口部については人の手によって動かすことが出来ない重量物である遮蔽体により閉止されており人の立入ができない。ライニング貯槽内には照明等の電気機器もないため発火源もなく、可燃物を取り扱わないため火災発生の可能性はなく、火災感知設備及び消火設備を設置していない(図8)。

セル外の防護対象のプラントウォークダウンの結果について整理表(表5)にまとめた。整理表では、火災防護に係る特徴となる以下の項目について整理した。表では防護対象、防護対象を貯蔵する機器等、防護対象を設置する部屋の情報とともに閉じ込め境界を示し、その右側の列には、火災の可能性を判断する観点から以下の項目について示した。

①防護対象の消防法上の扱い

防護対象そのものが消防法上の危険物(少量危険物を含む。)又は指定可燃物か否か

②部屋内の防護対象以外の発火源の有無

・危険物・可燃物

防護対象以外の機器を同部屋内に設置している場合、その機器が危険物・可燃物を取扱うか否か

・人の立入り

可燃物を持ち込む可能性のある人の立ち入りがあるか否か。(立ち入りできない場合、それが物理的に不可能な構造に基づくものか、施錠管理等の運用によるものかの説明を含む。)

・電気機器等

部屋内の電気機器(ケーブルを含む。)等が設置されている場合、それらが発火源となるか否か

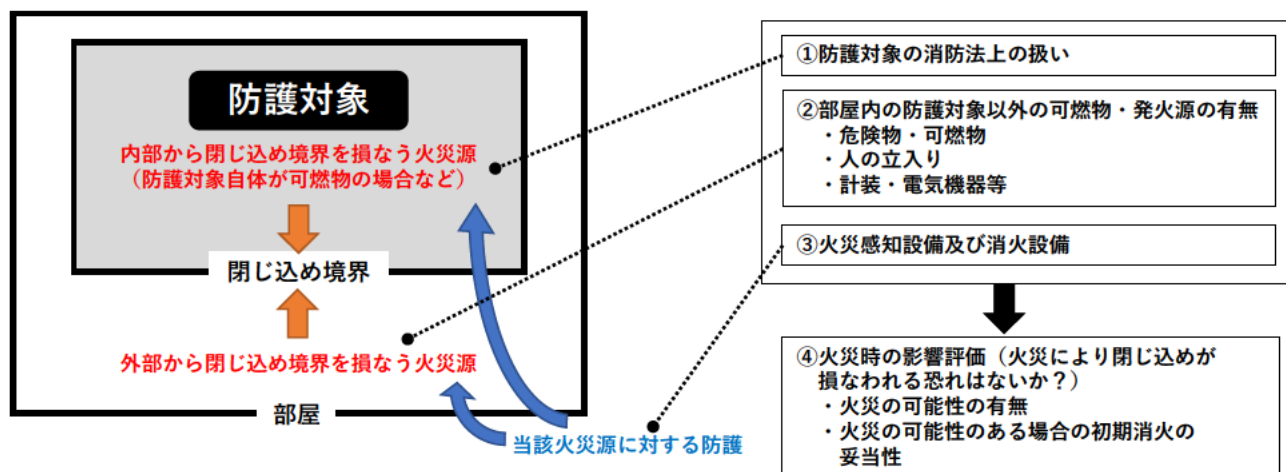
③火災感知設備及び消火設備

防護対象に対して火災感知の方法及び初期消火の方法として対策を講じられているかを確認して内容を示した。①及び②において、発火源となる項目が一つでもある場合には、初期消火に要する時間を記載した。

④火災時の影響評価

防護対象からの発火及び同部屋内の火災の可能性を評価し、火災の可能性がある場合には、火災の感知及び初期消火が可能であること、下記の閉じ込め境界の耐火時間以内に消火可能であることを確認した。

・鉄板(1.5 mm以上) :1時間耐火(ステンレス鋼は鉄板として評価)



以上の結果から、防護対象を含む同部屋内での火災の可能性のある場合には火災の感知が可能であり、閉じ込め境界の耐火時間内に初期消火が可能であることから、有意な放射性物質の放出に至ることはなく、防護対象に対する火災防護対策は妥当であると考えられる。

(2) 第二の観点に基づくセル外の管理区域内で火災源となりえるものの管理状態に関するプラントウォークダウンの結果

仕掛品(廃棄施設に搬出するまで現場にて一時的に保管している、汚染の可能性のある放射性廃棄物で、現場の作業に使用したウエスや紙類などの可燃物を含んでいる。)については再処理施設保安規定に置場又は保管場所を定めて、金属製の容器に収める、不燃シートによる養生を行うなどにより適切に保管している(図 9)。消防法上の届出が必要な危険物、少量危険物及び指定可燃物は、金属製の貯槽又は容器内で適切に保管するとともに、更に消防法上の危険物には該当しない数量の危険物(第四類少量未満危険物)についても機構内の規則のなかに保管場所を定めて金属製の貯槽、容器又は棚内で適切に保管している(図 10)。なお、これらの危険物等は基本的に放射性物質を含んでいない。

上記した火災源となるものに対する管理を行うことで火災発生の可能性は低いと考える。火災発生時には、当該部屋又は隣接する部屋の火災感知器により火災を感知し、人が寄付き、当該部屋又は隣接する部屋の消火設備(消火器及び屋内消火栓)を用いて消火活動を行う。更に、セル外に設置された放射性物質による汚染の可能性のない危険物、少量危険物及び指定可燃物に対しても、炭酸ガス消火設備又は水噴霧消火設備が設置され、必要に応じてそれらを手動にて起動して消火を行うことができる。

また、これらの火災感知器からの信号は、夜間休日を含めて常時運転員が駐在する制御室にて監視することができ、警報発報時には常駐している運転員が速やかに初期消火の対応を行う体制としている。

セル外の管理区域内で火災源となりえるものに対するプラントウォークダウンの結果につ

いて整理表(表 6)にまとめた。整理表では、火災防護に係る特徴となる以下の項目について整理した。表では仕掛品、危険物、少量危険物、指定可燃物及び第四類少量未満危険物(以下「仕掛品等」という。)、仕掛品等の設置する部屋の情報を示し、その右側の列に火災の可能性を判断する観点から以下の項目についてまとめて示した。

①同部屋内の仕掛品等以外の発火源の有無

・仕掛品等の周囲の可燃物等

仕掛品等の周囲に可燃物等があるか否か

・人の立入り

可燃物を持ち込む可能性のある人の立ち入りがあるか否か

・電気機器等

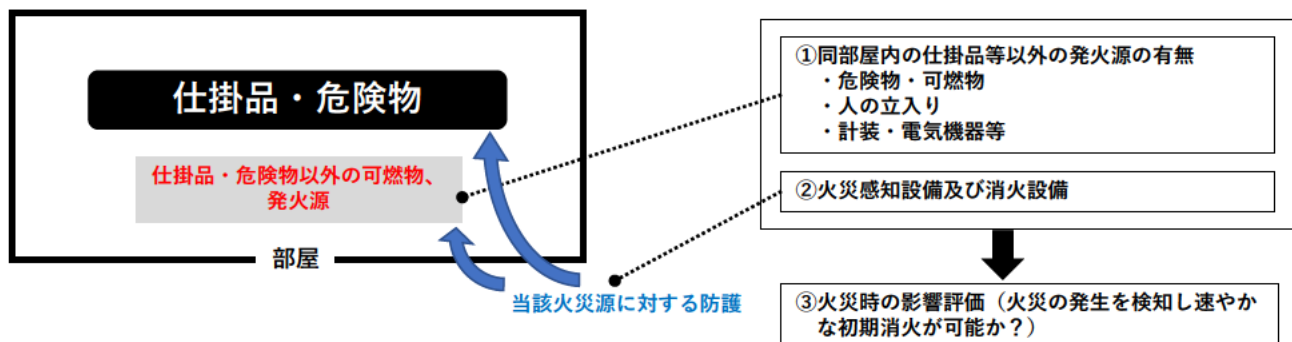
部屋内の電気機器(ケーブルを含む。)等が設置されている場合、それらが発火源となるか否か

②火災感知設備及び消火設備

防護対象に対して火災感知の方法及び初期消火の方法として対策を講じられているかを確認して内容を示した。

③火災時の影響評価

仕掛品等からの発火及び同部屋内の火災の可能性を評価し、それらから火災の可能性がある場合には、火災の感知が可能であり、消火器や消火栓を用いた初期消火が可能であることを確認した。



以上の結果から、仕掛品等を設置する同部屋内での火災の可能性のある場合には火災の感知及び初期消火が可能であり火災防護対策は妥当であると考ええる。なお、仕掛品等については放射性物質により汚染の可能性のあるものであり、汚染レベルについては非常に少なく、仮に火災が発生したとしても有意な放射性物質の放出に至るものではない。

セル外の管理区域で火災源となりえるものに対する火災防護上の管理状況は妥当であると考えられるものの、廃止措置段階において管理区域内の作業環境における火災防護の状態を向上する観点からワークダウンでの気づき事項に基づき以下の改善を行う。

①火災源の排除(使用予定のない仕掛品(置場)の撤去・集約)

分離精製工場(MP)等には、廃止措置段階では不要と考えられる仕掛品(置場)があり、

これらのうち今後定常的に使用する予定ないものについては撤去を行う。

② より確実な火災感知(火災源の火災感知器近傍へ移動)

分離精製工場(MP)クレーンホール(G1124)の一部仕掛品(置場)においては火災感知器までの距離が長く、より早期に感知が可能となるように、それら仕掛品(置場)については火災感知器の近傍へ移動するかもしくは撤去を行う(図 11)。

また、分析所(CB)の廊下(G316)に少量未満危険物が保管されているものの、当該廊下には火災感知器がなく、火災が発生した場合には隣接する部屋の火災感知器により感知することとなる。そのため、より速やかに感知できるよう、少量未満危険物の保管場所を火災感知器の近傍へ移動するかもしくは撤去を行う(図 12)。

③ 初期消火の確実性の向上(火災時にアクセスが難しい区域における可燃物等の保管禁止)

廃棄物処理場(AAF)等の地下階のアクセスには上階の床ハッチから梯子(タラップ)を使って昇降する必要がある。そのような箇所では火災が発生した場合、煙等の影響により上階からのアクセスが容易でないことから初期消火が遅れる可能性がある。そのようなアクセスが難しい区域については原則として可燃物・危険物の保管を禁止するよう規則に定める。

4. まとめ

プラントウォークダウンによる現場状況の確認の結果、その他の施設において放射性物質を貯蔵・保管している設備に対しては、既存の消火設備等により火災防護対策が適切になされており、火災により有意な放射性物質を放出させることはないことを確認した。

また、今後も長期間にわたって廃止措置に係る各種活動を継続する上で管理区域内の作業環境における火災防護の状態は重要であるとの観点から、プラントウォークダウンにおいては確認対象を幅広くして、対象施設内の管理区域内作業で火災源となり得る仕掛品や危険物等の管理状況を確認した。その結果、これらの仕掛品や危険物等に対しては再処理施設保安規定、消防法等に従って適切に管理された状態にあり、既存消防設備等により火災の感知及び消火が可能であることを確認した。

以上のことから、その他の施設の消防設備等による火災防護対策は妥当であるものと考えており、今後、それら既存の消防設備等を性能維持施設とする廃止措置計画の変更認可の申請を行う。

表1 再処理施設の主要施設と廃止措置における状況(1/2)

再 処 理 施 設		再処理施設としての主な機能	廃止措置における状況	
高放射性廃液を扱う施設	高放射性廃液貯蔵場 (HAW)	分離精製工場の高放射性廃液蒸発缶により蒸発濃縮した高放射性の廃液を受け入れ、高放射性廃液貯蔵セル内の貯槽に貯蔵する施設	高放射性廃液の貯蔵を継続する。	
	ガラス固化技術開発施設 (TVF) ガラス固化技術開発棟	再処理施設から発生した高放射性廃液を受け入れ、ガラス原料と共に溶融炉にてガラス溶融を行い、溶融したガラスをステンレス鋼製の容器に注入しガラス固化体として保管セルで保管する施設	高放射性廃液のガラス固化処理を継続する。	
先行4施設	分離精製工場 (MP)	再処理施設の主工程である使用済燃料の受入れ及び貯蔵、せん断、溶解、抽出及び分離、精製、ウラン脱硝、プルトニウム製品の貯蔵、気体廃棄物の処理、高放射性の廃液及び中放射性の廃液の処理、高放射性廃液の貯蔵、濃縮ウラン溶解槽の遠隔補修技術の開発等を行う施設	再処理運転を終了。 回収可能核燃料物質の取り出し（工程洗浄）を進めている。（～R5年度末終了予定） 再処理運転時に受け入れた使用済燃料の貯蔵を継続する。	
	ウラン脱硝施設 (DN)	分離精製工場から硝酸ウラン溶液を受け入れ、硝酸を分離し、ウランを三酸化ウラン粉末として回収する施設	再処理運転を終了。 回収可能核燃料物質の取り出し（工程洗浄）を進めている。（～R5年度末終了予定）	
	プルトニウム転換技術開発施設 (PCDF)	分離精製工場から受け入れた硝酸Pu溶液と硝酸U溶液の混合転換処理を行いPu・U混合酸化物(MOX)粉末とする施設	再処理運転を終了。 回収可能核燃料物質の取り出し（工程洗浄）を進めている。（～R5年度末終了予定） 過去の再処理で回収した一部のMOX粉末等の貯蔵を継続する。	
	クリプトン回収技術開発施設 (Kr)	分離精製工場の再処理工程のせん断・溶解オフガスに含まれるクリプトンを分離・回収し、貯蔵するための技術開発を行う試験施設	再処理運転終了に伴い、クリプトンの分離・回収運転を終了し、令和4年度に貯蔵していた放射性クリプトンガスの管理放出を完了した。 クリプトンを金属中に固化した固化体の保管を継続する。	
ウラン貯蔵施設	ウラン貯蔵所 (UO3)	分離精製工場またはウラン脱硝施設で三酸化ウラン粉末を詰めた三酸化ウラン容器を貯蔵する施設	過去の再処理運転時に回収したウランを貯蔵する。また今後工程洗浄で取り出したウランを受け入れる。	
	第二ウラン貯蔵所 (2UO3)			
	第三ウラン貯蔵所 (3UO3)			
固体廃棄物貯蔵施設	高放射性固体廃棄物貯蔵庫 (HASWS)	分離精製工場から発生するハル、エンドピース、使用済みフィルタ及び分析所で発生する分析廃材等の高放射性固体廃棄物を貯蔵する施設	左記の固体廃棄物の貯蔵、受け入れを継続する。	
	第二高放射性固体廃棄物貯蔵施設 (2HASWS)	分離精製工場から発生するハル、エンドピース、使用済みフィルタ、ガラス固化技術開発施設及び高レベル放射性物質研究施設のセル内で発生する廃棄物等が封入された標準ドラム及び長ドラムを貯蔵する施設		
	アスファルト固化体貯蔵施設 (AS1)	アスファルト固化処理施設で製造されたアスファルト固化体、廃溶媒処理技術開発施設で製造されたPVC固化体及びエポキシ固化体を貯蔵する施設		
	第二アスファルト固化体貯蔵施設 (AS2)	アスファルト固化処理施設で製造されたアスファルト固化体、廃溶媒処理技術開発施設で製造されたPVC固化体及びエポキシ固化体等を貯蔵する施設		
	第一低放射性固体廃棄物貯蔵場 (1LASWS)	再処理施設内の各施設で発生する低放射性固体廃棄物が封入されたドラム缶又は低放射性固体廃棄物貯蔵容器(コンテナ)を線量率に応じて分類し、各階別に貯蔵する施設		
	第二低放射性固体廃棄物貯蔵場 (2LASWS)	再処理施設内の各施設で発生する低放射性固体廃棄物が封入されたドラム缶又は低放射性固体廃棄物貯蔵容器(コンテナ)を線量率に応じて分類し、各階別に貯蔵する施設		
廃液貯蔵施設	スラッジ貯蔵場 (LW)	分離精製工場から発生する廃溶媒、廃棄物処理場の凝集沈殿処理装置から発生する化学スラッジや廃棄物処理場のサンドフィルタからの廃砂、廃棄物処理場の低放射性廃液第一蒸発缶等から発生する低放射性濃縮廃液等を貯蔵する施設	左記の放射性廃液の貯蔵、受け入れを継続する。	
	第二スラッジ貯蔵場 (LW2)			
	廃溶媒貯蔵場 (WS)			分離精製工場から発生する廃溶媒を貯蔵する施設
	低放射性濃縮廃液貯蔵施設 (LWSF)			廃棄物処理場の低放射性廃液第一蒸発缶等から発生する低放射性濃縮廃液等を貯蔵する施設

表1 再処理施設の主要施設と廃止措置における状況(2/2)

再 処 理 施 設		再処理施設としての主な機能	廃止措置における状況
廃液・廃棄物 処理施設等	廃棄物処理場 (AAF)	再処理施設から発生する低放射性液体廃棄物の蒸発濃縮処理や化学処理等を行うとともに低放射性固体廃棄物の仕分け・封入等を行う施設	再処理運転終了後においても再処理施設で発生する低放射性廃液の処理を継続する。
	第二低放射性廃液蒸発処理施設 (E)	分離精製工場等の床ドレン廃液、酸回収精留塔の凝縮液、廃棄物処理場の低放射性廃液第一蒸発缶からの凝縮液等を蒸発処理する施設	
	第三低放射性廃液蒸発処理施設 (Z)	分離精製工場の床ドレン廃液、酸回収精留塔の凝縮液、廃棄物処理場の低放射性廃液第一蒸発缶の凝縮液等を蒸発処理する施設	
	放出廃液油分除去施設 (C)	第三低放射性廃液蒸発処理施設の中和処理設備からの処理済み廃液、高レベル放射性物質研究施設のドレン廃液等に含まれる浮遊物質や油分をろ過、吸着、除去して海洋放出する施設	
	廃溶媒処理技術開発施設 (ST)	廃棄物処理場等より送られた廃溶媒、廃希釈剤の処理試験を行う施設 (廃溶媒をTBPと希釈剤(ドデカン)に分離し、ドデカンは焼却施設(IF)に送って焼却処理を行い、TBPについてはエポキシ固化処理を行う)	建設中の低放射性廃棄物処理技術開発施設(LWTF)運転開始後に再処理施設で保管されている廃溶媒の処理を行う計画である。
	焼却施設 (IF)	分離精製工場等で発生するβ・γ系の可燃性固体廃棄物及び廃溶媒処理技術開発施設の希釈剤等を焼却処理する施設	再処理運転終了後においても再処理施設で発生する可燃性固体廃棄物の焼却処理を継続する。
	アスファルト固化処理施設 (ASP)	再処理工程から発生する低放射性濃縮廃液等をアスファルト固化処理する施設	平成9年3月に発生した火災爆発事故以降アスファルト固化処理を停止しているが、低放射性濃縮廃液の貯蔵は継続する。
	分析所 (CB)	各施設から採取・移送された運転、保全及び計量管理のための放射性試料の分析、放射線管理、管理区域内作業衣(カバーオール)の洗濯等を行う施設	再処理運転終了後においても必要な分析、放射線管理等を継続する。
一般施設	ガラス固化技術開発施設 (TVF) ガラス固化技術管理棟	ガラス固化技術開発棟の電源供給施設	左記の電源・ユーティリティの供給を継続する。
	ユーティリティ施設 (UC)	再処理施設の電源・冷却水・冷水・圧縮空気等の供給施設	
	中間開閉所	再処理施設の電源供給施設	
	第二中間開閉所	再処理施設の電源供給施設	
	資材庫	再処理施設の浄水供給施設	
	中央運転管理室	再処理施設の蒸気供給施設	

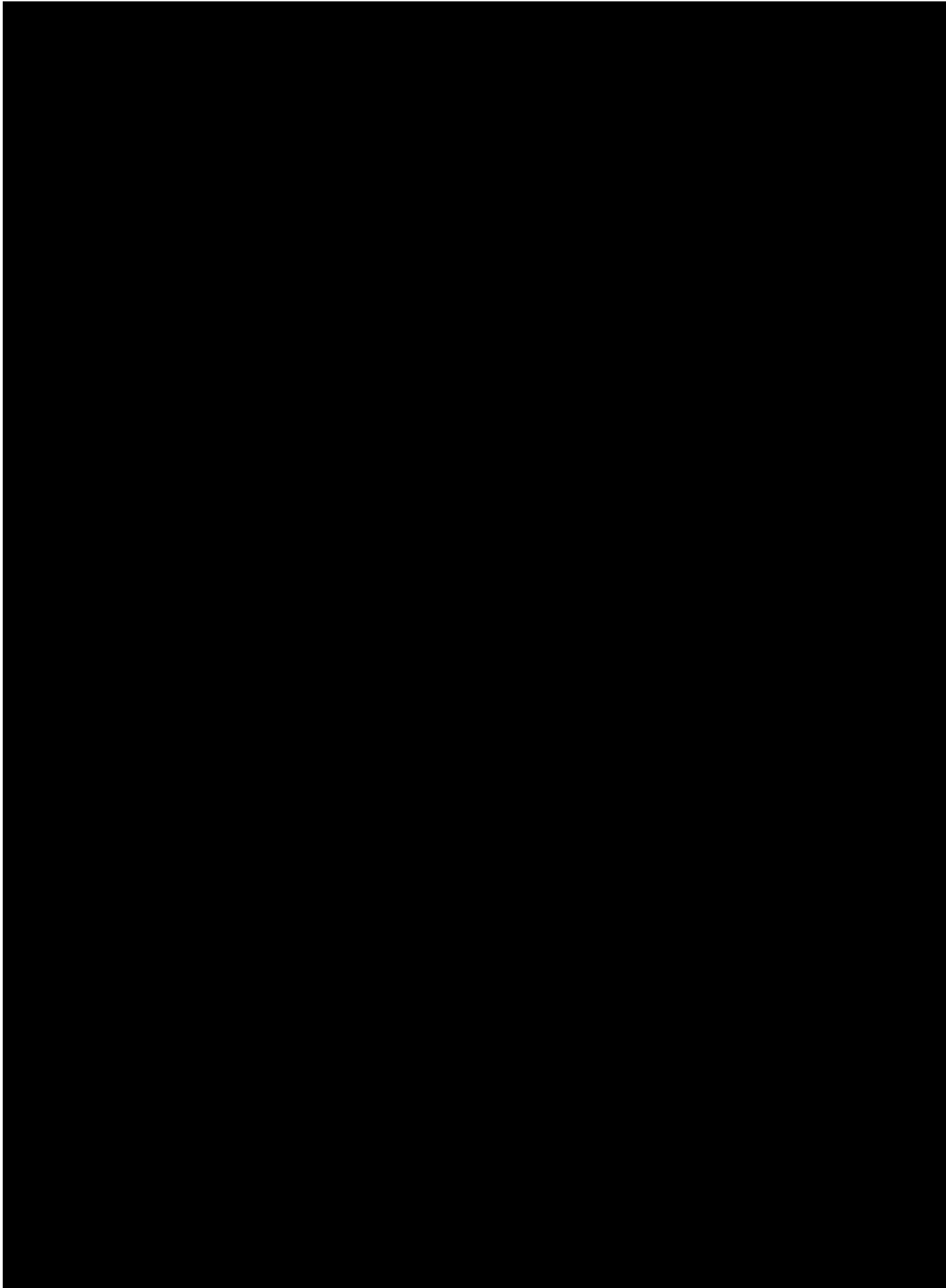


図 1 再処理施設における主要な施設の位置

表2 その他の施設における放射性物質の貯蔵・保管の状況(1/4)

施設	施設の使用目的	性状・貯蔵/保管状況等		放射能量等			
分離精製工場 (MP)	使用済燃料の貯蔵, 高放射性の廃液の貯蔵等	使用済燃料	低濃縮ウラン燃料	燃料集合体 (貯蔵プール) B1F	112体	■	FP (Cs-137等) Pu U
			MOX燃料		153体	■	FP (Cs-137等) Pu U
			せん断粉末	粉末(容器) 3FのT.P.+14.5 m 以上に保管	-	■	FP (Cs-137等) Pu U
		プール水	溶液 (貯蔵プール)	約4,200 m ³	~10 ¹⁰ Bq	FP (Cs-137等) Co	
		洗浄液 (溶解・清澄・調整工程)	溶液(貯槽等) B1F, 1F	約2 m ³	■ 約1×10 ¹³ Bq	FP (Cs-137等) Pu U	
		洗浄液 (抽出工程等)	溶液(貯槽等) B1F, 1F, 2F	約10 m ³	■	FP (Cs-137等) Pu U	
		洗浄液 (Pu濃縮工程)	溶液(貯槽) 1F	1 m ³ 未満	■	Pu U	
		Pu溶液 (Pu製品貯蔵工程)	溶液(貯槽) B1F	約1 m ³	■	Pu	
		U溶液 (U溶液濃縮工程)	溶液(貯槽) B1F, 1F	約4 m ³	■	U	
		三酸化ウラン粉末 (U脱硝工程)	粉末(FRP容器) 3F(T.P.+13.5 m)		■	UO ₃	
		U溶液(試薬調整工程)	溶液(貯槽) 5F(T.P.+20.6 m), 6F	約6 m ³	■	U	
		高放射性廃液	未濃縮液(貯槽) B1F	約26 m ³	約2.9×10 ¹⁶ Bq	FP (Cs-137等)	
			希釈廃液(貯槽) B1F	約24 m ³	約4.9×10 ¹⁶ Bq	FP (Cs-137等)	
ヨウ素フィルタ (AgX)	保管容器に保管 4F(T.P.+16.44 m)	29基	-	FP (I-129)			
分析所 (CB)	各工程の試料の分析, 放射線管理	分析試料・標準物質(U)	溶液・固体(容器) 1F	-	分析試料 標準物質 ■	U	
		分析試料・標準物質(Pu)	溶液・固体(容器) 1F	-	分析試料 標準物質 ■	Pu	
		分析廃液	溶液(貯槽) B1F	約6m ³	約3.6×10 ¹² Bq	FP (Cs-137等)	

※「廃止措置計画変更認可申請書 別添 6-1-3-4「高放射性廃液貯蔵場(HAW)、ガラス固化技術開発施設(TVF)ガラス固化技術開発棟及びそれらに関連する施設以外の分離精製工場(MP)等の施設の外部事象に対する安全対策に関する説明書」の表 3-1「その他の施設における放射性物質の貯蔵・保管の状況(令和2年6月末時点)」に工程洗浄により施設から取り出されるもの・クリプトンガスの管理放出により施設からなくなったものを斜線にて示した。